
MORI-SERVER 取扱説明書

適用仕様

MORI-SERVER 仕様

適用制御装置

F16i シリーズ (MSC/MSX シリーズ) F31i シリーズ (MSC/MSX シリーズ) M65 シリーズ (MSX シリーズ)
F18i シリーズ (MSC/MSX シリーズ) F32i シリーズ (MSC/MSX シリーズ) M720BM (MSX シリーズ)
F21i シリーズ (MSC/MSX シリーズ) M730BM (MSX シリーズ)
F0i シリーズ (MSC/MSX シリーズ) M750BM (MSX シリーズ)
SEIKI-SEICOS Σ 21L/ Σ 16M/ Σ 18M/ Σ 16T/ Σ 18T

機械の操作、保守およびプログラミングを行う前に、必ず弊社、制御装置メーカーおよび各付属機器メーカーの取扱説明書を熟読し、内容を十分理解してください。
また、取扱説明書は紛失しないように大切に保管してください。

MORI SEIKI
THE MACHINE TOOL COMPANY



IM-MORISERVER-G0JP
2012.04.M

- 機械および取扱説明書の改良にともない、この説明書は予告なしで変更させて頂くことがあります。そのため、この説明書と機械との間で、多少内容の相違が生じることもありますので、あらかじめお断り申し上げます。取扱説明書の変更は、改訂版として取扱説明書番号の更新によって区別されます。
- 機械と取扱説明書の記載内容が異なる場合あるいは不明瞭な内容については、弊社にお問い合わせ頂き、不明点を解消したうえで機械をご使用ください。不明点を残したまま機械を使用されて生じる直接、間接の損害については、弊社は責任を負いません。
- この取扱説明書の一部あるいは全部を複写、複製、転写することは、あらかじめ（株）森精機製作所の文書による同意が無い限り許されません。

本製品（機械およびそれに付属する設備）は、使用する国、地域の法律、規格に適合したものを製作、出荷していますので、お客様が法律、規格の異なる国、地域へ輸出、転売および移設をすることはできません。

また、本製品は、外国為替および外国貿易法に基づく規制貨物に該当します。したがって、本製品を輸出する場合には、同法に基づく許可が必要となる場合があります。

注意書き

- 本書の内容の一部あるいは全部を複写、複製、転写することは、あらかじめ株式会社森精機製作所の文書による同意が無い限り許されません。
- 本製品の仕様および本書に記載している事柄は、将来予告なしに変更することがあります。
- 本製品および本書を運用することによる影響、あるいは運用した結果の影響については、一切責任を負いません。
- 本製品に関する著作権は、株式会社森精機製作所にあります。
- 本製品は、本製品のソフトウェア使用許諾契約書のもとでのみ使用することができます。

登録商標

- Microsoft, Windows, Windows NT, Windows 2000, Windows XP, Windows Vista, Windows 7, Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。
- そのほか、記載されている会社名、製品名は、各社の商標および登録商標です。

取扱説明書について

- 取扱説明書は、インストール CD 内に PDF 形式で収録されています。

使用されているパソコンのハードディスクの故障などにより、入力あるいは作成したデータが使用あるいは呼び出すことができなくなります。このため、お客様で入力あるいは作成した重要なデータは必ず保存してください。

章目次

本書で使用している図記号について

はじめに

A: MORI-SERVER

B: MORI-SERVER (DSN)

C: トラブルシューティング

索引

本書で使用している図記号について

この説明書では、注意事項や参照項目などを一目で理解していただけるように図記号を使用しています。

これらの図記号の意味を十分理解して、より安全な作業ができるようこの説明書をご活用ください。

＜危険に対する図記号＞

危険に対する図記号は、危険、警告、注意と危険度に応じて使い分けています。



枠内に記載した注意事項を守らないと、死亡や重大な傷害となる差し迫った危険な状態を引き起こします。

したがって、必ず、枠内の注意事項を守ってください。



枠内に記載した注意事項を守らないと、死亡や重大な傷害となる潜在的に危険な状態を引き起こします。

したがって、必ず、枠内の注意事項を守ってください。



このマークのある注意事項を守らないと、重大には至らない傷害となる潜在的に危険な状態、または機械の損傷のみを生じる危険な状態を引き起こします。

したがって、必ず、このマークのある注意事項を守ってください。

＜その他の図記号＞



注意すべきことがらを説明しています。



知っていて得することがらを説明しています。



参照すべき取扱説明書および本書のページを記述します。
() 内の数字は、参照する項目番号を示します。

はじめに

この説明書では、MORI-SERVER および MORI-SERVER (DSN) を操作されるときに必要な事柄について説明します。以下に各章の概要を記載します。

A: MORI-SERVER

この章では、MORI-SERVER のセットアップ、設定、操作の方法について説明します。

B: MORI-SERVER (DSN)

この章では、MORI-SERVER (DSN) のセットアップ、設定、操作の方法について説明します。

C: トラブルシューティング

この章では、MORI-SERVER, MORI-SERVER (DSN) で正常に通信することができない場合、お問い合わせいただく前にまず確認いただきたい事柄について説明します。

A 章

MORI-SERVER

この章では、MORI-SERVER のセットアップ、設定、操作の方法について説明します。

目次

A : MORI-SERVER

1	セットアップ	17
1-1	インストール	17
1-1-1	動作環境	17
1-1-2	MORI-SERVER のセットアップ	18
1-1-2-1	ユーザーアカウント制御の設定変更	18
1-1-2-2	インストール	19
1-1-2-3	ファイアウォールの設定	22
1-1-3	バージョン情報	24
1-2	メイン画面の構成	25
1-3	各種設定	27
1-3-1	通信モジュール初期設定	27
1-3-1-1	MORI-SERVER ユーティリティの起動	27
1-3-1-2	通信パラメータ設定	28
1-3-1-3	ログ出力設定	30
1-3-1-4	データ形式の設定	32
1-3-2	言語設定	33
1-3-3	NC プログラムデータサイズ表示単位設定	34
1-3-4	初期フォルダ設定	35
1-3-5	接続機械設定	36
1-3-5-1	機械の新規登録	36
1-3-5-2	登録情報の変更	39
1-3-5-3	登録情報の削除	41
1-3-5-4	登録情報の並替え	42
1-3-6	ファイル名自動命名機能	43
1-3-6-1	デフォルトファイル名の設定	44
1-3-6-2	デフォルト拡張子機能	46
1-3-7	NC プログラム入出力設定	47

1-4	機械側設定	49
1-4-1	MAPPS の設定	49
1-4-1-1	TCP/IP パラメータの設定	49
1-4-1-2	MORI-SERVER パラメータ画面	50
1-4-1-3	MORI-SERVER パラメータの設定	54
1-4-2	MAPPS II/III/IV の設定	58
1-4-2-1	TCP/IP パラメータの設定	58
1-4-2-2	MORI-SERVER パラメータ画面	63
1-4-2-3	MORI-SERVER 機能基本設定画面	65
1-4-2-4	MORI-SERVER 機能詳細設定画面	70
1-4-3	MSC-500/700 の設定	73
1-4-4	SEICOS Σ の設定	73
1-4-5	データサーバ (16i)、データサーバ (30i) の設定	73
1-4-6	データサーバ (M730/M750) の設定	74
2	通信機能	75
2-1	通信先選択	75
2-2	通信操作	77
2-2-1	メッセージ送信機能	77
2-2-2	NC プログラムリスト取得機能	78
2-2-3	NC プログラム個別出力機能	80
2-2-4	NC プログラム個別入力機能	83
2-2-5	NC プログラム削除機能	86
2-2-6	NC プログラム一括出力機能	88
2-2-7	NC プログラム一括入力機能	90
2-2-8	対話プログラムリスト取得機能	93
2-2-9	対話プログラム出力機能	95
2-2-10	対話プログラム入力機能	97
2-2-11	対話プログラム削除機能	100
2-2-12	工具ファイル出力機能	102

2-2-13	工具ファイル入力機能	104
2-2-14	カード DNC/ESPRIT 領域リスト取得機能	107
2-2-15	カード DNC/ESPRIT 領域通信先フォルダ移動機能	109
2-2-16	カード DNC/ESPRIT フォルダ作成機能	111
2-2-17	カード DNC/ESPRIT 領域ファイル・フォルダ出力機能	113
2-2-18	カード DNC/ESPRIT 領域ファイル入力機能	115
2-2-19	カード DNC/ESPRIT 領域ファイル・フォルダ削除機能	117
2-2-20	データサーバファイルリスト取得機能	119
2-2-21	データサーバ通信先フォルダ移動機能	121
2-2-22	データサーバフォルダ作成機能	123
2-2-23	データサーバファイル・フォルダ出力機能	125
2-2-24	データサーバファイル入力機能	127
2-2-25	データサーバファイル・フォルダ削除機能	129
2-3	通信のインタロック	131
2-3-1	共通項目	131
2-3-1-1	主機能 OFF	131
2-3-1-2	IP アドレス認証	131
2-3-1-3	ユーザ認証	131
2-3-1-4	MORI-SERVER 通信中	131
2-3-1-5	MAPPS 入出力中	131
2-3-1-6	写し出し画面表示中	131
2-3-1-7	排他制御機能	131
2-3-2	機能別制限機能	132
2-3-2-1	メッセージ送信機能	132
2-3-2-2	NC プログラムリスト取得機能	132
2-3-2-3	NC プログラム個別出力機能	132
2-3-2-4	NC プログラム個別入力機能	132
2-3-2-5	NC プログラム削除機能	132
2-3-2-6	NC プログラム一括出力機能	133
2-3-2-7	NC プログラム一括入力機能	133

2-3-2-8	対話プログラムリスト取得機能	133
2-3-2-9	対話プログラム出力機能	133
2-3-2-10	対話プログラム入力機能	133
2-3-2-11	対話プログラム削除機能	134
2-3-2-12	対話データ出力機能	134
2-3-2-13	対話データ入力機能	134
2-3-2-14	カード DNC/ESPRIT 領域リスト取得機能	134
2-3-2-15	カード DNC/ESPRIT 領域通信先フォルダ移動機能	134
2-3-2-16	カード DNC/ESPRIT 領域フォルダ作成機能	134
2-3-2-17	カード DNC/ESPRIT 領域ファイル・フォルダ出力機能 ...	135
2-3-2-18	カード DNC/ESPRIT 領域ファイル入力機能	135
2-3-2-19	カード DNC/ESPRIT 領域ファイル・フォルダ削除機能 ...	135
2-3-3	3次元干渉チェック実行時の制限	135
2-4	MAPPS セーフティ機能	136
2-4-1	キー入力ロック機能	136
3	メッセージ表示機能	137
3-1	MORI-SERVER 側メッセージ	137
3-1-1	通信メッセージ	138
3-1-2	通信終了メッセージ	139
3-1-3	エラーメッセージ	139
4	エラーメッセージ	140
4-1	エラーメッセージ表示	140
4-1-1	エラーメッセージの表示形式	142
5	MAPPS 側メッセージ	144
5-1	メッセージボックスの各表示部	145
6	MAPPS II/III/IV 側メッセージ	146
6-1	メッセージ画面	146
6-2	メッセージの優先順位	147
6-3	メッセージ内容	148
6-4	優先順位 " 最高 " のメッセージの更新	157
6-5	メッセージのクリア	160

7	機械との接続.....	161
7-1	出荷時の設定.....	161
7-2	接続方法	162
7-2-1	ハブを使用しない場合.....	162
7-2-2	ハブを使用する場合.....	163
8	ネットワーク構成例	164
8-1	パソコン 1 台、工作機械 2 台を接続する.....	164
8-1-1	ネットワークの接続.....	164
8-1-2	ネットワークの設定.....	165
8-1-2-1	パソコンの設定例	165
8-1-2-2	工作機械の設定例	166

1 セットアップ

MORI-SERVER をインストールおよび設定するための手順について説明します。

1-1 インストール

1-1-1 動作環境

MORI-SERVER を動作させる条件は下表の通りです。

ハードウェアおよびソフトウェア	必要条件
OS	<ul style="list-style-type: none">• Windows 2000 Professional (Service Pack 4 以上)• Windows 2000 Server (Service Pack 4 以上)• Windows XP Professional (Service Pack 2)• Windows Vista Home Premium/Business/Ultimate• Windows 7 Home Premium/Professional/Ultimate <上記のいずれか>
CPU	Pentium III 500 MHz 以上
メモリ	64 MB 以上
ネットワーク	10/100/1000BASE-T イーサネット
モニタ	XGA 以上



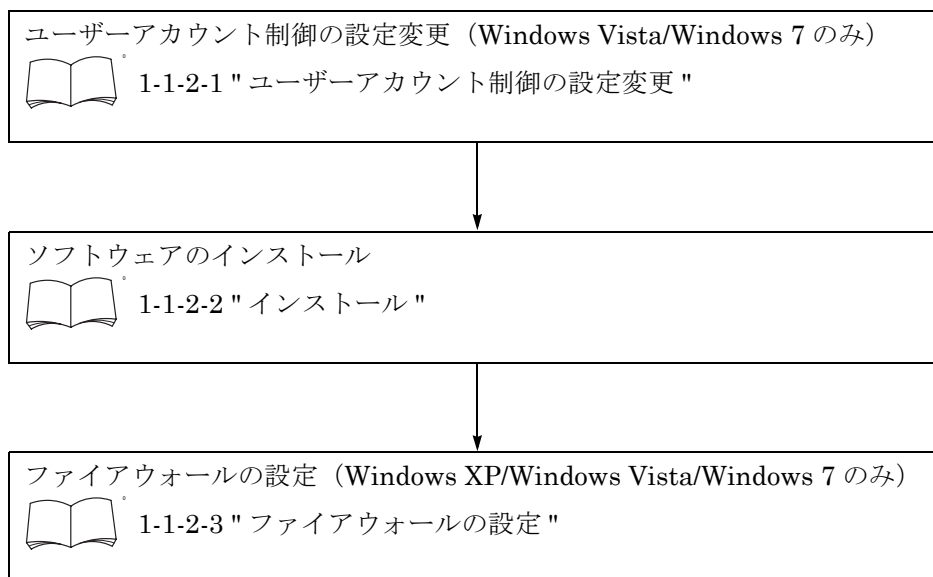
MORI-SERVER を Windows Vista または Windows 7 上で動作させる場合は、SEICOS とは通信できません。

1-1-2 MORI-SERVER のセットアップ

MORI-SERVER のセットアップ手順は、インストールする PC の OS の種類により異なります。



MORI-SERVER をインストールする際は、あらかじめ管理者（Administrator）権限を有するアカウントで Windows にログインしてください。



1-1-2-1 ユーザーアカウント制御の設定変更

インストールを開始する前に、以下の手順でユーザーアカウント制御を無効にします。

< Windows Vista の場合 >

- 1) 管理者権限のあるアカウントで Windows にログインします。
- 2) スタートメニューから、"コントロールパネル" - "ユーザーアカウント" - "ユーザーアカウント制御の有効化または無効化"を開きます。
- 3) ユーザーアカウント制御ダイアログが表示されますので、[続行] ボタンをクリックします。
- 4) ユーザーアカウント制御の有効化または無効化画面が表示されますので、"ユーザーアカウント制御（UAC）を使ってコンピュータの保護に役立たせる"のチェックを外します。
- 5) [OK] ボタンをクリックし、PC を再起動させます。



インストール完了後は、上記手順の 4) でチェックを入れ、ユーザーアカウント制御を有効にしてください。

< Windows 7 の場合 >

- 1) 管理者権限のあるアカウントで Windows にログインします。
- 2) スタートメニューから、" コントロールパネル " – " すべてのコントロールパネル項目 " – " ユーザーアカウント " を選択します。
- 3) ユーザーアカウントの変更ダイアログで " ユーザーアカウント制御設定の変更 " をクリックします。
- 4) ユーザーアカウント制御の設定ダイアログで、スライダーバーを一番下に移動させ、" 通知しない " にします。
- 5) [OK] ボタンをクリックし、PC を再起動させます。



インストール完了後は、上記手順の 4) でスライダーバーを元の位置に戻し、ユーザーアカウント制御を有効にしてください。

1-1-2-2 インストール

以下の手順で MORI-SERVER と MORI-SERVER (DSN) をインストールします。

- 1) MORI-SERVER のインストール CD をドライブに挿入します。
- 2) ¥MORI-SERVER¥Setup.exe を実行します。
- 3) InstallShield Wizard が起動しますので、インストールで使用する言語を選択し、[次へ] ボタンをクリックします。

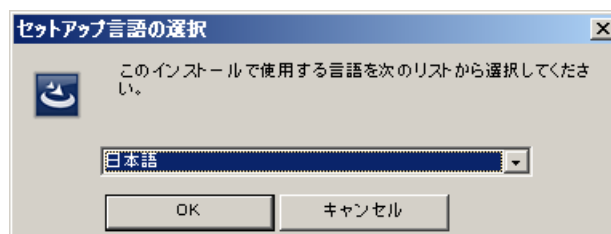


図 A-1

- 4) "MORI-SERVER セットアップへようこそ" のメッセージ画面が表示されますので、
[次へ] ボタンをクリックします。



図 A-2

- 5) インストールするフォルダを選択して、[次へ] ボタンをクリックします。

デフォルトのインストールフォルダは、"C:¥MORISEIKI¥" です。



インストールフォルダを変更したい場合は、[変更] ボタンをクリックしてフォルダを選択後、[次へ] ボタンをクリックします。



OS が Windows Vista または Windows 7 の場合は、インストールフォルダに C:¥Program Files 配下を指定しないでください。Program Files 配下にインストールフォルダを作成すると、MORI-SERVER が正しく動作しない場合があります。

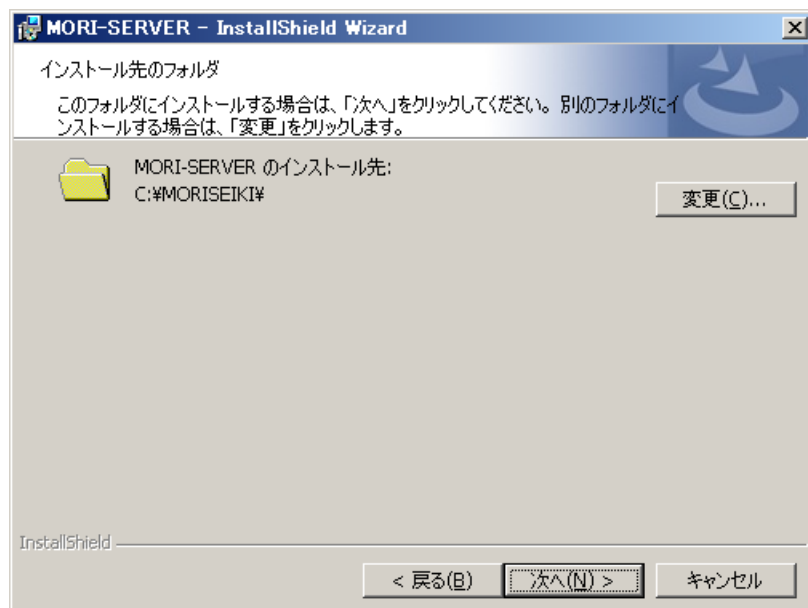


図 A-3

- 6) [インストール] ボタンをクリックし、インストールを開始します。



図 A-4

- 7) インストールが完了したら [完了] ボタンをクリックします。



図 A-5


以上で、MORI-SERVER と MORI-SERVER (DSN) のインストールは完了です。

1-1-2-3 ファイアウォールの設定

以下の手順で Windows ファイアウォールの設定を変更してください。

はじめに、Windows ファイアウォール経由で MORI-SERVER および MORI-SERVER (DSN) が通信できるように設定します。

< Windows XP の場合 >

- 1) スタートメニューから "コントロールパネル" を開きます。
- 2) "Windows ファイアウォール" を開きます。
 コントロールパネルが "カテゴリの表示" の場合は、"セキュリティセンター" をクリックし、"Windows ファイアウォール" のアイコンをクリックしてください。
- 3) "全般" タブの "例外を許可しない" にチェックが入っている場合は、このチェックを外します。
- 4) "例外" タブをクリックします。
- 5) [プログラムの追加] ボタンをクリックします。
- 6) 一覧から MORI-SERVER.exe を選択し、[OK] ボタンをクリックします。
- 7) 5) から 6) の手順で、MORI-DSN.exe を追加します。



ファイアウォールの設定前に一度でも MORI-DSN を起動したことがある場合は、MORI-DSN main module がプログラムの一覧に追加されていることがあります。その場合、手順 7) は不要で、MORI-DSN.exe はプログラムの一覧で MORI-DSN main module と表示されます。

- 8) "例外" タブの "プログラムおよびサービス" のリストボックスで、MORI-SERVER.exe と MORI-DSN.exe (MORI-DSN main module) にチェックがついていることを確認し、[OK] ボタンをクリックします。

< Windows Vista の場合 >

- 1) スタートメニューから "コントロールパネル" を開きます。
- 2) "セキュリティセンター" - "Windows ファイアウォール" を開きます。
- 3) "Windows ファイアウォールによるプログラムの許可" を開きます。
- 4) Windows ファイアウォールの設定画面で "例外" タブを選択します。
- 5) [プログラムの追加] ボタンをクリックします。
- 6) 一覧から MORI-SERVER.exe を選択し、[OK] ボタンをクリックします。
- 7) 5) から 6) の手順で、MORI-DSN.exe を追加します。



ファイアウォールの設定前に一度でも MORI-DSN を起動したことがある場合は、MORI-DSN main module がプログラムの一覧に追加されていることがあります。その場合、手順 7) は不要で、MORI-DSN.exe はプログラムの一覧で MORI-DSN main module と表示されます。

- 8) "例外"タブの"プログラムまたはポート"のリストボックスで、MORI-SERVER.exe と MORI-DSN.exe (MORI-DSN main module) にチェックがついていることを確認し、[OK] ボタンをクリックします。



Windows ファイアウォール以外のセキュリティ機能の設定変更については、各ソフトウェアの取扱説明書を参照してください。

< Windows 7 の場合 >

- 1) スタートメニューから、"コントロールパネル" – "すべてのコントロールパネル項目" – "Windows ファイアウォール" を選択します。
- 2) "Windows ファイアウォールを介したプログラムまたは機能を許可する" をクリックします。
- 3) "別のプログラムの許可" ボタンをクリックします。
- 4) 一覧から MORI-SERVER.exe を選択し、[追加] ボタンをクリックします。
- 5) 3) から 4) の手順で、MORI-DSN.exe を追加します。



ファイアウォールの設定前に一度でも MORI-DSN を起動したことがある場合は、MORI-DSN main module がプログラムの一覧に追加されていることがあります。その場合は、手順 5) は不要で、MORI-DSN.exe はプログラムの一覧で MORI-DSN main module と表示されます。

- 6) MORI-SERVER.exe と MORI-DSN.exe (または MORI-DSN main module) について、アクティブなプロファイルにチェックが入っていることを確認します。
- 7) [OK] ボタンをクリックします。

続いて、Windows ファイアウォールが ICMP 通信を許可するように設定します。

< Windows Vista/Windows 7 >

- 1) Windows Vista の場合は、スタートメニューから "コントロールパネル" – "システムとメンテナンス" – "管理ツール" – "セキュリティが強化された Windows ファイアウォール" を開きます。

Windows 7 の場合は、スタートメニューから "コントロールパネル" – "すべてのコントロールパネル項目" – "Windows ファイアウォール" を開き、"詳細設定" を選択します。

- 2) "監視" を選択し、"ドメインプロファイル"、"プライベートプロファイル"、"パブリックプロファイル" から、アクティブなプロファイルを確認します。
- 3) "受信の規則" をクリックし、"新規の規則" をクリックします。"新規の受信の規則ウィザード" が起動します。
- 4) "規則の種類" ステップで、"カスタム" を選択して、[次へ] ボタンをクリックします。
- 5) "プログラム" ステップで、"すべてのプログラム" を選択して、[次へ] ボタンをクリックします。
- 6) "プロトコルおよびポート" ステップで、プロトコルの種類に "ICMPv4" を選択します。
- 7) [カスタマイズ] ボタンをクリックします。"ICMP 設定のカスタマイズ" ダイアログが表示されます。

- 8) "すべての種類の ICMP" を選択して、[OK] ボタンをクリックし、[次へ] ボタンをクリックします。
- 9) "スコープ" ステップで、"任意の IP アドレス" を選択し、[次へ] ボタンをクリックします。



このステップで、下段の "これらの IP アドレス" 欄に通信する機械の IP アドレスを追加すると、通信相手の IP アドレスを限定しセキュリティを向上させることができます。

- 10) "操作" ステップで、"接続を許可する" を選択して、[次へ] ボタンをクリックします。
 - 11) "プロファイル" ステップで、2) で確認したアクティブなプロファイルをチェックし、[次へ] ボタンをクリックします。
 - 12) "名前" ステップで、作成したルールの名前を入力し、[完了] ボタンをクリックします。
- 以上で、Windows ファイアウォールの設定は完了です。

1-1-3 バージョン情報

MORI-SERVER のバージョン情報は、以下の手順で確認することができます。

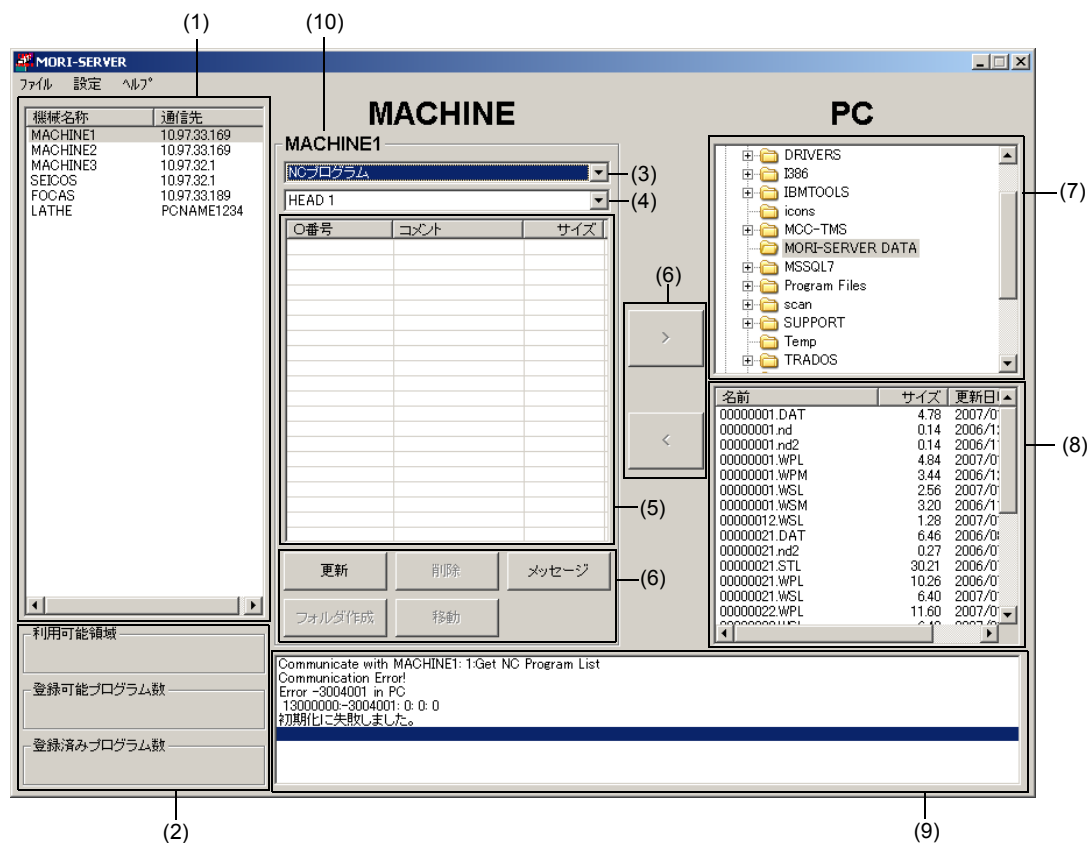
- 1) メニューから "ヘルプ" - "バージョン情報" を選択します。
"MORI-SERVER バージョン情報" ダイアログボックスが開き、現在使用している MORI-SERVER のバージョンが表示されます。

1-2 メイン画面の構成

MORI-SERVER を起動すると、最初にメイン画面が表示されます。



メイン画面は、以下のように構成されています。

< MORI-SERVER メイン画面 >



< 画面表示項目 >

番号	項目	説明
(1)	機械一覧表示部	登録されている機械の一覧が表示されます。 表示されている機械名称をダブルクリックすると、通信種別切替えコンボボックスと系統切替えコンボボックスで選択された条件に応じて、データが取得されます。ただし、通信種別切替えコンボボックスで "保守" が選択されている場合は、情報の取得は行われません。
(2)	機械情報表示部	[更新] ボタンを押すと、現在選択中の機械の "利用可能領域"、"登録可能プログラム数"、および "登録済みプログラム数" が表示されます。

番号	項目	説明
(3)	通信種別切替えコンボボックス	<p>"NC プログラム"、"保守"、"対話"、"ユーザ領域" から通信内容を選択します。</p> <p>選択可能な通信種別は、"MAPPS"、"MSC-500/700"、"SEICOS Σ" などの通信先の機器により異なります。</p> <p> MORI-SERVER の次回起動時には、前回選択されていた通信種別が自動的に選択されます。</p>
(4)	系統切替えコンボボックス	<p>通信先の機械の系統番号を選択します。</p> <p>通信種別切替えコンボボックスで、"NC プログラム" または "保守" が選択されている場合のみ表示されます。</p>
(5)	機械側ウインドウ	通信種別切替えコンボボックスと系統切替えコンボボックスで選択された条件に応じて、機械側の NC プログラム一覧、対話プログラム一覧、ファイル一覧が表示されます。
(6)	通信指令ボタン	選択中の機械に対して通信を実行します。
(7)	フォルダツリー表示部	MORI-SERVER が動作する PC のフォルダツリーが表示されます。
(8)	ファイルリスト表示部	<p>フォルダツリー表示部で選択されているフォルダ内のファイル一覧が、表示されます。</p> <p>表示される情報は、通信種別切替えコンボボックスの選択肢に応じて、以下のように異なります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • "NC プログラム"、"保守"、"カード DNC/ESPRIT" が選択されている場合： "名前"（ファイル名）、"サイズ"、"更新日時" が表示されます。 • "対話プログラム" が選択されている場合： 工程ファイルと形状ファイルの両方が存在するプログラムについて、"O 番号"、"コメント"、（工程ファイルの）"更新日時" が表示されます。 MAPPS の対話プログラムには、O 番号の先頭に "*"（アスタリスク）が付加されます。 <p> リストのタイトル部分をクリックすると、クリックされたタイトルの順序で、表示中のデータが並べ替えられます。</p>
(9)	メッセージ表示部	通信結果などのメッセージが表示されます。
(10)	機械名称表示部	機械一覧表示部で選択されている機械名称が、表示されます。

1-3 各種設定

1-3-1 通信モジュール初期設定

MORI-SERVER の使用にあたっては、あらかじめ通信モジュールの初期設定が必要です。通信モジュール初期設定には、1. 通信パラメータ設定、2. ログ出力設定、3. データ形式設定の 3 つがあります。以下の手順に従って、各設定を行ってください。

1-3-1-1 MORI-SERVER ユーティリティの起動

通信モジュールの初期設定を行うには、まず MORI-SERVER ユーティリティを起動させ、そこから各設定を行います。

- 1) 以下のいずれかの方法で、MORI-SERVER ユーティリティを起動します。
 - a. メニューから "設定" - "REGTOOL の起動" を選択します。
 - b. 機械一覧表示部上で右クリックし、表示されたメニューから "REGTOOL の起動" を選択します。
- 2) 通信パラメータの設定を行うには [通信設定] ボタンを、ログ出力の設定を行うには [ログ設定] ボタンを、データ形式の設定を行うには [データ形式設定] ボタンをクリックして、各設定画面を開きます。

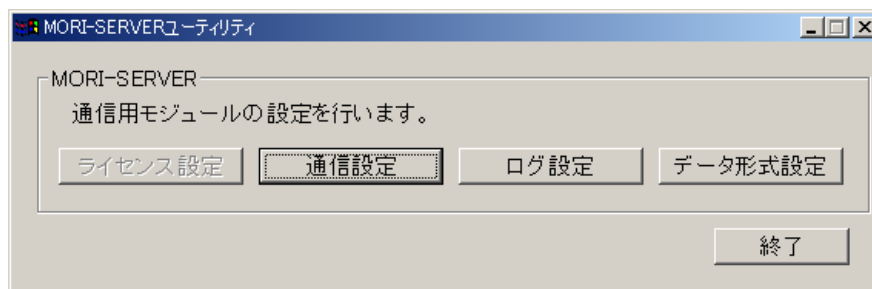



図 A-6

- 3) MORI-SERVER ユーティリティを終了させるには、図 A-6 の [終了] ボタンをクリックするか、ウインドウ右上の  ボタンをクリックします。

1-3-1-2 通信パラメータ設定

MORI-SERVER の通信に関するポート番号などの設定を行います。

- 1) 1-3-1-1 "MORI-SERVER ユーティリティの起動" (27 ページ) に従って、MORI-SERVER ユーティリティを起動し、図 A-7 の [通信設定] ボタンをクリックします。

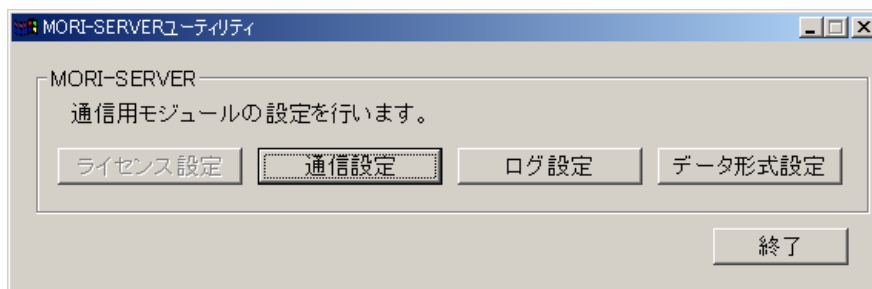


図 A-7

図 A-8 のように、"通信設定" ダイアログボックスが表示されます。

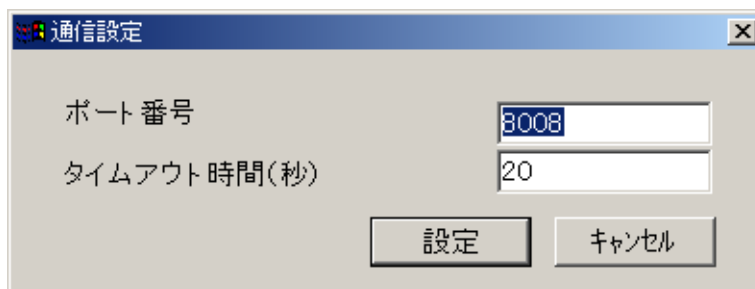


図 A-8

- 2) 図 A-8 の "ポート番号" に、通信に使用するポート番号を半角数字で入力します。



1. 本パラメータは、Administrator 権限を持つユーザでのみ変更可能です。
2. 通常はデフォルトの "8008" をお使いください。他のソフトウェアがそのポートを既に使用している場合のみ、本パラメータを変更してください。



本パラメータの変更は、ネットワークについての知識を十分に持つ方が行ってください。他のソフトウェアが使用するポート番号を指定すると、他のソフトウェアで問題が生じる危険性があります。



本パラメータを変更した場合、1-4-2-3 "MORI-SERVER 機能基本設定画面" (65 ページ) で設定される MAPPS 側のポート番号も本パラメータと同じ値を指定してください。本パラメータと MAPPS 側のポート番号が異なると、通信はできません。

- 3) 図 A-8 の " タイムアウト時間 (秒) " に、通信のタイムアウトまでの時間を秒単位で半角数字で入力してください。



1. このパラメータが小さい場合、処理に時間がかかったときに、タイムアウトしてしまう可能性がありますので、**20 秒**以上に設定してください。

2. 実際のタイムアウトまでの時間とは異なる場合があります。

- 4) 通信パラメータの入力が完了したら、図 A-8 の [設定] ボタンをクリックして、通信パラメータを設定してください。

通信パラメータが設定され、" 通信設定 " ダイアログボックスが閉じられます。



通信パラメータの設定を中止する場合には、[キャンセル] ボタンをクリックしてください。

1-3-1-3 ログ出力設定

MORI-SERVER で通信を行った場合に出力されるログについての設定を行います。

- 1) 1-3-1-1 "MORI-SERVER ユーティリティの起動" (27 ページ) に従って、MORI-SERVER ユーティリティを起動し、図 A-9 の [ログ設定] ボタンをクリックします。

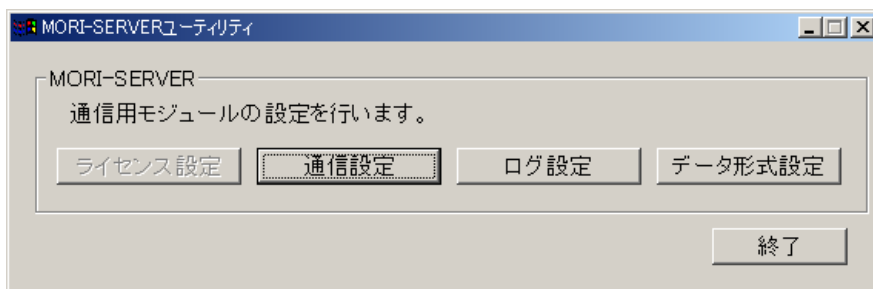


図 A-9

図 A-10 のように、" ログ設定 " ダイアログボックスが表示されます。

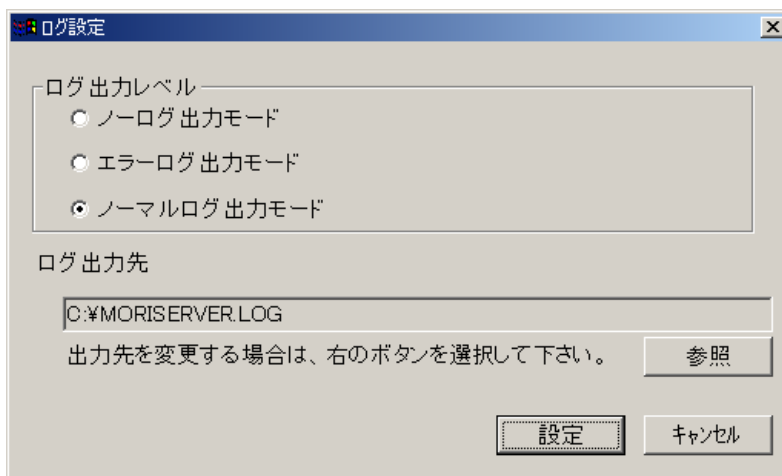


図 A-10

- 2) 図 A-10 の " ログ出力レベル " で、" ノーログ出力モード "、" エラーログ出力モード "、" ノーマルログ出力モード " の 3 つの中からログ出力のモードを選択します。

<ログ出力モード>

- ノーログ出力モード
ノーログ出力モード時は、ログを出力しません。
- エラーログ出力モード
エラーログ出力モード時は、通信でエラーが発生した場合のみログを出力します。
- ノーマルログ出力モード
ノーマルログ出力モード時は、通信でエラーが発生した場合、および、通常に通信を行った場合にログを出力します。

- 3) ログの出力先のファイルが、図 A-10 の " ログ出力先 " に表示されているファイルでよいか確認します。

問題ない場合は、下記 4) から続けます。

ログ出力先ファイルを変更する場合は、以下を続けます。

- a) 図 A-10 の [参照] ボタンをクリックします。

図 A-11 のように " ログファイルの選択 " のダイアログボックスが表示されます。

- b) 出力先に設定するフォルダを選択します。



図 A-11

- c) ログを出力するファイルを選択します。

新規にファイルを作成する場合は、図 A-11 の " ファイル名 " に、作成するファイル名を入力します。

- d) ログを出力するファイルの選択またはファイル名の入力後、図 A-11 の [開く] ボタンをクリックします。



ログ出力先の変更を中止する場合は [キャンセル] ボタンをクリックします。

" ログファイルの選択 " ダイアログボックスが閉じ、図 A-10 の " ログ出力先 " に選択したファイル名のフルパスが表示されます。

- 4) ログ出力レベルと、ログ出力ファイルの選択ができれば、図 A-10 の [設定] ボタンをクリックして、ログ出力レベルとログ出力ファイルを設定します。



ログ出力の設定を中止する場合は、[キャンセル] ボタンをクリックしてください。

1-3-1-4 データ形式の設定

MORI-SERVER で通信を行った場合に、入力時の先頭に %LF を付加する機能の設定を行います。

- 1) MORI-SERVER に従って、MORI-SERVER ユーティリティを起動し、図 A-12 の [データ形式設定] ボタンをクリックします。

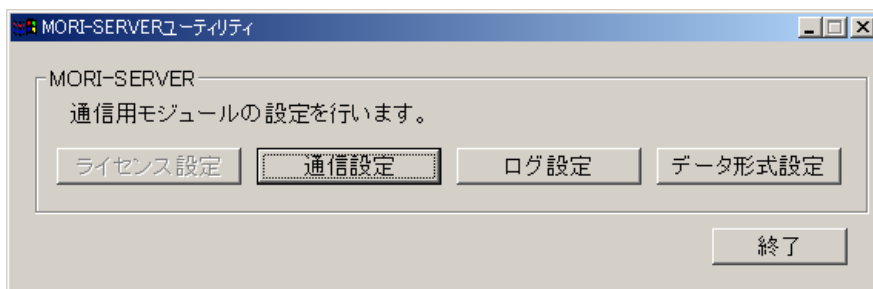


図 A-12

図 A-13 のように、"データ形式設定" ダイアログボックスが表示されます。

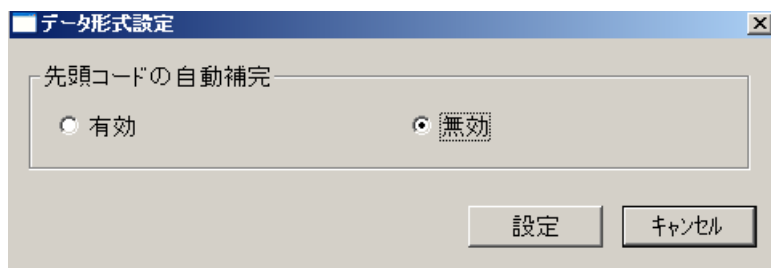


図 A-13

- 2) 図 A-13 の "先頭コードの自動補完" のラジオボタンで、入力用ファイルの先頭に %LF がない場合に %LF を付加して入力する機能の有効・無効を選択します。

MAPPS 内に入力するプログラムのファイルには、先頭に %LF が必要です。本機能を有効にすると、先頭に %LF が存在せずに、O 番号から始まるファイルの入力を試みる場合に、自動的に %LF を付加した形で通信を行い、正しく入力を行えるようにします。

- 3) データ形式の選択が完了したら、図 A-13 の [設定] ボタンをクリックして、データ形式の設定をします。

データ形式が設定され、"データ形式設定" ダイアログボックスが閉じられます。



データ形式設定の設定を中止する場合には、[キャンセル] ボタンをクリックしてください。

1-3-2 言語設定

MORI-SERVER は、マルチ言語表示対応で、表示言語を容易に変更することが可能です。表示言語の変更は、以下のように行います。

- 1) メニューより " 設定 " を選択し、図 A-14 のように表示されたメニュー項目から、" 言語 " を選択します。

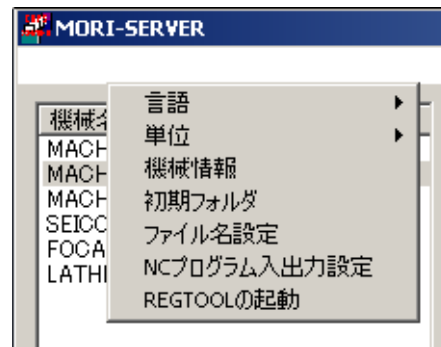


図 A-14

図 A-15 のように、登録されている言語リストが表示されます。

- 2) 使用したい言語を選択して、クリックします。



現在選択されている言語には、チェックマークが付いています。

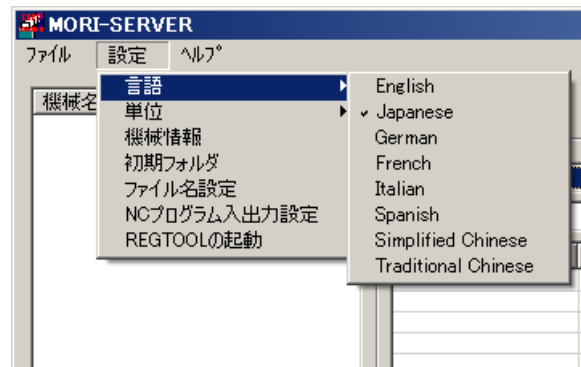


図 A-15

図 A-16 のように、言語変更確認のメッセージが表示されます。

- 3) 表示言語を変更する場合は [はい (Y)] ボタンを、変更しない場合は [いいえ (N)] ボタンをクリックします。

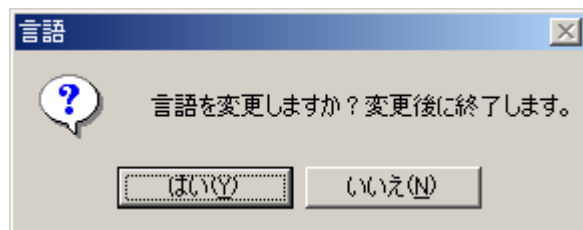


図 A-16

- 4) [はい (Y)] ボタンをクリックすると、MORI-SERVER が一旦終了しますので、再度 MORI-SERVER を起動します。

表示言語の変更は、再起動時に有効となります。

1-3-3 NC プログラムデータサイズ表示単位設定

MORI-SERVER では、機械より取得した NC プログラム一覧を表示した際に使用される NC プログラムのサイズの表示単位を "byte" か "m" のいずれかを選択することが可能です。表示単位の変更は、以下のように行います。

- 1) メニューより " 設定 " を選択し、表示されたメニュー項目から " 単位 " を選択します。

図 A-17 のように表示されます。

- 2) 使用する単位を選択して、クリックします。



現在選択されている単位には、チェックマークが付いています。

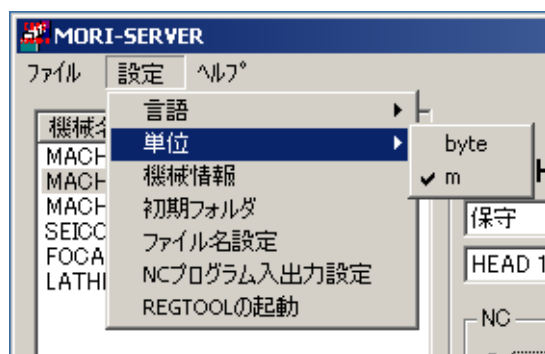


図 A-17

以上で、NC プログラムのサイズの表示単位が変更されます。

変更はすぐに反映されますので、MORI-SERVER を再起動する必要はありません。

1-3-4 初期フォルダ設定

MORI-SERVER の起動時に、PC 側の入出力先として選択されるデフォルトの入出力先フォルダ（初期フォルダ）を任意に設定することが可能です。初期フォルダの設定は、以下のように行います。

- 1) フォルダツリー表示部で、デフォルトの入出力先に設定するフォルダを選択します。
- 2) メニューより "設定" を選択し、図 A-18 のように、表示されたメニュー項目から "初期フォルダ" を選択します。

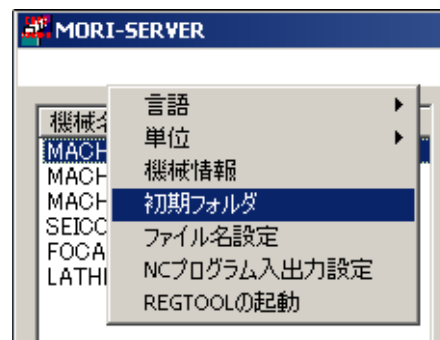


図 A-18

以上で、初期フォルダの設定の完了です。

次回起動時から、ここで設定したフォルダが初期フォルダとして自動的に選択されます。

図 A-20 のように、" 機械情報 " ダイアログボックスが表示されます。

図 A-20

2) 下表を参考に、各項目に情報を入力、選択します。

番号	項目	説明
(1)	機械タイプ	" 旋盤 "、" マシニングセンタ "、" 複合加工機 " から選択します。
(2)	通信先デバイス	<p>"MAPPS"、"MSC-500/700"、"SEICOS Σ"、" データサーバ (16i) "、" データサーバ (30i) "、" データサーバ (M730/M750) " から選択します。</p> <p> "MSC-500/700" は MAPPS 無仕様のときに選択します。</p> <p> MORI-SERVER が動作する PC の OS が Windows Vista/Windows 7 の場合は、通信先デバイスに "SEICOS Σ" を選択できません。</p>
(3)	系統数	<p>テキストボックス右側のボタンを押して、NC の系統数を入力します。</p> <p> 通信先デバイスが "SEICOS Σ"、" データサーバ " の場合、系統数を変更できません。</p>
(4)	ローダ	<p>ローダの有無を選択します。</p> <p> " ロードあり " を選択すると、メイン画面の系統切替えコンボボックスで、" ロード " が表示されます。</p> <p> 通信先デバイスが "SEICOS Σ"、" データサーバ " の場合、変更できません。</p>







番号	項目	説明
(5)	機械名称	<p>機械の名称を入力します。</p> <p> 1. 機械名称は、半角英数字で最大 64 文字まで登録できます。</p> <p>2. 重複した機械名称は、登録できません。</p>
(6)	通信先	<p>機械の IP アドレス、またはコンピュータ名を入力します。</p> <p> 通信先を入力後、テキストボックス内にカーソルがある状態で、Enter キーを押すと、入力した IP アドレス／コンピュータ名のネットワークレベルでの認識を確認できます。</p> <p> 1. IP アドレスは、半角英数字で最大 15 文字まで登録できます。</p> <p>2. コンピュータ名は、最大 15 文字までの半角英数字の組み合わせを登録してください。</p>
(7)	[通信テスト] ボタン	通信先を入力後このボタンをクリックすると、入力した IP アドレス／コンピュータ名のネットワークレベルでの認識を確認できます。
(8)	ユーザ ID	<p>機械へのログインに使用するユーザ ID を入力します。</p> <p> 1. 機械側でユーザ認証を無効にしている場合には、入力する必要はありません。</p> <p>2. ユーザ ID は、半角英数字で最大 64 文字まで登録できます。小文字で入力した場合でも、大文字に変換されて登録されます。</p> <p>3. 通信先デバイスが "MSC-500/700", "SEICOS Σ", "データサーバ (M730/M750) " の場合、入力できません。</p>
(9)	パスワード	<p>機械へのログイン時に使用するパスワードを入力します。入力したパスワードは、"*" で表示されます。</p> <p> 1. 機械側でユーザ認証を無効にしている場合には、入力する必要はありません。</p> <p>2. パスワードは、半角大文字英数字で最大 64 文字まで登録できます。</p> <p>3. 通信先デバイスが、"MSC-500/700", "SEICOS Σ", "データサーバ (M730/M750) " の場合、入力できません。</p>
(10)	パスワード確認	パスワードを再度入力します。
(11)	ポート番号	<p>通信に使用するポート番号を入力します。</p> <p> 通信先デバイスが、"MSC-500/700", "データサーバ (16i) ", "データサーバ (30i) " の場合のみ変更が可能です。</p>

図 A-23 のように、" 機械情報 " ダイアログボックスが表示されます。

図 A-23

- 2) 1-3-5-1 " 機械の新規登録 " (36 ページ) を参照しながら、必要な項目の変更を行います。



パスワードを登録してあった機械情報の変更を行う場合、パスワード確認欄が空白になっていますので、再度、パスワード確認欄へ入力してください。

- 3) 図 A-24 のように変更が完了後、その変更を登録する場合は [OK] ボタンをクリックします。



変更の登録を中止する場合は [キャンセル] ボタンをクリックして、" 機械情報 " ダイアログボックスを閉じてください。

図 A-24

[OK] ボタンをクリックした場合、図 A-25 のように、機械情報の変更を確認するメッセージが表示されます。

- 4) 登録する場合は [OK] ボタンをクリックして、機械情報の変更を登録します。



変更の登録を中止する場合は [キャンセル] ボタンをクリックしてください。

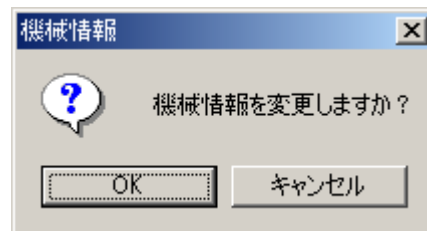


図 A-25

1-3-5-3 登録情報の削除

登録済みの機械の情報の削除は、以下のように行います。

- 1) 図 A-26 の "機械情報一覧" ウィンドウにおいて、機械情報一覧リストの中から、削除する機械情報を選択して、[削除] ボタンをクリックします。

[illegible]

图 A-26

図 A-27 のように、機械情報の削除を確認するメッセージが表示されます。

- 2) 機械情報の削除を行う場合は [OK] ボタンをクリックして、機械情報を削除します。



機械情報の削除を中止する場合は [キャンセル] ボタンをクリックしてください。

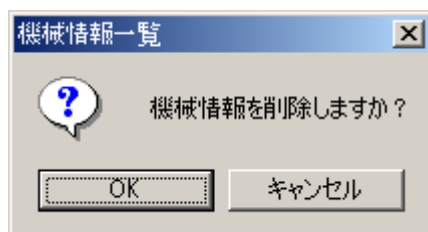




図 A-27

1-3-5-4 登録情報の並替え

- 1) 機械情報一覧リストの中から機械を選択し、 /  ボタンを押します。

選択した機械が押したボタンの方向に移動します。

1-3-6 ファイル名自動命名機能

MORI-SERVER で、選択された通信先デバイス内の NC プログラムを PC 側に出力する際に、NC プログラムの O 番号から自動的にデフォルトのファイル名を設定する（ファイル名自動命名機能）、あるいは、任意に入力されたファイル名に対して、自動的に出力時に拡張子を付加する（デフォルト拡張子機能）ことが可能です。ファイル名自動命名機能およびデフォルト拡張子機能の有効・無効および、デフォルトファイル名の形式またはデフォルト拡張子の設定は、以下のようになります。

- 1) メニューから "設定" - "ファイル名設定" を選択します。または、機械一覧表示部上で右クリックし、表示されたメニューから "ファイル名設定" を選択します。

図 A-28 のように "ファイル名設定" ダイアログボックスが表示されます。

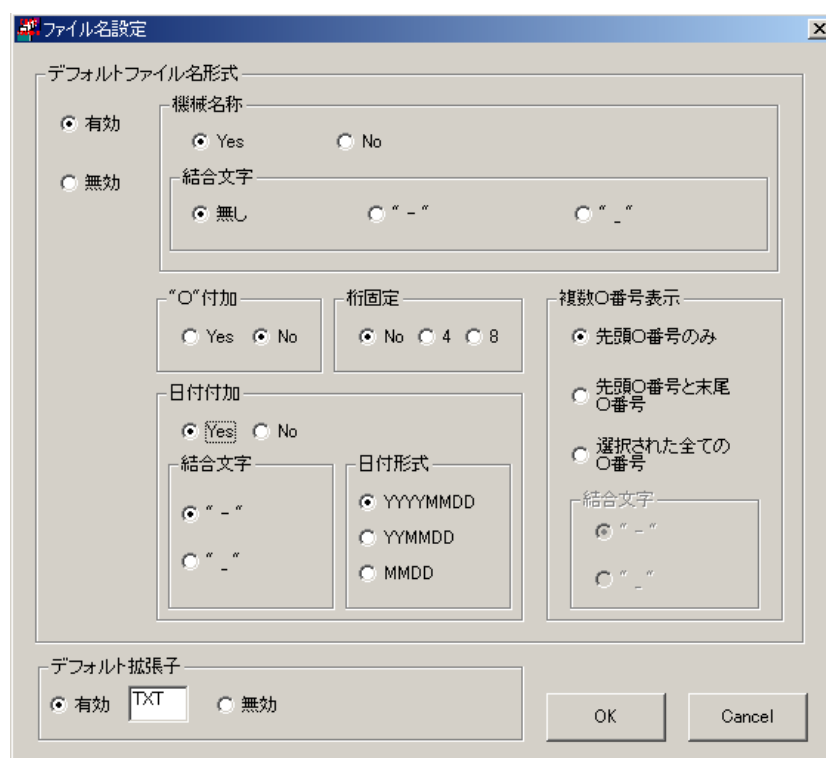


図 A-28

- 2) 1-3-6-1 "デフォルトファイル名の設定" (44 ページ) および 1-3-6-2 "デフォルト拡張子機能" (46 ページ) の説明に従って、設定を行います。
- 3) 各項目の設定終了後、その設定内容を登録する場合は、[OK] ボタンをクリックします。



登録を中止する場合は [Cancel] ボタンをクリックして、"ファイル名設定" ダイアログボックスを閉じてください。

[OK] ボタンをクリックした場合、図 A-29 のように、ファイル名設定の登録を確認するメッセージが表示されます。

- 4) 登録する場合は [OK] ボタンをクリックして、ファイル名の設定を登録します。



登録を中止する場合は [キャンセル] ボタンをクリックしてください。

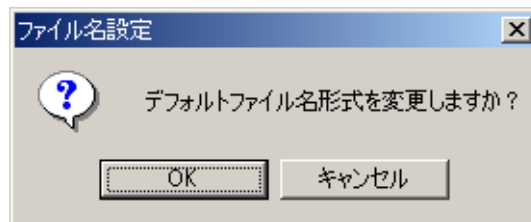


図 A-29

1-3-6-1 デフォルトファイル名の設定

デフォルトファイル名の設定の各項目は、以下の内容に従って設定を行ってください。

- 1) "ファイル名設定" ダイアログボックスにおいて、ファイル名自動命名機能を有効にするか無効にするかを、有効・無効のラジオボタンで選択します。



1. "無効" を選択した場合、2) から 10) までの各項目を入力する必要はありません。
2. "無効" を選択した場合、NC プログラム出力時に必ずファイル名を入力する必要があります。
- 2) "機械名称" のラジオボタンで、デフォルトファイル名としてファイル名の先頭に機械名称を付加するかどうかを選択します。
"Yes" を選択すると機械名称が付加され、"No" を選択すると付加されません。
- 3) "結合文字" のラジオボタンで、デフォルトファイル名として機械名称を付加する場合に、機械名称と O 番号との間を "-" (ハイフン) か "_" (アンダースコア) のいずれで結合するか、あるいは結合文字を使用しないかを選択します。
- 4) "O" 付加" のラジオボタンで、デフォルトファイル名として NC プログラムのプログラム番号の前に "O" を付加するかどうかを選択します。
"Yes" を選択すると、"O" が付加され、"No" を選択すると、"O" が付加されません。
- 5) "桁固定" のラジオボタンで、ファイル名として使用するプログラム番号の桁数を何桁で表示するかを選択します。
 - "No" を選択すると、プログラムリストに表示されているプログラム番号がそのままファイル名として使用されます。
 - "4" を選択すると、4 桁未満のプログラム番号には、"0" を付加して 4 桁になるように補完されてファイル名として使用されます。
 - "8" を選択すると、8 桁未満のプログラム番号には、"0" を付加して 8 桁になるように補完されてファイル名として使用されます。
- 6) デフォルトファイル名として、O 番号の後ろに、出力日付を付加するかどうかを、"Yes" ・ "No" のラジオボタンで選択します。
"Yes" を選択すると、O 番号の後ろに日付が付加されます。付加される日付の形式は、後述に従います。
"No" を選択すると、7) から 8) までの各項目を入力する必要はありません。

- 7) "結合文字"のラジオボタンで、デフォルトファイル名として O 番号の後ろに出力日付を付加する場合に、O 番号と日付との間を "-" (ハイフン) か "_" (アンダースコア) のいずれで結合するかを選択します。
- 8) デフォルトファイル名として O 番号の後ろに出力日付を付加する場合に、出力日付の書式を "日付形式" のラジオボタンから選択します。
- 9) 複数の NC プログラムを選択して出力する場合に、デフォルトファイル名として使用する O 番号を、"複数 O 番号表示" の 3 つのラジオボタンから選択します。

- 先頭の O 番号のみ

複数選択されているプログラムの中の、一番先頭のプログラムの番号のみを用いて、デフォルトファイル名を作成します。

- 先頭 O 番号と末尾 O 番号

複数選択されているプログラムの中の、一番先頭のプログラムの番号と一番末尾のプログラムの番号を後述 10) で選択される結合文字で結合したデフォルトファイル名を作成します。

- 選択された全ての O 番号

選択されているプログラムのそれぞれの O 番号を、後述 10) で選択される結合文字で結合したデフォルトファイル名を作成します。

"O" 付加、桁固定に関しては、前述の 4)、5) での設定がそれぞれ引き継がれます。出力日付付加に関しては、デフォルトファイル名の末尾に 1 回だけ付加されます。

本項目で "先頭の O 番号のみ" を選択した場合、10) の "結合文字" の項目を入力する必要はありません。

- 10) "結合文字" のラジオボタンで、複数のプログラムを選択した場合のデフォルトファイル名として、複数の O 番号を用いる場合に、それぞれの O 番号を "-" (ハイフン) か "_" (アンダースコア) のいずれで結合するかを選択します。

1-3-6-2 デフォルト拡張子機能

デフォルト拡張子の設定は、以下の内容に従って設定を行ってください。

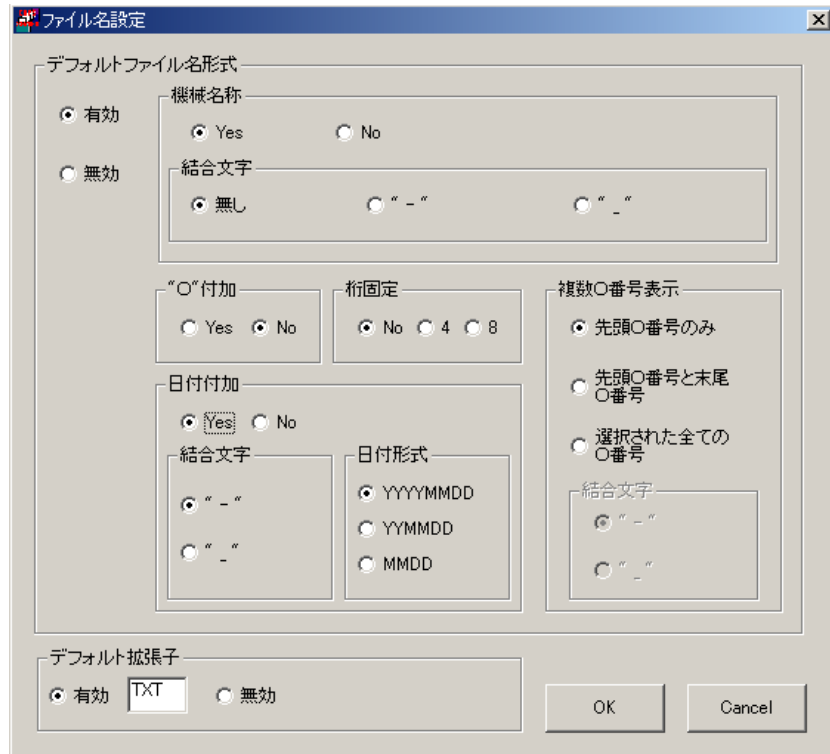


図 A-30

1. デフォルト拡張子機能を有効にする場合には "有効" のラジオボタンを、無効にする場合には "無効" のラジオボタンを選択します。
2. デフォルト拡張子機能が有効の場合には、テキストボックスに、デフォルト拡張子として付加する拡張子を英数字 3 文字以内で入力します。ただし、以下の拡張子は設定することができません。

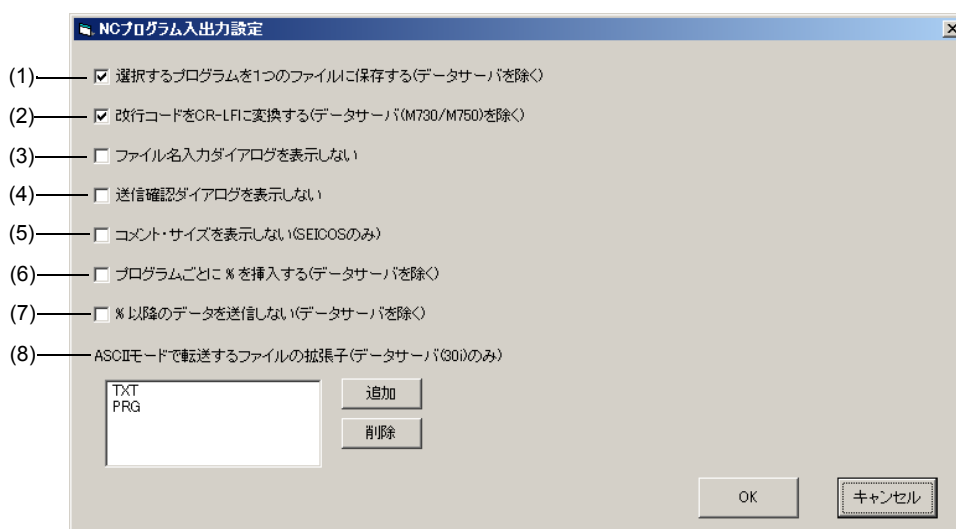
DLL, EXE, SYS, COM, CFG, INI, BAT, BIN, AUX

デフォルト拡張子機能が有効な場合は、NC プログラムの出力時に必ずその拡張子のファイルとして出力されます。



1-3-7 NC プログラム入出力設定

MORI-SERVER で NC プログラムを入出力する際の動作を、あらかじめ設定することができます。NC プログラムの入出力設定は、以下のようになります。

- 1) メニューから " 設定 " - " NC プログラム入出力設定 " を選択します。または、機械一覧表示部上で右クリックし、表示されたメニューから " NC プログラム入出力設定 " を選択します。
- 2) NC プログラム入出力設定画面が開きますので、下表を参考に、各項目を選択します。



番号	項目	チェック	説明
(1)	選択するプログラムを1つのファイルに保存する (データサーバを除く)	あり	複数の NC プログラムを出力するときに、選択したすべてのプログラムが1つのファイルに出力されます。
		なし	複数の NC プログラムを出力するときに、選択したプログラムは異なるファイルに出力されます。
(2)	改行コードを CR-LF に変換する (データサーバ (M730/M750) を除く)	あり	EOB を CR-LF に変換します。
		なし	EOB を NC の設定に従って出力します。
(3)	ファイル名入力ダイアログを表示しない	あり	この項目がチェックされ、かつ " ファイル名自動命名機能 " が有効である場合、NC プログラムを機械から MORI-SERVER に出力するときに、ファイル名入力ダイアログが表示されません。ファイル名は、" ファイル名自動命名機能 " で設定された条件で自動的に生成されます。
		なし	この項目がチェックされない場合、または " ファイル名自動命名機能 " が無効の場合、NC プログラムを機械から MORI-SERVER に出力するときに、必ずファイル名を入力する必要があります。

番号	項目	チェック	説明
(4)	送信確認ダイアログを表示しない	あり	NC プログラムを MORI-SERVER から機械に入力するときに、送信確認ダイアログが表示されません。
		なし	NC プログラムを MORI-SERVER から機械に入力するときに、送信確認ダイアログが表示されます。
(5)	コメント・サイズを表示しない* (SEICOS のみ)	あり	SEICOS Σ の NC プログラム一覧を取得するときに、プログラムのサイズとコメントが除外されます。  この項目をチェックすると、NC プログラム取得にかかる時間を短縮することができます。
		なし	SEICOS Σ の NC プログラム一覧を取得するときに、プログラムのサイズとコメントも取得されます。
(6)	プログラムごとに % を挿入する (データサーバを除く)	あり	複数の NC プログラムを出力するときに、"%" のブロックが O 番号ごとに挿入されます。
		なし	複数の NC プログラムを出力するときに、O 番号ごとの区切り文字は挿入されません。
(7)	% 以降のデータを送信しない (データサーバを除く)	あり	ファイルを出力するときに、ファイルのデータすべてが送信されます。
		なし	ファイルを出力するときに、データ中に "%" が見つかり、それ以降のデータが送信されません。
(8)	ASCII モードで転送するファイルの拡張子 (データサーバ (30i) のみ)	—	NC プログラムなどのテキストとして扱うファイルの拡張子を登録します。登録されたファイルの拡張子は ASCII モードで転送されます。拡張子を入力し [追加] ボタンをクリックします。登録した拡張子を削除するときは、拡張子を選択し [削除] ボタンをクリックします。  登録されていない拡張子のファイルはバイナリモードで転送されます。



* MORI-SERVER を Windows Vista または Windows 7 で使用している場合は、この項目は選択できません。

3) [OK] ボタンをクリックします。

1-4 機械側設定

1-4-1 MAPPS の設定

MORI-SERVER が機械と通信を行うには、通信先機械の MAPPS で MORI-SERVER パラメータが正しく設定されている必要があります。

1-4-1-1 TCP/IP パラメータの設定

TCP/IP パラメータ設定画面は、設定機能選択画面で "2" を入力することにより表示されます。

MEM	***	***	***		0 (mm/min)	00001	N00000
				0 (%)	0 (min-1)		
TCP/IPパラメータ						15:51:53	HEAD1
IPアドレス	192.168.0.25						
ネットマスク	255.255.255.0						
ルータIPアドレス							
ドメイン名							
ネームサーバIPアドレス							
>							
<						設定	キャンセル >

1. IP アドレス（必須）

機械の IP アドレスを設定してください。

2. ネットマスク（必須）

機械のサブネットマスクを設定してください。

3. ルータ IP アドレス

機械のデフォルトゲートウェイを設定してください。

4. ドメイン名

ドメイン名を設定してください。

5. ネームサーバ IP アドレス

ドメインネームサーバ (DNS) の IP アドレスを設定してください。

1-4-1-2 MORI-SERVER パラメータ画面

MORI-SERVER パラメータ画面は、MORI-SERVER が機械と通信するために必要な情報を入力するために使用します。

MORI-SERVER パラメータ画面は、基本画面と詳細画面の 2 ページで構成されています。

ここでは、MORI-SERVER パラメータ画面の表示項目について説明します。





MORI-SERVER パラメータの設定方法については、54 ページ (1-4-1-3) を参照してください。





< MORI-SERVER パラメータ画面 (基本) >

MEM	***	***	***	0.00inch/min	07500	N00002
				0 (%)	0 (min-1)	
MORI-SERVERパラメータ(基本) 19:49:33						
主機能 (0:無効 1:有効)				1	(1)	
ポート番号				8888	(2)	
応答待ち時間(秒)				20	(3)	
IPアドレス認証 (0:無効 1:有効)				1	(4)	
IPアドレス 1				192.168.1.1	(5)	
IPアドレス 2				192.168.1.1	(6)	
ログイン認証 (0:無効 1:有効)				1	(7)	
ユーザ 1 (0:無効 1:有効)				0	(8)	
ユーザ ID					(9)	
パスワード					(10)	
ユーザ 2 (0:無効 1:有効)				0	(11)	
ユーザ ID					(12)	
パスワード					(13)	
>_						
< 基本		詳細		設定 キャンセル >		

< 画面表示項目 >

番号	項目	説明
(1)	主機能	MORI-SERVER との通信の有効／無効を設定します。 0：無効 1：有効 このパラメータを無効に設定すると、MORI-SERVER 側からの通信を拒否します。

番号	項目	説明
(2)	ポート番号	<p>MORI-SERVER との通信に使用するポート番号を入力します。</p> <p> 1. 通常はデフォルトで設定されている "8008" ポートを使用してください。他のソフトウェアが "8008" ポートを既に使用している場合のみ、本パラメータを変更してください。</p> <p>2. 本パラメータの変更は、ネットワークについての知識を十分に有する方が行ってください。他のソフトウェアが使用するポート番号を指定すると、他のソフトウェアで問題が生じる危険性があります。</p> <p>3. ポート番号を変更した場合は、1-3-1-2 "通信パラメータ設定" で設定される MORI-SERVER 側のポート番号にも同じ値を設定してください。MORI-SERVER 側と MAPPS 側でポート番号の設定が異なると、通信はできません。</p> <p>4. このパラメータの設定変更を有効にするには、MAPPS の電源を再投入する必要があります。</p>
(3)	応答待ち時間	<p>通信のタイムアウトまでの時間を入力します。</p> <p> 1. タイムアウトまでの時間は秒単位で入力してください。</p> <p>2. タイムアウトまでの設定時間が短すぎると、処理に時間がかかった場合にタイムアウトが発生する可能性があります。通常は 20 秒以上に設定してください。</p> <p>また、実際のタイムアウトまでの時間はここでの設定時間と異なる場合があります。</p> <p>3. このパラメータの設定変更を有効にするには、MAPPS の電源を再投入する必要があります。</p>
(4)	IP アドレス認証	<p>IP アドレス認証機能の有効／無効を設定します。</p> <p>0 : 無効</p> <p>1 : 有効</p> <p>このパラメータを有効に設定すると、"IP アドレス 1" または "IP アドレス 2" で指定した IP アドレス以外からの通信を拒否します。</p>

番号	項目	説明
(5)	IP アドレス 1	<p>通信を許可する IP アドレスを入力します。</p> <p> IP アドレスは "xxx.xxx.xxx.xxx" のように 8 ビット区切り単位で入力してください。</p> <p> IP アドレスの指定には、アスタリスク "*" をワイルドカードとして使用することができます。</p> <p>ワイルドカードは 8 ビット区切りの単位で、"xxx.xxx.xxx.*" のように指定することができます。</p> <p>"xxx.xxx.*" のように複数の 8 ビット区切りをまたぐような指定や、"xxx.xxx.xxx.1*" のように 8 ビット区切りよりも小さな単位での指定はできません。</p>
(6)	IP アドレス 2	
(7)	ログイン認証	<p>ログイン認証機能の有効／無効を設定します。</p> <p>0：無効</p> <p>1：有効</p> <p>このパラメータを有効に設定すると、MORI-SERVER から送られてくるユーザ ID およびパスワードが "ユーザ 1" または "ユーザ 2" で指定したユーザ ID およびパスワードの組み合わせと一致しない場合に通信を拒否します。</p>
(8)	ユーザ 1	<p>ユーザ 1 のユーザ ID とパスワードの組合せの有効／無効を設定します。</p> <p>0：無効</p> <p>1：有効</p>
(9)	ユーザ ID	ユーザ 1 のユーザ ID を入力します。
(10)	パスワード	<p>ユーザ 1 のパスワードを入力します。</p> <p> "パスワード" テキストボックスに入力した文字はアスタリスク "*" で表示されます。</p>
(11)	ユーザ 2	<p>ユーザ 2 のユーザ ID とパスワードの組合せの有効／無効を設定します。</p> <p>0：無効</p> <p>1：有効</p>
(12)	ユーザ ID	ユーザ 2 のユーザ ID を入力します。
(13)	パスワード	<p>ユーザ 2 のパスワードを入力します。</p> <p> "パスワード" テキストボックスに入力した文字はアスタリスク "*" で表示されます。</p>

< MORI-SERVER パラメータ画面（詳細） >

MEM *** *** *** 0.00inch/min 07500 N00002 19:51:51

MORI-SERVERパラメータ(詳細)

NCプログラム

PC->MAPPS

ユーザ1 ユーザ2

1 1

MAPPS->PC

ユーザ1 ユーザ2

0 0

NCプログラム削除

0 0

(0:無効 1:有効)

< 基本 詳細 設定 キャンセル >

< 画面表示項目 >

番号	項目	説明
(1)	NC プログラム (PC->MAPPS)	MORI-SERVER 側から MAPPS 側へ NC プログラムを入力する機能の有効／無効を設定します。 0：無効 1：有効 このパラメータを無効に設定すると、MORI-SERVER 側から MAPPS 側への NC プログラム入力はできません。 この設定はユーザ 1、ユーザ 2 にそれぞれ個別で設定します。
(2)	NC プログラム (MAPPS->PC)	MAPPS 側から MORI-SERVER 側へ NC プログラムを出力する機能の有効／無効を設定します。 0：無効 1：有効 このパラメータを無効に設定すると、MAPPS 側から MORI-SERVER 側への NC プログラム出力はできません。 この設定はユーザ 1、ユーザ 2 にそれぞれ個別で設定します。

番号	項目	説明
(3)	NC プログラム削除	<p>MORI-SERVER 側から MAPPS 側の NC プログラムを削除する機能の有効／無効を設定します。</p> <p>0：無効 1：有効</p> <p>このパラメータを無効に設定すると、MORI-SERVER 側から MAPPS 側の NC プログラム削除はできません。</p> <p>この設定はユーザ 1、ユーザ 2 にそれぞれ個別で設定します。</p>

1-4-1-3 MORI-SERVER パラメータの設定

ここでは、MORI-SERVER パラメータの設定手順について説明します。



MORI-SERVER パラメータの詳細については、50 ページ（1-4-1-2）を参照してください。

<操作手順>

- 1) MAPPS 側の機能キー （保守）を押します。

入出力画面が表示されます。

MDI	***	***	***		0 (mm/min)	00004		N00000	
				0 (%)	0 (min-1)				
入出力						16:47:10	HEAD1		
NC側 NCプログラム オフセット パラメータ マクロ変数 ピッチ誤差補正量					対話側				
フォルダ									
入出力先		RS232C							
>									
<	入出力	CAP パラメータ	NC システム	システム 構成	通信 設定				バック リターン

- 2) ソフトキー【通信設定】を押します。
設定機能選択画面が表示されます。



- 3) データ入力キーで "6" を入力します。
- 4) 入力キー (入力) を押します。

- 5) MORI-SERVER パラメータ（基本）画面が表示されます。

MEM	***	***	***	0.00inch/min	07500	N00002
			0(%)	0(min-1)		

MORT-SERVERパラメータ(基本) 19:49:33

主機能 (0:無効 1:有効)	1
ポート番号	8008
応答待ち時間(秒)	20
IPアドレス認証 (0:無効 1:有効)	1
IPアドレス1	192.168.1.1
IPアドレス2	192.168.1.1
ログイン認証 (0:無効 1:有効)	1
ユーザ1 (0:無効 1:有効)	0
ユーザID	
パスワード	
ユーザ2 (0:無効 1:有効)	0
ユーザID	
パスワード	

>_

<	基本	詳細							設定	キャンセル	>
---	----	----	--	--	--	--	--	--	----	-------	---

- 6) 必要な設定項目を入力します。

- 7) ソフトキー **【設定】** を押します。

入力した設定内容が確定され、設定機能選択画面が表示されます。



他の画面を表示する前に、必ずソフトキー【設定】を押して設定内容を確定してください。ソフトキー【設定】を押さずに他の画面を表示すると入力した設定内容が破棄されます。



MORI-SERVER パラメータの設定を中止する場合は、ソフトキー【キャンセル】を押してください。

ソフトキー【キャンセル】を押すと、入力した内容は破棄され、設定機能選択画面が表示されます。

- 8) ソフトキー【詳細】を押します。

- 9) MORI-SERVER パラメータ（詳細）画面が表示されます。

- 10) 必要な設定項目を入力します。

- 11) ソフトキー【設定】を押します。

入力した設定内容が確定され、設定機能選択画面が表示されます。



他の画面を表示する前に、必ずソフトキー【設定】を押して設定内容を確定してください。ソフトキー【設定】を押さずに他の画面を表示すると入力した設定内容が破棄されます。



MORI-SERVER パラメータの設定を中止する場合は、ソフトキー【キャンセル】を押してください。

ソフトキー【キャンセル】を押すと、入力した内容は破棄され、設定機能選択画面が表示されます。

以上で **MORI-SERVER** パラメータの設定は終了です。

1-4-2 MAPPS II/III/IV の設定

1-4-2-1 TCP/IP パラメータの設定

MAPPS II/III/IV のネットワークの設定は、ネットワーク機能設定画面で行います。以下の手順で、ネットワーク機能設定画面を表示させてください。

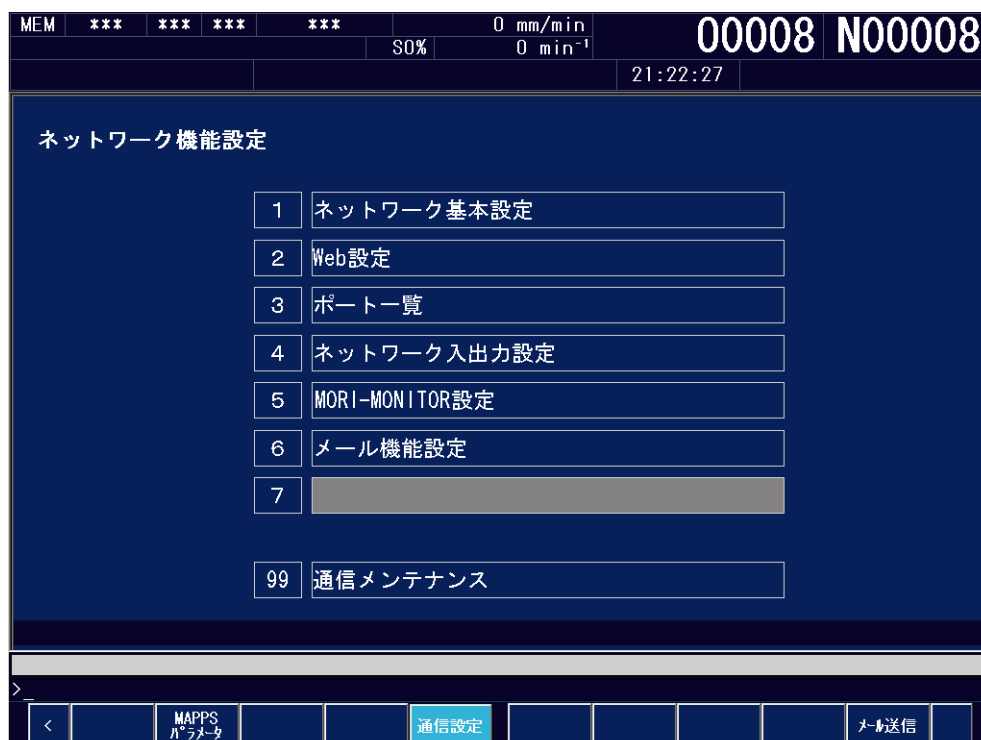
- 1) 機能キー  (保守) を押して、入出力画面を表示させます。



- 2) メニュー切替えキー【<】を1度押し、ソフトキーの表示を切り替えます。



- 3) ソフトキー【通信設定】を押します。
ネットワーク機能設定画面が表示されます。



- ネットワーク機能設定画面でデータ入力キーで "1" と入力し、入力キー （入力）を押すと、本機側の IP アドレスを設定する基本ネットワーク機能設定画面が表示されます。



設定内容は 1-4-2-1 "TCP/IP パラメータの設定" (58 ページ) を参照してください。

- ネットワーク機能設定画面でデータ入力キーで "6" と入力し、入力キー （入力）を押すと、MORI-NET のパラメータを設定する MORI-NET 共通設定画面が表示されます。



設定内容は MORI-NET Global Edition 取扱説明書を参照してください。

- ネットワーク機能設定画面でデータ入力キーで "5" と入力し、入力キー （入力）を押すと、MORI-MONITOR のパラメータを設定する MORI-MONITOR 画面切替設定画面が表示されます。




設定内容は MORI-NET Global Edition 取扱説明書を参照してください。


TIP IP パラメータの設定は、基本ネットワーク機能設定画面で行います。下表の各項目を入力、選択してください。

MEM	***	***	***	***	65535 mm/min	00001	N00000
HEAD1						16:31:50	
基本ネットワーク機能設定							
IPアドレス設定							
DHCP機能		<input checked="" type="checkbox"/> 有効		<input type="checkbox"/> 無効			
IPアドレス		192.168.0.11					
サブネットマスク		255.255.255.0					
デフォルトゲートウェイ		192.168.0.1					
DNS設定							
DNSサービス		<input checked="" type="checkbox"/> 有効		<input type="checkbox"/> 無効			
DNSサーバ		172.24.33.225					
ファイル共有設定							
ファイル共有を使用する		<input checked="" type="checkbox"/> 有効		<input type="checkbox"/> 無効			
コンピュータ名		PCNAME					
ワークグループ名		WORKGROUP					
MACアドレス							
MACアドレス		00-80-17-FC-83-51					
<div> <input type="button" value="P"/> <input type="button" value="M"/> <input type="button" value="N"/> <input type="button" value="O"/> <input type="button" value="F"/> <input type="button" value="I"/> <input type="button" value="R"/> <input type="button" value="E"/> <input type="button" value="S"/> <input type="button" value="T"/> <input type="button" value="A"/> <input type="button" value="B"/> <input type="button" value="C"/> <input type="button" value="D"/> <input type="button" value="E"/> <input type="button" value="F"/> <input type="button" value="G"/> <input type="button" value="H"/> <input type="button" value="I"/> <input type="button" value="J"/> <input type="button" value="K"/> <input type="button" value="L"/> <input type="button" value="M"/> <input type="button" value="N"/> <input type="button" value="O"/> <input type="button" value="P"/> <input type="button" value="Q"/> <input type="button" value="R"/> <input type="button" value="S"/> <input type="button" value="T"/> <input type="button" value="U"/> <input type="button" value="V"/> <input type="button" value="W"/> <input type="button" value="X"/> <input type="button" value="Y"/> <input type="button" value="Z"/> <input type="button" value="0"/> <input type="button" value="1"/> <input type="button" value="2"/> <input type="button" value="3"/> <input type="button" value="4"/> <input type="button" value="5"/> <input type="button" value="6"/> <input type="button" value="7"/> <input type="button" value="8"/> <input type="button" value="9"/> <input type="button" value="A"/> <input type="button" value="B"/> <input type="button" value="C"/> <input type="button" value="D"/> <input type="button" value="E"/> <input type="button" value="F"/> <input type="button" value="G"/> <input type="button" value="H"/> <input type="button" value="I"/> <input type="button" value="J"/> <input type="button" value="K"/> <input type="button" value="L"/> <input type="button" value="M"/> <input type="button" value="N"/> <input type="button" value="O"/> <input type="button" value="P"/> <input type="button" value="Q"/> <input type="button" value="R"/> <input type="button" value="S"/> <input type="button" value="T"/> <input type="button" value="U"/> <input type="button" value="V"/> <input type="button" value="W"/> <input type="button" value="X"/> <input type="button" value="Y"/> <input type="button" value="Z"/> <input type="button" value="0"/> <input type="button" value="1"/> <input type="button" value="2"/> <input type="button" value="3"/> <input type="button" value="4"/> <input type="button" value="5"/> <input type="button" value="6"/> <input type="button" value="7"/> <input type="button" value="8"/> <input type="button" value="9"/> <input type="button" value="A"/> <input type="button" value="B"/> <input type="button" value="C"/> <input type="button" value="D"/> <input type="button" value="E"/> <input type="button" value="F"/> <input type="button" value="G"/> <input type="button" value="H"/> <input type="button" value="I"/> <input type="button" value="J"/> <input type="button" value="K"/> <input type="button" value="L"/> <input type="button" value="M"/> <input type="button" value="N"/> <input type="button" value="O"/> <input type="button" value="P"/> <input type="button" value="Q"/> <input type="button" value="R"/> <input type="button" value="S"/> <input type="button" value="T"/> <input type="button" value="U"/> <input type="button" value="V"/> <input type="button" value="W"/> <input type="button" value="X"/> <input type="button" value="Y"/> <input type="button" value="Z"/> <input type="button" value="0"/> <input type="button" value="1"/> <input type="button" value="2"/> <input type="button" value="3"/> <input type="button" value="4"/> <input type="button" value="5"/> <input type="button" value="6"/> <input type="button" value="7"/> <input type="button" value="8"/> <input type="button" value="9"/> <input type="button" value="A"/> <input type="button" value="B"/> <input type="button" value="C"/> <input type="button" value="D"/> <input type="button" value="E"/> <input type="button" value="F"/> <input type="button" value="G"/> <input type="button" value="H"/> <input type="button" value="I"/> <input type="button" value="J"/> <input type="button" value="K"/> <input type="button" value="L"/> <input type="button" value="M"/> <input type="button" value="N"/> <input type="button" value="O"/> <input type="button" value="P"/> <input type="button" value="Q"/> <input type="button" value="R"/> <input type="button" value="S"/> <input type="button" value="T"/> <input type="button" value="U"/> <input type="button" value="V"/> <input type="button" value="W"/> <input type="button" value="X"/> <input type="button" value="Y"/> <input type="button" value="Z"/> <input type="button" value="0"/> <input type="button" value="1"/> <input type="button" value="2"/> <input type="button" value="3"/> <input type="button" value="4"/> <input type="button" value="5"/> <input type="button" value="6"/> <input type="button" value="7"/> <input type="button" value="8"/> <input type="button" value="9"/> <input type="button" value="A"/> <input type="button" value="B"/> <input type="button" value="C"/> <input type="button" value="D"/> <input type="button" value="E"/> <input type="button" value="F"/> <input type="button" value="G"/> <input type="button" value="H"/> <input type="button" value="I"/> <input type="button" value="J"/> <input type="button" value="K"/> <input type="button" value="L"/> <input type="button" value="M"/> <input type="button" value="N"/> <input type="button" value="O"/> <input type="button" value="P"/> <input type="button" value="Q"/> <input type="button" value="R"/> <input type="button" value="S"/> <input type="button" value="T"/> <input type="button" value="U"/> <input type="button" value="V"/> <input type="button" value="W"/> <input type="button" value="X"/> <input type="button" value="Y"/> <input type="button" value="Z"/> <input type="button" value="0"/> <input type="button" value="1"/> <input type="button" value="2"/> <input type="button" value="3"/> <input type="button" value="4"/> <input type="button" value="5"/> <input type="button" value="6"/> <input type="button" value="7"/> <input type="button" value="8"/> <input type="button" value="9"/> <input type="button" value="A"/> <input type="button" value="B"/> <input type="button" value="C"/> <input type="button" value="D"/> <input type="button" value="E"/> <input type="button" value="F"/> <input type="button" value="G"/> <input type="button" value="H"/> <input type="button" value="I"/> <input type="button" value="J"/> <input type="button" value="K"/> <input type="button" value="L"/> <input type="button" value="M"/> <input type="button" value="N"/> <input type="button" value="O"/> <input type="button" value="P"/> <input type="button" value="Q"/> <input type="button" value="R"/> <input type="button" value="S"/> <input type="button" value="T"/> <input type="button" value="U"/> <input type="button" value="V"/> <input type="button" value="W"/> <input type="button" value="X"/> <input type="button" value="Y"/> <input type="button" value="Z"/> <input type="button" value="0"/> <input type="button" value="1"/> <input type="button" value="2"/> <input type="button" value="3"/> <input type="button" value="4"/> <input type="button" value="5"/> <input type="button" value="6"/> <input type="button" value="7"/> <input type="button" value="8"/> <input type="button" value="9"/> <input type="button" value="A"/> <input type="button" value="B"/> <input type="button" value="C"/> <input type="button" value="D"/> <input type="button" value="E"/> <input type="button" value="F"/> <input type="button" value="G"/> <input type="button" value="H"/> <input type="button" value="I"/> <input type="button" value="J"/> <input type="button" value="K"/> <input type="button" value="L"/> <input type="button" value="M"/> <input type="button" value="N"/> <input type="button" value="O"/> <input type="button" value="P"/> <input type="button" value="Q"/> <input type="button" value="R"/> <input type="button" value="S"/> <input type="button" value="T"/> <input type="button" value="U"/> <input type="button" value="V"/> <input type="button" value="W"/> <input type="button" value="X"/> <input type="button" value="Y"/> <input type="button" value="Z"/> <input type="button" value="0"/> <input type="button" value="1"/> <input type="button" value="2"/> <input type="button" value="3"/> <input type="button" value="4"/> <input type="button" value="5"/> <input type="button" value="6"/> <input type="button" value="7"/> <input type="button" value="8"/> <input type="button" value="9"/> <input type="button" value="A"/> <input type="button" value="B"/> <input type="button" value="C"/> <input type="button" value="D"/> <input type="button" value="E"/> <input type="button" value="F"/> <input type="button" value="G"/> <input type="button" value="H"/> <input type="button" value="I"/> <input type="button" value="J"/> <input type="button" value="K"/> <input type="button" value="L"/> <input type="button" value="M"/> <input type="button" value="N"/> <input type="button" value="O"/> <input type="button" value="P"/> <input type="button" value="Q"/> <input type="button" value="R"/> <input type="button" value="S"/> <input type="button" value="T"/> <input type="button" value="U"/> <input type="button" value="V"/> <input type="button" value="W"/> <input type="button" value="X"/> <input type="button" value="Y"/> <input type="button" value="Z"/> <input type="button" value="0"/> <input type="button" value="1"/> <input type="button" value="2"/> <input type="button" value="3"/> <input type="button" value="4"/> <input type="button" value="5"/> <input type="button" value="6"/> <input type="button" value="7"/> <input type="button" value="8"/> <input type="button" value="9"/> <input type="button" value="A"/> <input type="button" value="B"/> <input type="button" value="C"/> <input type="button" value="D"/> <input type="button" value="E"/> <input type="button" value="F"/> <input type="button" value="G"/> <input type="button" value="H"/> <input type="button" value="I"/> <input type="button" value="J"/> <input type="button" value="K"/> <input type="button" value="L"/> <input type="button" value="M"/> <input type="button" value="N"/> <input type="button" value="O"/> <input type="button" value="P"/> <input type="button" value="Q"/> <input type="button" value="R"/> <input type="button" value="S"/> <input type="button" value="T"/> <input type="button" value="U"/> <input type="button" value="V"/> <input type="button" value="W"/> <input type="button" value="X"/> <input type="button" value="Y"/> <input type="button" value="Z"/> <input type="button" value="0"/> <input type="button" value="1"/> <input type="button" value="2"/> <input type="button" value="3"/> <input type="button" value="4"/> <input type="button" value="5"/> <input type="button" value="6"/> <input type="button" value="7"/> <input type="button" value="8"/> <input type="button" value="9"/> <input type="button" value="A"/> <input type="button" value="B"/> <input type="button" value="C"/> <input type="button" value="D"/> <input type="button" value="E"/> <input type="button" value="F"/> <input type="button" value="G"/> <input type="button" value="H"/> <input type="button" value="I"/> <input type="button" value="J"/> <input type="button" value="K"/> <input type="button" value="L"/> <input type="button" value="M"/> <input type="button" value="N"/> <input type="button" value="O"/> <input type="button" value="P"/> <input type="button" value="Q"/> <input type="button" value="R"/> <input type="button" value="S"/> <input type="button" value="T"/> <input type="button" value="U"/> <input type="button" value="V"/> <input type="button" value="W"/> <input type="button" value="X"/> <input type="button" value="Y"/> <input type="button" value="Z"/> <input type="button" value="0"/> <input type="button" value="1"/> <input type="button" value="2"/> <input type="button" value="3"/> <input type="button" value="4"/> <input type="button" value="5"/> <input type="button" value="6"/> <input type="button" value="7"/> <input type="button" value="8"/> <input type="button" value="9"/> <input type="button" value="A"/> <input type="button" value="B"/> <input type="button" value="C"/> <input type="button" value="D"/> <input type="button" value="E"/> <input type="button" value="F"/> <input type="button" value="G"/> <input type="button" value="H"/> <input type="button" value="I"/> <input type="button" value="J"/> <input type="button" value="K"/> <input type="button" value="L"/> <input type="button" value="M"/> <input type="button" value="N"/> <input type="button" value="O"/> <input type="button" value="P"/> <input type="button" value="Q"/> <input type="button" value="R"/> <input type="button" value="S"/> <input type="button" value="T"/> <input type="button" value="U"/> <input type="button" value="V"/> <input type="button" value="W"/> <input type="button" value="X"/> <input type="button" value="Y"/> <input type="button" value="Z"/> <input type="button" value="0"/> <input type="button" value="1"/> <input type="button" value="2"/> <input type="button" value="3"/> <input type="button" value="4"/> <input type="button" value="5"/> <input type="button" value="6"/> <input type="button" value="7"/> <input type="button" value="8"/> <input type="button" value="9"/> <input type="button" value="A"/> <input type="button" value="B"/> <input type="button" value="C"/> <input type="button" value="D"/> <input type="button" value="E"/> <input type="button" value="F"/> <input type="button" value="G"/> <input type="button" value="H"/> <input type="button" value="I"/> <input type="button" value="J"/> <input type="button" value="K"/> <input type="button" value="L"/> <input type="button" value="M"/> <input type="button" value="N"/> <input type="button" value="O"/> <input type="button" value="P"/> <input type="button" value="Q"/> <input type="button" value="R"/> <input type="button" value="S"/> <input type="button" value="T"/> <input type="button" value="U"/> <input type="button" value="V"/> <input type="button" value="W"/> <input type="button" value="X"/> <input type="button" value="Y"/> <input type="button" value="Z"/> <input type="button" value="0"/> <input type="button" value="1"/> <input type="button" value="2"/> <input type="button" value="3"/> <input type="button" value="4"/> <input type="button" value="5"/> <input type="button" value="6"/> <input type="button" value="7"/> <input type="button" value="8"/> <input type="button" value="9"/> <input type="button" value="A"/> <input type="button" value="B"/> <input type="button" value="C"/> <input type="button" value="D"/> <input type="button" value="E"/> <input type="button" value="F"/> <input type="button" value="G"/> <input type="button" value="H"/> <input type="button" value="I"/> <input type="button" value="J"/> <input type="button" value="K"/> <input type="button" value="L"/> <input type="button" value="M"/> <input type="button" value="N"/> <input type="button" value="O"/> <input type="button" value="P"/> <input type="button" value="Q"/> <input type="button" value="R"/> <input type="button" value="S"/> <input type="button" value="T"/> <input type="button" value="U"/> <input type="button" value="V"/> <input type="button" value="W"/> <input type="button" value="X"/> <input type="button" value="Y"/> <input type="button" value="Z"/> <input type="button" value="0"/> <input type="button" value="1"/> <input type="button" value="2"/> <input type="button" value="3"/> <input type="button" value="4"/> <input type="button" value="5"/> <input type="button" value="6"/> <input type="button" value="7"/> <input type="button" value="8"/> <input type="button" value="9"/> <input type="button" value="A"/> <input type="button" value="B"/> <input type="button" value="C"/> <input type="button" value="D"/> <input type="button" value="E"/> <input type="button" value="F"/> <input type="button" value="G"/> <input type="button" value="H"/> <input type="button" value="I"/> <input type="button" value="J"/> <input type="button" value="K"/> <input type="button" value="L"/> <input type="button" value="M"/> <input type="button" value="N"/> <input type="button" value="O"/> <input type="button" value="P"/> <input type="button" value="Q"/> <input type="button" value="R"/> <input type="button" value="S"/> <input type="button" value="T"/> <input type="button" value="U"/> <input type="button" value="V"/> <input type="button" value="W"/> <input type="button" value="X"/> <input type="button" value="Y"/> <input type="button" value="Z"/> <input type="button" value="0"/> <input type="button" value="1"/> <input type="button" value="2"/> <input type="button" value="3"/> <input type="button" value="4"/> <input type="button" value="5"/> <input type="button" value="6"/> <input type="button" value="7"/> <input type="button" value="8"/> <input type="button" value="9"/> <input type="button" value="A"/> <input type="button" value="B"/> <input type="button" value="C"/> <input type="button" value="D"/> <input type="button" value="E"/> <input type="button" value="F"/> <input type="button" value="G"/> <input type="button" value="H"/> <input type="button" value="I"/> <input type="button" value="J"/> <input type="button" value="K"/> <input type="button" value="L"/> <input type="button" value="M"/> <input type="button" value="N"/> <input type="button" value="O"/> <input type="button" value="P"/> <input type="button" value="Q"/> <input type="button" value="R"/> <input type="button" value="S"/> <input type="button" value="T"/> <input type="button" value="U"/> <input type="button" value="V"/> <input type="button" value="W"/> <input type="button" value="X"/> <input type="button" value="Y"/> <input type="button" value="Z"/> <input type="button" value="0"/> <input type="button" value="1"/> <input type="button" value="2"/> <input type="button" value="3"/> <input type="button" value="4"/> <input type="button" value="5"/> <input type="button" value="6"/> <input type="button" value="7"/> <input type="button" value="8"/> <input type="button" value="9"/> <input type="button" value="A"/> <input type="button" value="B"/> <input type="button" value="C"/> <input type="button" value="D"/> <input type="button" value="E"/> <input type="button" value="F"/> <input type="button" value="G"/> <input type="button" value="H"/> <input type="button" value="I"/> <input type="button" value="J"/> <input type="button" value="K"/> <input type="button" value="L"/> <input type="button" value="M"/> <input type="button" value="N"/> <input type="button" value="O"/> <input type="button" value="P"/> <input type="button" value="Q"/> <input type="button" value="R"/> <input type="button" value="S"/> <input type="button" value="T"/> <input type="button" value="U"/> <input type="button" value="V"/> <input type="button" value="W"/> <input type="button" value="X"/> <input type="button" value="Y"/> <input type="button" value="Z"/> <input type="button" value="0"/> <input type="button" value="1"/> <input type="button" value="2"/> <input type="button" value="3"/> <input type="button" value="4"/> <input type="button" value="5"/> <input type="button" value="6"/> <input type="button" value="7"/> <input type="button" value="8"/> <input type="button" value="9"/> <input type="button" value="A"/> <input type="button" value="B"/> <input type="button" value="C"/> <input type="button" value="D"/> <input type="button" value="E"/> <input type="button" value="F"/> <input type="button" value="G"/> <input type="button" value="H"/> <input type="button" value="I"/> <input type="button" value="J"/> <input type="button" value="K"/> <input type="button" value="L"/> <input type="button" value="M"/> <input type="button" value="N"/> <input type="button" value="O"/> <input type="button" value="P"/> <input type="button" value="Q"/> <input type="button" value="R"/> <input type="button" value="S"/> <input type="button" value="T"/> <input type="button" value="U"/> <input type="button" value="V"/> <input type="button" value="W"/> <input type="button" value="X"/> <input type="button" value="Y"/> <input type="button" value="Z"/> <input type="button" value="0"/> <input type="button" value="1"/> <input type="button" value="2"/> <input type="button" value="3"/> <input type="button" value="4"/> <input type="button" value="5"/> <input type="button" value="6"/> <input type="button" value="7"/> <input type="button" value="8"/> <input type="button" value="9"/> <input type="button" value="A"/> <input type="button" value="B"/> <input type="button" value="C"/> <input type="button" value="D"/> <input type="button" value="E"/> <input type="button" value="F"/> <input type="button" value="G"/> <input type="button" value="H"/> <input type="button" value="I"/> <input type="button" value="J"/> <input type="button" value="K"/> <input type="button" value="L"/> <input type="button" value="M"/> <input type="button" value="N"/> <input type="button" value="O"/> <input type="button" value="P"/> <input type="button" value="Q"/> <input type="button" value="R"/> <input type="button" value="S"/> <input type="button" value="T"/> <input type="button" value="U"/> <input type="button" value="V"/> <input type="button" value="W"/> <input type="button" value="X"/> <input type="button" value="Y"/> <input type="button" value="Z"/> <input type="button" value="0"/> <input type="button" value="1"/> <input type="button" value="2"/> <input type="button" value="3"/> <input type="button" value="4"/> <input type="button" value="5"/> <input type="button" value="6"/> <input type="button" value="7"/> <input type="button" value="8"/> <input type="button" value="9"/> <input type="button" value="A"/> <input type="button" value="B"/> <input type="button" value="C"/> <input type="button" value="D"/> <input type="button" value="E"/> <input type="button" value="F"/> <input type="button" value="G"/> <input type="button" value="H"/> <input type="button" value="I"/> <input type="button" value="J"/> <input type="button" value="K"/> <input type="button" value="L"/> <input type="button" value="M"/> <input type="button" value="N"/> <input type="button" value="O"/> <input type="button" value="P"/> <input type="button" value="Q"/> <input type="button" value="R"/> <input type="button" value="S"/> <input type="button" value="T"/> <input type="button" value="U"/> <input type="button" value="V"/> <input type="button" value="W"/> <input type="button" value="X"/> <input type="button" value="Y"/> <input type="button" value="Z"/> <input type="button" value="0"/> <input type="button" value="1"/> <input type="button" value="2"/> <input type="button" value="3"/> <input type="button" value="4"/> <input type="button" value="5"/> <input type="button" value="6"/> <input type="button" value="7"/> <input type="button" value="8"/> <input type="button" value="9"/> <input type="button" value="A"/> <input type="button" value="B"/> <input type="button" value="C"/> <input type="button" value="D"/> <input type="button" value="E"/> <input type="button" value="F"/> <input type="button" value="G"/> <input type="button" value="H"/> <input type="button" value="I"/> <input type="button" value="J"/> <input type="button" value="K"/> <input type="button" value="L"/> <input type="button" value="M"/> <input type="button" value="N"/> <input type="button" value="O"/> <input type="button" value="P"/> <input type="button" value="Q"/> <input type="button" value="R"/> <input type="button" value="S"/> <input type="button" value="T"/> <input type="button" value="U"/> <input type="button" value="V"/> <input type="button" value="W"/> <input type="button" value="X"/> <input type="button" value="Y"/> <input type="button" value="Z"/> <input type="button" value="0"/> <input type="button" value="1"/> <input type="button" value="2"/> <input type="button" value="3"/> <input type="button" value="4"/> <input type="button" value="5"/> <input type="button" value="6"/> <input type="button" value="7"/> <input type="button" value="8"/> <input type="button" value="9"/> <input type="button" value="A"/> <input type="button" value="B"/> <input type="button" value="C"/> <input type="button" value="D"/> <input type="button" value="E"/> <input type="button" value="F"/> <input type="button" value="G"/> <input type="button" value="H"/> <input type="button" value="I"/> <input type="button" value="J"/> <input type="button" value="K"/> <input type="button" value="L"/> <input type="button" value="M"/> <input type="button" value="N"/> <input type="button" value="O"/> <input type="button" value="P"/> <input type="button" value="Q"/> <input type="button" value="R"/> <input type="button" value="S"/> <input type="button" value="T"/> <input type="button" value="U"/> <input type="button" value="V"/> <input type="button" value="W"/> <input type="button" value="X"/> <input type="button" value="Y"/> <input type="button" value="Z"/> <input type="button" value="0"/> <input type="button" value="1"/> <input type="button" value="2"/> <input type="button" value="3"/> <input type="button" value="4"/> <input type="button" value="5"/> <input type="button" value="6"/> <input type="button" value="7"/> <input type="button" value="8"/> <input type="button" value="9"/> <input type="button" value="A"/> <input type="button" value="B"/> <input type="button" value="C"/> <input type="button" value="D"/> <input type="button" value="E"/> <input type="button" value="F"/> <input type="button" value="G"/> <input type="button" value="H"/> <input type="button" value="I"/> <input type="button" value="J"/> <input type="button" value="K"/> <input type="button" value="L"/> <input type="button" value="M"/> <input type="button" value="N"/> <input type="button" value="O"/> <input type="button" value="P"/> <input type="button" value="Q"/> <input type="button" value="R"/> <input type="button" value="S"/> <input type="button" value="T"/> <input type="button" value="U"/> <input type="button" value="V"/> <input type="button" value="W"/> <input type="button" value="X"/> <input type="button" value="Y"/> <input type="button" value="Z"/> <input type="button" value="0"/> <input type="button" value="1"/> <input type="button" value="2"/> <input type="button" value="3"/> <input type="button" value="4"/> <input type="button" value="5"/> <input type="button" value="6"/> <input type="button" value="7"/> <input type="button" value="8"/> <input type="button" value="9"/> <input type="button" value="A"/> <input type="button" value="B"/> <input type="button" value="C"/> <input type="button" value="D"/> <input type="button" value="E"/> <input type="button" value="F"/> <input type="button" value="G"/> <input type="button" value="H"/> <input type="button" value="I"/> <input type="button" value="J"/> <input type="button" value="K"/> <input type="button" value="L"/> <input type="button" value="M"/> <input type="button" value="N"/> <input type="button" value="O"/> <input type="button" value="P"/> <input type="button" value="Q"/> <input type="button" value="R"/> <input type="button" value="S"/> <input type="button" value="T"/> <input type="button" value="U"/> <input type="button" value="V"/> <input type="button" value="W"/> <input type="button" value="X"/> <input type="button" value="Y"/> <input type="button" value="Z"/> <input type="button" value="0"/> <input type="button" value="1"/> <input type="button" value="2"/> <input type="button" value="3"/> <input type="button" value="4"/> <input type="button" value="5"/> <input type="button" value="6"/> <input type="button" value="7"/> <input type="button" value="8"/> <input type="button" value="9"/> <input type="button" value="A"/> <input type="button" value="B"/> <input type="button" value="C"/> <input type="button" value="D"/> <input type="button" value="E"/> <input type="button" value="F"/> <input type="button" value="G"/> <input type="button" value="H"/> <input type="button" value="I"/> <input type="button" value="J"/> <input type="button" value="K"/> <input type="button" value="L"/> <input type="button" value="M"/> <input type="button" value="N"/> <input type="button" value="O"/> <input type="button" value="P"/> <input type="button" value="Q"/> <input type="button" value="R"/> <input type="button" value="S"/> <input type="button" value="T"/> <input type="button" value="U"/> <input type="button" value="V"/> <input type="button" value="W"/> <input type="button" value="X"/> <input type="button" value="Y"/> <input type="button" value="Z"/> <input type="button" value="0"/> <input type="button" value="1"/> <input type="button" value="2"/> <input type="button" value="3"/> <input type="button" value="4"/> <input type="button" value="5"/> <input type="button" value="6"/> <input type="button" value="7"/> <input type="button" value="8"/> <input type="button" value="9"/> <input type="button" value="A"/> <input type="button" value="B"/> <input type="button" value="C"/> <input type="button" value="D"/> <input type="button" value="E"/> <input type="button" value="F"/> <input type="button" value="G"/> <input type="button" value="H"/> <input type="button" value="I"/> <input type="button" value="J"/> <input type="button" value="K"/> <input type="button" value="L"/> <input type="button" value="M"/> <input type="button" value="N"/> <input type="button" value="O"/> <input type="button" value="P"/> <input type="button" value="Q"/> <input type="button" value="R"/> <input type="button" value="S"/> <input type="button" value="T"/> <input type="button" value="U"/> <input type="button" value="V"/> <input type="button" value="W"/> <input type="button" value="X"/> <input type="button" value="Y"/> <input type="button" value="Z"/> <input type="button" value="0"/> <input type="button" value="1"/> <input type="button" value="2"/> <input type="button" value="3"/> <input type="button" value="4"/> <input type="button" value="5"/> <input type="button" value="6"/> <input type="button" value="7"/> <input type="button" value="8"/> <input type="button" value="9"/> <input type="button" value="A"/> <input type="button" value="B"/> <input type="button" value="C"/> <input type="button" value="D"/> <input type="button" value="E"/> <input type="button" value="F"/> <input type="button" value="G"/> <input type="button" value="H"/> <input type="button" value="I"/> <input type="button" value="J"/> <input type="button" value="K"/> <input type="button" value="L"/> <input type="button" value="M"/> <input type="button" value="N"/> <input type="button" value="O"/> <input type="button" value="P"/> <input type="button" value="Q"/> <input type="button" value="R"/> <input type="button" value="S"/> <input type="button" value="T"/> <input type="button" value="U"/> <input type="button" value="V"/> <input type="button" value="W"/> <input type="button" value="X"/> <input type="button" value="Y"/> <input type="button" value="Z"/> <input type="button" value="0"/> <input type="button" value="1"/> <input type="button" value="2"/> <input type="button" value="3"/> <input type="button" value="4"/> <input type="button" value="5"/> <input type="button" value="6"/> <input type="button" value="7"/> <input type="button" value="8"/> <input type="button" value="9"/> <input type="button" value="A"/> <input type="button" value="B"/> <input type="button" value="C"/> <input type="button" value="D"/> <input type="button" value="E"/> <input type="button" value="F"/> <input type="button" value="G"/> <input type="button" value="H"/> <input type="button" value="I"/> <input type="button" value="J"/> <input type="button" value="K"/> <input type="button" value="L"/> <input type="button" value="M"/> <input type="button" value="N"/> <input type="button" value="O"/> <input type="button" value="P"/> <input type="button" value="Q"/> <input type="button" value="R"/> <input type="button" value="S"/> <input type="button" value="T"/> <input type="button" value="U"/> <input type="button" value="V"/> <input type="button" value="W"/> <input type="button" value="X"/> <input type="button" value="Y"/> <input type="button" value="Z"/> <input type="button" value="0"/> <input type="button" value="1"/> <input type="button" value="2"/> <input type="button" value="3"/> <input type="button" value="4"/> <input type="button" value="5"/> <input type="button" value="6"/> <input type="button" value="7"/> <input type="button" value="8"/> <input type="button" value="9"/> <input type="button" value="A"/> <input type="button" value="B"/> <input type="button" value="C"/> <input type="button" value="D"/> <input type="button" value="E"/> <input type="button" value="F"/> <input type="button" value="G"/> <input type="button" value="H"/> <input type="button" value="I"/> <input type="button" value="J"/> <input type="button" value="K"/> <input type="button" value="L"/> <input type="button" value="M"/> <input type="button" value="N"/> <input type="button" value="O"/> <input type="button" value="P"/> <input type="button" value="Q"/> <input type="button" value="R"/> <input type="button" value="S"/> <input type="button" value="T"/> <input type="button" value="U"/> <input type="button" value="V"/> <input type="button" value="W"/> <input type="button" value="X"/> <input type="button" value="Y"/> <input type="button" value="Z"/> <input type="button" value="0"/> <input type="button" value="1"/> <input type="button" value="2"/> <input type="button" value="3"/> <input type="button" value="4"/> <input type="button" value="5"/> <input type="button" value="6"/> <input type="button" value="7"/> <input type="button" value="8"/> <input type="button" value="9"/> <input type="button" value="A"/> <input type="button" value="B"/> <input type="button" value="C"/> <input type="button" value="D"/> <input type="button" value="E"/> <input type="button" value="F"/> <input type="button" value="G"/> <input type="button" value="H"/> <input type="button" value="I"/> <input type="button" value="J"/> <input type="button" value="K"/> <input type="button" value="L"/> <input type="button" value="M"/> <input type="button" value="N"/> <input type="button" value="O"/> <input type="button" value="P"/> <input type="button" value="Q"/> <input type="button" value="R"/> <input type="button" value="S"/> <input type="button" value="T"/> <input type="button" value="U"/> <input type="button" value="V"/> <input type="button" value="W"/> <input type="button" value="X"/> <input type="button" value="Y"/> <input type="button" value="Z"/> <input type="button" value="0"/> <input type="button" value="1"/> <input type="button" value="2"/> <input type="button" value="3"/> <input type="button" value="4"/> <input type="button" value="5"/> <input type="button" value="6"/> <input type="button" value="7"/> <input type="button" value="8"/> <input type="button" value="9"/> <input type="button" value="A"/> <input type="button" value="B"/> <input type="button" value="C"/> <input type="button" value="D"/> <input type="button" value="E"/> <input type="button" value="F"/> <input type="button" value="G"/> <input type="button" value="H"/> <input type="button" value="I"/> <input type="button" value="J"/> <input type="button" value="K"/> <input type="button" value="L"/> <input type="button" value="M"/> <input type="button" value="N"/> <input type="button" value="O"/> <input type="button" value="P"/> <input type="button" value="Q"/> <input type="button" value="R"/> <input type="button" value="S"/> <input type="button" value="T"/> <input type="button" value="U"/> <input type="button" value="V"/> <input type="button" value="W"/> <input type="button" value="X"/> <input type="button" value="Y"/> <input type="button" value="Z"/> <input type="button" value="0"/> <input type="button" value="1"/> <input type="button" value="2"/> <input type="button" value="3"/> <input type="button" value="4"/> <input type="button" value="5"/> <input type="button" value="6"/> <input type="button" value="7"/> <input type="button" value="8"/> <input type="button" value="9"/> <input type="button" value="A"/> <input type="button" value="B"/> <input type="button" value="C"/></div>							

<設定項目>

項目	説明
DHCP 機能	IP アドレスを自動的に割り当てる DHCP 機能の設定です。
IP アドレス	本機側に割り当てる IP アドレスを設定してください。
サブネットマスク	本機側のサブネットマスクを設定してください。
デフォルトゲートウェイ	デフォルトゲートウェイのアドレスを設定してください。
DNS サービス	DNS サービスの利用を設定してください。 有効： 利用する 無効： 利用しない
DNS サーバ	DNS サーバの IP アドレスを設定してください。DNS サービスを利用しない場合は設定できません。
ファイル共有を使用する	MORI-SERVER では使用しません。初期値の設定変更は不要です。
コンピュータ名	本機側に割り当てるコンピュータ名を設定してください。 DHCP を使用する場合は、MORI-SERVER で機械情報を登録する際に、" 機械情報 " ダイアログボックスの " 通信先 " にこのコンピュータ名を設定します。  機械情報の変更方法は、1-3-5-2 " 登録情報の変更 " (39 ページ) を参照してください。
ワークグループ名	MORI-SERVER では使用しません。初期値の設定変更は不要です。
MAC アドレス	本機側の MAC アドレスが表示されます。変更できません。

<ソフトキー項目>

ソフトキー番号	項目	説明
F6	PING	 < PING 機能 >
F8	取得	押すと、選択されている項目の設定値を自動入力します。
F9	設定	本設定画面での変更を保存します。
F10	戻る	本設定画面を終了し、基本ネットワーク機能設定画面に戻ります。

< PING 機能 >

PING 機能は、指定した IP アドレスとのネットワークの接続を確認するために使用します。

接続確認を行う IP アドレスを入力後にソフトキー【PING】を押すと、指定した対象の機器との接続が確認できた場合、確認できなかった場合について、それぞれガイダンスメッセージが表示されます。

MEM	***	***	***	***	0 mm/min		00011		N00011	
					S0%	0 min ⁻¹				
							10:01:16			
基本ネットワーク機能設定										
IPアドレス設定										
DHCP機能					<input type="button" value="有効"/>		<input type="button" value="無効"/>			
IPアドレス					128.24.23.205					
サブネットマスク					255.255.0.0					
デフォルトゲートウェイ					128.24.70.254					
DNS設定										
DNSサービス					<input type="button" value="有効"/>		<input type="button" value="無効"/>			
DNSサーバー										
MACアドレス										
MACアドレス					FF-FF-FF-FF-FF-FF					
<div>入力されたアドレスは存在します。</div>										
128.24.23.52										
					<input type="button" value="PING"/>		<input type="button" value="取得"/>		<input type="button" value="戻る"/>	

接続が確認できた場合

MEM	***	***	***	***	0 mm/min		00011		N00011	
					S0%	0 min ⁻¹				
							10:11:19			
基本ネットワーク機能設定										
IPアドレス設定										
DHCP機能					<input type="button" value="有効"/>		<input type="button" value="無効"/>			
IPアドレス					128.24.23.205					
サブネットマスク					255.255.0.0					
デフォルトゲートウェイ					128.24.70.254					
DNS設定										
DNSサービス					<input type="button" value="有効"/>		<input type="button" value="無効"/>			
DNSサーバー										
MACアドレス										
MACアドレス					FF-FF-FF-FF-FF-FF					
<div>入力されたアドレスは存在しません。</div>										
128.24.23.52										
					<input type="button" value="PING"/>		<input type="button" value="取得"/>		<input type="button" value="戻る"/>	

接続が確認できなかった場合

1-4-2-2 MORI-SERVER パラメータ画面

MAPPS II/III/IV での MORI-SERVER パラメータ画面は、次のようにして開いてください。

- 1) MAPPS 側操作パネルの機能キー 保守（保守）を押します。

図 A-31 のような画面が表示されます。

- 2) メニュー切替えキー【<】を押します。



図 A-31

ソフトキーが図 A-32 のように変化します。

- 3) ソフトキー【通信設定】を押します。



図 A-32

図 A-33 のようにネットワーク機能設定画面が表示されます。

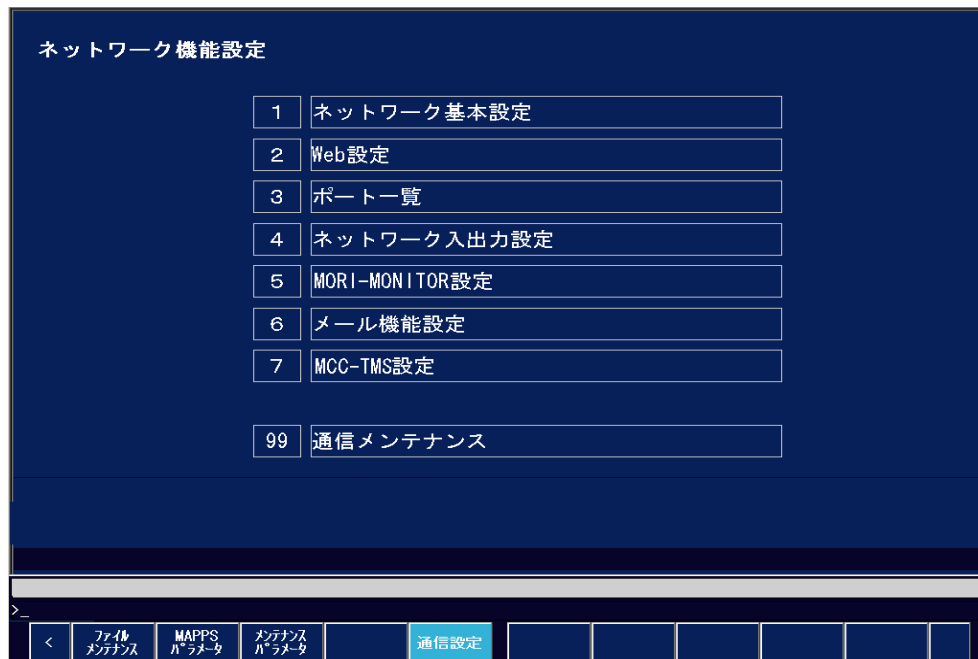


図 A-33

4) データ入力キーで "4" と入力します。

5) 入力キー (入力) を押します。

図 A-34 のように MORI-DSN 機能設定画面が表示されます。

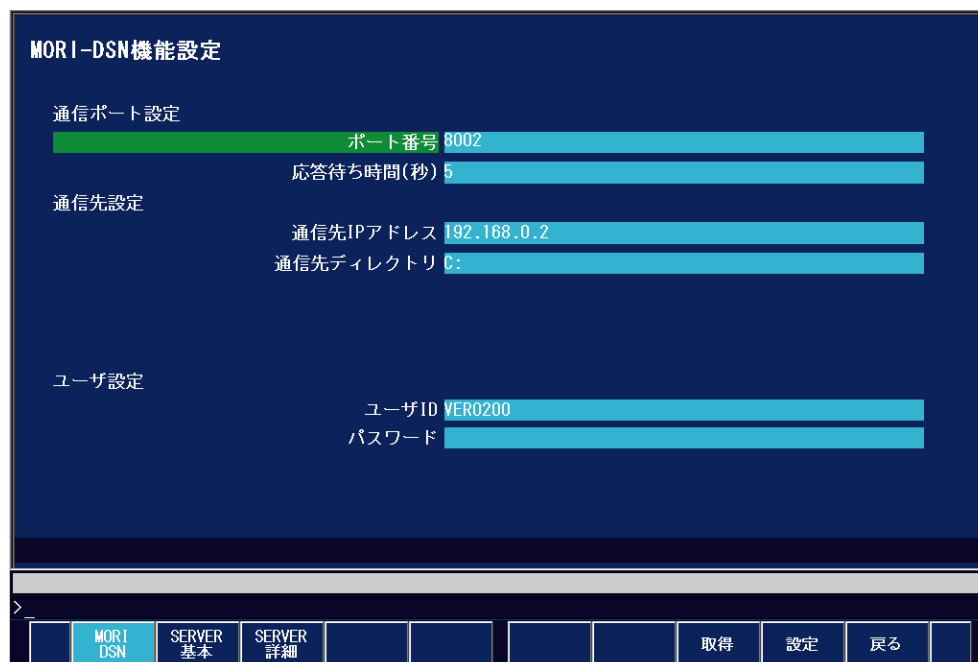


図 A-34

- 6) MORI-SERVER 機能基本設定を変更する場合は、ソフトキー【SERVER 基本】を押します。
- 7) MORI-SERVER 機能詳細設定を変更する場合は、ソフトキー【SERVER 詳細】を押します。

1-4-2-3 MORI-SERVER 機能基本設定画面

MORI-SERVER での通信の基本パラメータの設定を行う画面です。

以下に従って、MORI-SERVER の基本パラメータを設定してください。

- 1) 1-4-2-2 "MORI-SERVER パラメータ画面 " (63 ページ) に従って、図 A-35 のように MORI-SERVER 機能基本設定画面を表示します。

図 A-35

- 2) 図 A-35 の " ポート番号 " に、MORI-SERVER の通信に使用するポート番号を入力します。
- 3) 図 A-35 の " 応答待ち時間 (秒) " に、MORI-SERVER の通信のタイムアウトまでの時間を秒単位で入力します。



1. このパラメータが小さい場合、処理に時間がかかったときに、タイムアウトしてしまう可能性がありますので、20 秒以上に設定してください。
2. 実際のタイムアウトまでの時間とは異なる場合があります。
3. 本パラメータを変更した場合、MAPPS II/III/IV の電源の再投入が必要です。

- 4) 図 A-35 の "主機能" で、MORI-SERVER の通信の有効・無効を選択します。

本パラメータを無効に設定すると、PC 側から通信を拒否します。



通常はデフォルトの "8008" をお使いください。他のソフトウェアがそのポートを既に使用している場合のみ、本パラメータを変更してください。



本パラメータを変更するにあたっては、ネットワークについての知識を十分に有する方が行ってください。他のソフトウェアが使用するポート番号を指定すると、他のソフトウェアで問題が生じる危険性があります。



1. 本パラメータは、1-3-1-2 "通信パラメータ設定" (28 ページ) で設定された PC 側ポート番号と同じ値を設定してください。本パラメータと PC 側のポート番号が異なると、通信はできません。

2. 本パラメータを変更した場合、MAPPS II/III/IV の電源の再投入が必要です。

- 5) 図 A-35 の "IP アドレス認証機能" で、IP アドレスによる通信制限機能の有効・無効を選択します。

有効を選択すると、図 A-36 のように "IP アドレス 1" および "IP アドレス 2" の欄がカラーになり、入力可能となります。



IP アドレスによる通信制限機能とは、指定された IP アドレス以外からの通信を拒否する機能です。通信を許可する IP アドレスは、下記で設定します。

MORI-SERVER機能基本設定

通信ポート設定

ポート番号 8008

応答待ち時間(秒) 20

機能設定

主機能 有効 無効

IPアドレス認証機能 有効 無効

IPアドレス1 192.168.0.10

IPアドレス2 192.168.10.*

ユーザ認証機能 有効 無効

ユーザ1

ユーザID

パスワード

ユーザ2

ユーザID

パスワード

MORI DSN SERVER 基本 SERVER 詳細 取得 設定 戻る

図 A-36

- 6) 図 A-35 の "IP アドレス認証機能" で有効を選択した場合、図 A-36 の "IP アドレス 1" と "IP アドレス 2" に通信を許可する IP アドレスを "xxx.xxx.xxx.xxx" の形式で入力します。



本設定ではワイルドカード "*" の使用が可能です。ワイルドカードを使用する場合は、"xxx.xxx.xxx.*" というような形で、8 ビット区切りのうちの 1 つの区切りを丸々 "*" で置き替えるようにして使用してください。

"xxx.xxx.*" や "xxx.xxx.xxx.1*" というような記述は、使用できません。

- 7) 図 A-35 の "ユーザ認証機能" で、ユーザ認証機能の有効・無効を選択します。

有効を選択すると、図 A-37 のように "ユーザ 1" および "ユーザ 2" がカラーになり、有効・無効の選択が可能となります。



1. ユーザ認証機能とは、PC から送られてきたユーザ ID とパスワードが、あらかじめ MAPPS に登録されているユーザ ID とパスワードと一致しているかどうかを確認し、一致していない場合は通信を拒否する機能です。通信を許可するユーザ ID とパスワードは、下記で設定します。
2. ユーザ認証機能が無効の場合、"ユーザ 1" で認証された場合と同様の動作となります。

MORI-SERVER機能基本設定

通信ポート設定

ポート番号 8008

応答待ち時間(秒) 20

機能設定

主機能	有効	無効
IPアドレス認証機能	有効	無効
IPアドレス1	192.168.0.10	
IPアドレス2	192.168.10.*	
ユーザ認証機能	有効	無効
ユーザ1	有効	無効
ユーザID		
パスワード		
ユーザ2	有効	無効
ユーザID		
パスワード		

>

MORI DSN SERVER 基本 SERVER 詳細 取得 設定 戻る

図 A-37

- 8) 図 A-37 の "ユーザ 1" で、下記で設定するユーザ 1 のユーザ ID とパスワードの有効・無効を選択します。

有効を選択すると、図 A-38 のようにユーザ 1 の "ユーザ ID" および "パスワード" がカラーになり、入力可能となります。

MORI-SERVER機能基本設定

通信ポート設定

ポート番号 8008

応答待ち時間(秒) 20

機能設定

主機能 ☒ 有効 ☐ 無効

IPアドレス認証機能 ☒ 有効 ☐ 無効

IPアドレス1 192.168.0.10

IPアドレス2 192.168.10.*

ユーザ認証機能 ☒ 有効 ☐ 無効

ユーザ1 ☒ 有効 ☐ 無効

ユーザID CTL1

パスワード *****

ユーザ2 ☐ 有効 ☒ 無効

ユーザID

パスワード

>

MORI DSN SERVER 基本 SERVER 詳細 取得 設定 戻る

図 A-38

- 9) 図 A-38 の "ユーザ ID" と "パスワード" に、それぞれユーザ 1 のユーザ ID とパスワードを入力します。

"パスワード"に入力した文字は、"*"に置き替えられて表示されます。

- 10) 図 A-37 の "ユーザ 2" で、下記で設定するユーザ 2 のユーザ ID とパスワードの有効・無効を選択します。

有効を選択すると、図 A-39 のようにユーザ 2 の "ユーザ ID" および "パスワード" がカラーになり、入力可能となります。

The screenshot shows the 'MORI-SERVER機能基本設定' (MORI-SERVER Function Basic Settings) screen. It is divided into two main sections: '通信ポート設定' (Communication Port Settings) and '機能設定' (Function Settings).

通信ポート設定 (Communication Port Settings):

- ポート番号 (Port Number): 8008
- 応答待ち時間(秒) (Response Wait Time (sec)): 20

機能設定 (Function Settings):

- 主機能 (Main Function): ☒ 有効 (Valid) ☐ 無効 (Invalid)
- IPアドレス認証機能 (IP Address Authentication Function): ☒ 有効 (Valid) ☐ 無効 (Invalid)
- IPアドレス1 (IP Address 1): 192.168.0.10
- IPアドレス2 (IP Address 2): 192.168.10.*
- ユーザ認証機能 (User Authentication Function): ☒ 有効 (Valid) ☐ 無効 (Invalid)
- ユーザ1 (User 1): ☒ 有効 (Valid) ☐ 無効 (Invalid)
- ユーザID (User ID): CTL1
- パスワード (Password): *****
- ユーザ2 (User 2): ☒ 有効 (Valid) ☐ 無効 (Invalid)

Below the User 2 settings, there is a highlighted box containing:

- ユーザID (User ID): MORISEIKI
- パスワード (Password): ***

At the bottom of the screen, there is a navigation bar with buttons: MORI, DSN, SERVER, 基本 (Basic), SERVER, 詳細 (Details), 取得 (Get), 戻る (Back).

図 A-39

- 11) 図 A-39 の "ユーザ ID" と "パスワード" に、それぞれユーザ 2 のユーザ ID とパスワードを入力します。
- "パスワード"に入力した文字は、"*"に置き換えられて表示されます。
- 12) 図 A-39 のソフトキー【取得】を押します。
- カーソルで選択している欄のデータをテキストボックスに取得することができます。
- 13) 上記 2) から 11) の各パラメータの入力が完了したら、ソフトキー【設定】を押します。
- 入力されたデータが MAPPS II/III/IV に設定されます。



ソフトキー【設定】を押さずにソフトキー【MORI DSN】、【SERVER 詳細】または【戻る】を押した場合、ソフトキーの表示は図 A-40 のように変化します。ここでソフトキー【OK】を押した場合、入力されたデータは MAPPS に設定されずに破棄され、下記のようにそれぞれの画面へ遷移します。



図 A-40

図 A-39 の画面でソフトキー【MORI DSN】を押すと、図 A-34 の MORI-DSN 機能設定画面に遷移します。

図 A-39 の画面でソフトキー【SERVER 詳細】を押すと、図 A-42 の MORI-SERVER 機能詳細設定画面に遷移します。

図 A-39 の画面でソフトキー【戻る】を押すと、図 A-33 のネットワーク機能設定画面に遷移します。

図 A-39 の画面でソフトキー【SERVER 基本】を押しても、変化しません。

1-4-2-4 MORI-SERVER 機能詳細設定画面

MORI-SERVER での通信の詳細パラメータとして、個別の機能の有効・無効の設定を行う画面です。

以下に従って、MORI-SERVER の詳細パラメータを設定してください。



下記 2) ～ 6) で設定する項目に関して、ユーザ 1 で認証された場合またはユーザ認証機能が無効の場合には、図 A-41 の "ユーザ 1" 側に設定するデータを入力し、ユーザ 2 で認証された場合には、"ユーザ 2" 側に設定するデータを入力してください。

ユーザ1	<input checked="" type="checkbox"/> 有効	<input type="checkbox"/> 無効
ユーザID	CTL1	
パスワード	*****	
ユーザ2	<input checked="" type="checkbox"/> 有効	<input type="checkbox"/> 無効
ユーザID	MORISEIKI	
パスワード	***	

図 A-41

- 1) 1-4-2-2 "MORI-SERVER パラメータ画面 " (63 ページ) に従って、図 A-42 のように MORI-SERVER 機能詳細設定画面を表示します。

MORI-SERVER機能詳細設定

機能別設定

	PC→MAPPS		MAPPS→PC	
	ユーザ1	ユーザ2	ユーザ1	ユーザ2
NCプログラム入出力	許可	禁止	許可	禁止
選択中プログラム	許可			
BG編集集中プログラム	許可			
NCプログラム削除	禁止	許可		
対話プログラム入出力	許可	許可	許可	禁止
対話プログラム上書き	許可	許可		
対話データ入出力	許可	許可	許可	禁止
カードDNC入出力	許可	禁止	許可	禁止
カードDNC上書き	許可			
カードDNC削除	禁止	禁止		

図 A-42

- 2) 図 A-42 の "NC プログラム入出力" の "PC → MAPPS" で、PC 側から MAPPS II/III/IV の NC 内に NC プログラムを入力する機能 (2-2-4 "NC プログラム個別入力機能" (83 ページ) および 2-2-7 "NC プログラム一括入力機能" (90 ページ)) の許可・禁止を、ソフトキー【許可】およびソフトキー【禁止】により選択します。

許可を選択すると、"選択中プログラム" および "BG 編集集中プログラム" がカラーになり、許可・禁止の選択が可能となります。



本欄で許可を選択しても、NC の設定により実行できない場合があります。

- 3) 図 A-42 の "NC プログラム入出力" の "MAPPS → PC" で、MAPPS II/III/IV の NC 内から PC 側に NC プログラムを出力する機能 (2-2-3 "NC プログラム個別出力機能" (80 ページ) および 2-2-6 "NC プログラム一括出力機能" (88 ページ)) の許可・禁止を、ソフトキー【許可】およびソフトキー【禁止】により選択します。



本欄で許可を選択しても、NC の設定により実行できない場合があります。

- 4) 図 A-42 の "選択中プログラム" で、PC 側から MAPPS II/III/IV の NC 内に NC プログラムを入力する際、その中に MAPPS II/III/IV 側で選択中となっているプログラム番号と同じ番号の NC プログラムが存在した場合の、プログラムの上書きの許可・禁止を、ソフトキー【許可】およびソフトキー【禁止】により選択します。



本欄で許可を選択しても、NC の設定により上書きを実行できない場合があります。

- 5) 図 A-42 の "BG 編集中プログラム" で、PC 側から MAPPS II/III/IV の NC 内に NC プログラムを入力する際、その中に MAPPS II/III/IV 側で BG 編集中となっているプログラム番号と同じ番号の NC プログラムが存在した場合、プログラムの上書きの許可・禁止を、ソフトキー【許可】およびソフトキー【禁止】により選択します。



本欄で許可を選択しても、NC の設定により上書きを実行できない場合があります。

- 6) 図 A-42 のプログラム削除 "の "PC → MAPPS" で、MAPPS II/III/IV の NC 内から NC プログラムを削除する機能 (2-2-5 "NC プログラム削除機能" (86 ページ) および 2-2-11 "対話プログラム削除機能" (100 ページ)) の許可・禁止を、ソフトキー【許可】およびソフトキー【禁止】により選択します。



本欄で許可を選択しても、NC の設定により実行できない場合があります。

- 7) 図 A-42 の対話プログラム入出力 "の "PC → MAPPS" で、PC 側から MAPPS II/III/IV の NC 内に対話プログラムを入力する機能の許可・禁止を、ソフトキー【許可】およびソフトキー【禁止】により選択します。許可を選択すると、"対話プログラム上書き" がカラーになり、許可・禁止の選択が可能となります。
- 8) 図 A-42 の対話プログラム入出力 "の "MAPPS → PC" で、MAPPS II/III/IV の NC 内から PC 側に対話プログラムを出力する機能の許可・禁止を、ソフトキー【許可】およびソフトキー【禁止】により選択します。
- 9) 図 A-42 の "対話プログラム上書き" で、PC 側から MAPPS II/III/IV の NC 内に対話プログラムを入力する際、入力するプログラム番号と同じプログラムがすでに登録されている場合の上書きの許可・禁止を、ソフトキー【許可】およびソフトキー【禁止】により選択します。
- 10) 図 A-42 の "対話データ入出力" の "PC → MAPPS" で、PC 側から MAPPS II/III/IV の NC 内に対話データを入力する機能の許可・禁止を、ソフトキー【許可】およびソフトキー【禁止】により選択します。
- 11) 図 A-42 の "対話データ入出力" の "MAPPS → PC" で、MAPPS II/III/IV の NC 内から PC 側に対話データを出力する機能の許可・禁止を、ソフトキー【許可】およびソフトキー【禁止】により選択します。
- 12) 図 A-42 の "カード DNC 入出力" の "PC → MAPPS" で、PC 側から MAPPS II/III/IV のカード DNC/ESPRIT 領域にファイルを入力する機能の許可・禁止を、ソフトキー【許可】およびソフトキー【禁止】により選択します。
- 13) 図 A-42 の "カード DNC 入出力" の "MAPPS → PC" で、MAPPS II/III/IV のカード DNC/ESPRIT 領域内から PC 側にファイル・フォルダを出力する機能の許可・禁止を、ソフトキー【許可】およびソフトキー【禁止】により選択します。
- 14) 図 A-42 の "カード DNC 上書き" で、PC 側から MAPPS II/III/IV のカード DNC/ESPRIT 領域内にファイルを入力する際、入力するファイルと同じ名前のファイルがすでに登録されている場合の上書きの許可・禁止を、ソフトキー【許可】およびソフトキー【禁止】により選択します。
- 15) 図 A-42 の "カード DNC 削除" の "PC → MAPPS" で、MAPPS II/III/IV のカード DNC/ESPRIT 領域内からファイルを削除する機能の許可・禁止を、ソフトキー【許可】およびソフトキー【禁止】により選択します。

- 16) 図 A-42 のように上記の各パラメータの入力が完了したら、ソフトキー【設定】を押します。

入力されたデータが MAPPS II/III/IV に設定されます。



ソフトキー【設定】を押さずにソフトキー【MORI DSN】、【SERVER 基本】または【戻る】を押した場合、ソフトキー表示が図 A-43 のように遷移します。ここでソフトキー【OK】を押すと、入力されたデータは MAPPS に設定されずに破棄され、下記のようにそれぞれの画面へ遷移します。



図 A-43

図 A-42 の画面でソフトキー【MORI DSN】を押すと、図 A-34 の MORI-DSN 機能設定画面に遷移します。

図 A-42 の画面でソフトキー【SERVER 基本】を押すと、図 A-35 の MORI-SERVER 機能基本設定画面に遷移します。

図 A-42 の画面でソフトキー【戻る】を押すと、図 A-33 のネットワーク機能設定画面に遷移します。

図 A-42 の画面でソフトキー【SERVER 詳細】を押しても、変化しません。

1-4-3 MSC-500/700 の設定

MSC-500/700 との接続には、FANUC ファストイーサネット・ボードが必要です。



FANUC ファストイーサネット・ボードとの接続については、FANUC ファストイーサネット／ファストデータサーバ取扱説明書を参照してください。



この製品は、森精機製の工作機械と PC を接続することを意図して設計されています。森精機製以外の工作機械と接続した場合に発生した損害に関して、弊社は責任を負いません。

1-4-4 SEICOS Σ の設定



SEICOS Σ の設定については、SEIKI-SEICOS Σ16M/18M 取扱説明書操作編、または SEIKI-SEICOS Σ16T/18T/21L 取扱説明書操作編を参照してください。

1-4-5 データサーバ（16i）、データサーバ（30i）の設定

データサーバとの接続には、FTP サーバ機能を持つデータサーバボードが必要です。



データサーバボードとの接続については、FANUC ファストイーサネット／ファストデータサーバ取扱説明書を参照してください。



この製品は、森精機製の工作機械と PC を接続することを意図して設計されています。森精機製以外の工作機械、もしくは FTP サーバと接続した場合に発生した損害に関して、弊社は責任を負いません。

1-4-6 データサーバ（M730/M750）の設定

データサーバとの接続には、三菱提供のデータサーバボードが必要です。



データサーバボードとの接続については、別冊データサーバ操作説明書を参照してください。

2 通信機能

MORI-SERVER を使用して MAPPS と通信するための各機能の操作について説明します。

2-1 通信先選択

MORI-SERVER では、まず通信する機械の選択を行い、そしてその機械に対して各種通信を行います。

以下のようにして通信する機械を選択してください。

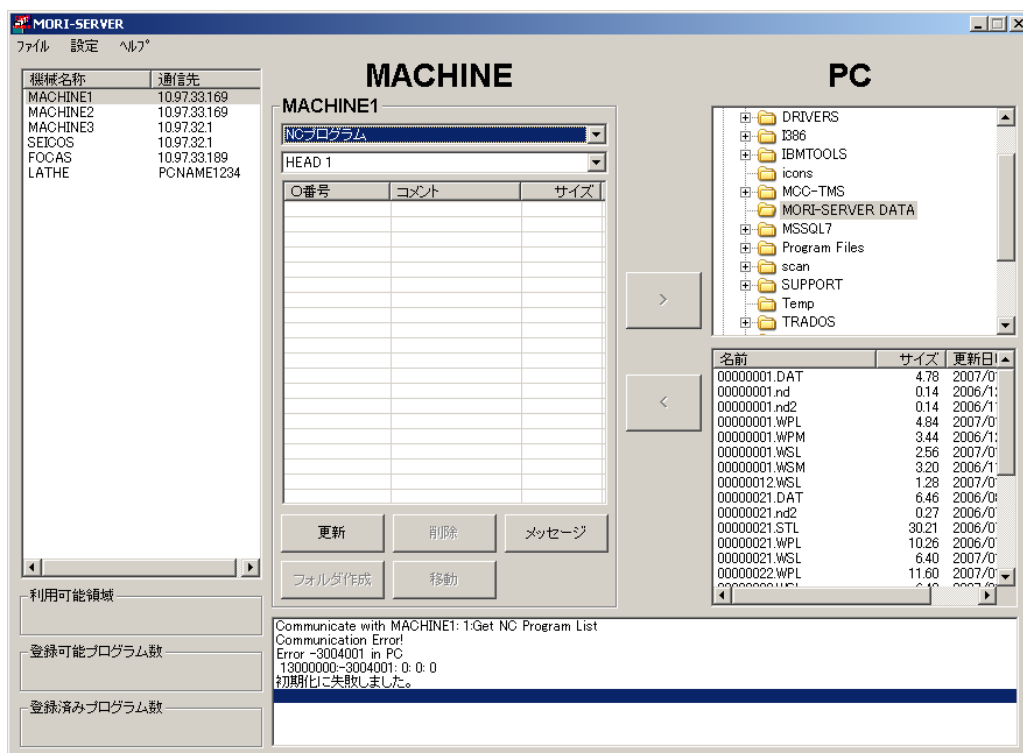
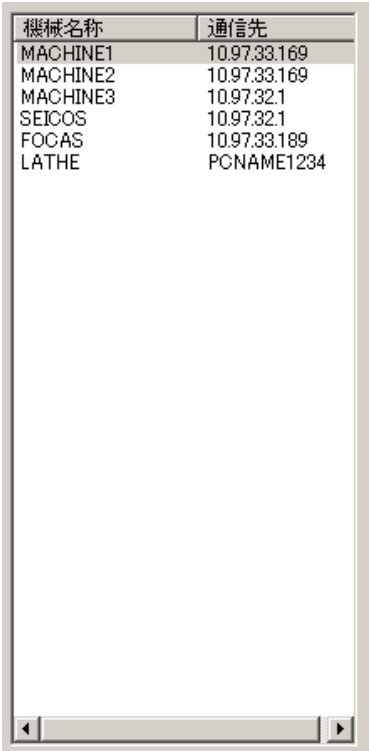


図 A-44



機械情報の登録方法は、1-3-5-1 " 機械の新規登録 " (36 ページ) を参照してください。

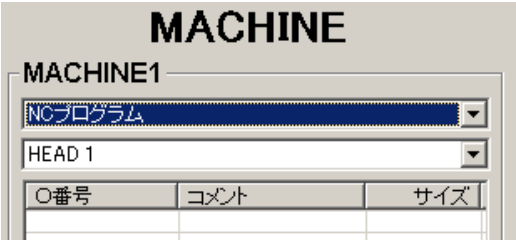
- 1) 機械一覧表示部から通信する機械を選択します。



機械名称	通信先
MACHINE1	10.97.33.169
MACHINE2	10.97.33.169
MACHINE3	10.97.32.1
SEICOS	10.97.32.1
FOCAS	10.97.33.189
LATHE	PCNAME1234

図 A-45

- 2) 図 A-46 のように、選択された機械の名前が機械名称表示部に表示され、通信先の選択が完了します。



MACHINE

MACHINE1

NCプログラム

HEAD 1

○番号	コメント	サイズ

図 A-46

2-2 通信操作

MORI-SERVER の各通信操作は、以下の通りです。2-1 "通信先選択" (75 ページ) において、通信先の機械を選択後、下記の各操作を実行してください。

2-2-1 メッセージ送信機能

本機能では、PC から MAPPS (MAPPS および MAPPS II/III/IV) に対して、簡単なメッセージを送信します。MAPPS 側では、メッセージを受信すると MAPPS の画面上にダイアログボックスを表示し、受信したメッセージをそのダイアログボックスに表示します。



本機能は、通信先デバイスが MAPPS (MAPPS および MAPPS II/III/IV) の場合のみ、使用することができます。

メッセージ送信は、以下のように行います。

- 1) [メッセージ] ボタンをクリックします。
"メッセージ入力" ダイアログボックスが表示されます。

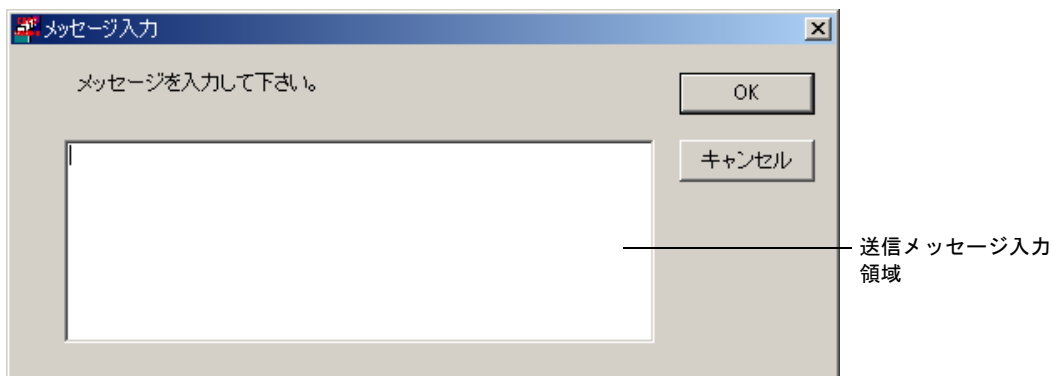


図 A-47

- 2) 送信メッセージ入力領域に送信するメッセージを半角 40 文字、全角 20 文字以内で入力します。



1. メッセージとして送信できるのは、MAPPS で表示可能な文字のみです。MAPPS で表示できない記号などを送信すると、正しく表示されません。
2. "メッセージ入力" ダイアログボックスには最大で全角 40 文字、半角 40 文字までメッセージを入力できますが、MAPPS で表示可能な文字数を超えたメッセージを送信した場合、メッセージ送信に失敗します。



送信メッセージの優先順位は "普通" に設定されます。優先順位については、6-2 "メッセージの優先順位" (147 ページ) を参照してください。

- 3) 入力したメッセージを送信する場合には、図 A-47 の [OK] ボタンをクリックします。



メッセージの送信を中止する場合には、[キャンセル] ボタンをクリックしてください。

2-2-2 NC プログラムリスト取得機能

本機能では、接続されている機械の NC 内のプログラム一覧のリストを取得し、MORI-SERVER の機械側ウインドウに表示します。

NC プログラムリスト取得は、以下のように行います。

- 1) 機械一覧表示部で通信先の機械を選択します。

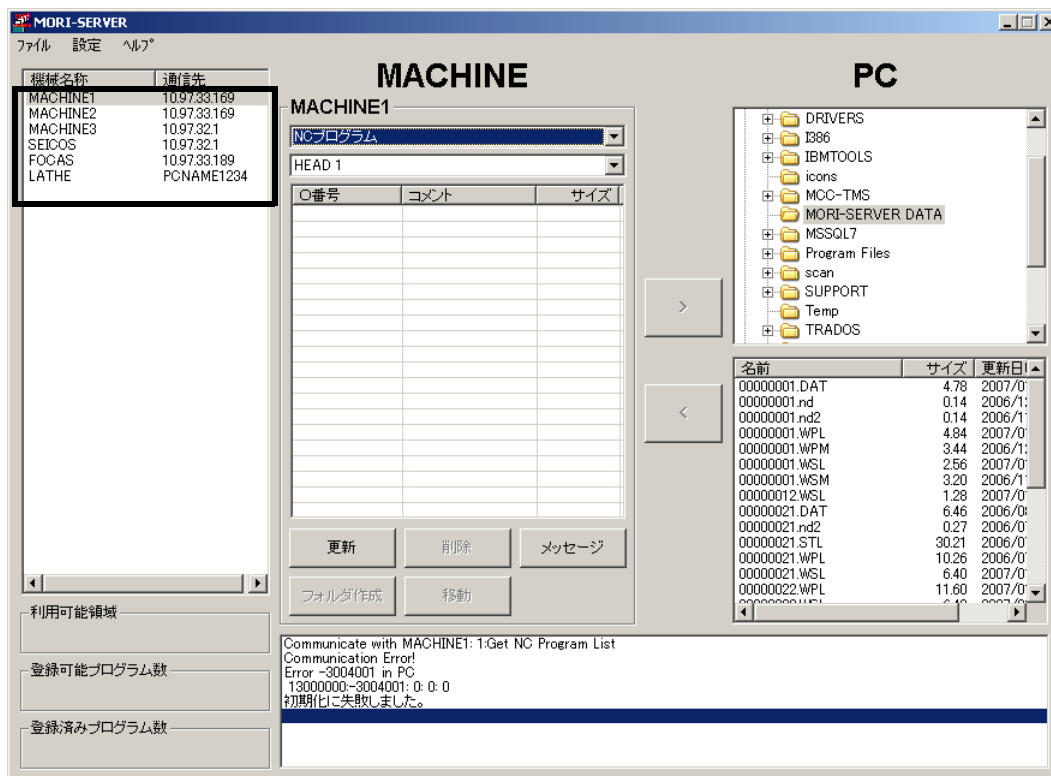


図 A-48

- 2) 通信種別切替えコンボボックスで、"NC プログラム" を選択します。

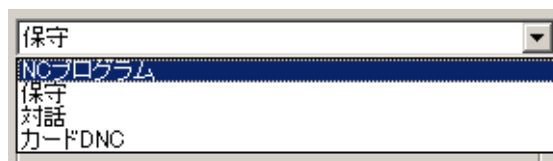



図 A-49

- 3) システム切替えコンボボックスで、通信先の機械の系統数を選択します。



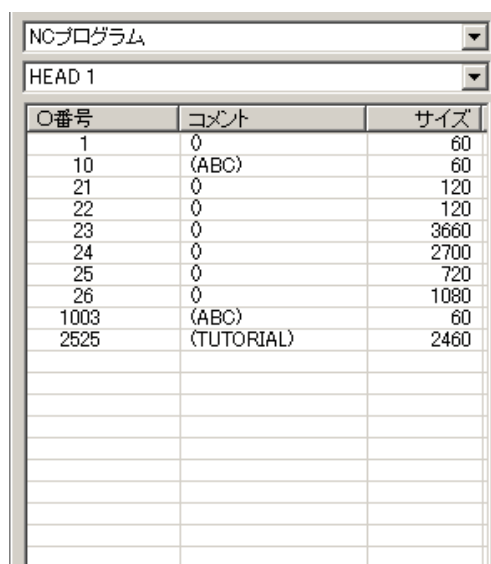
図 A-50

- 4)  ボタンをクリックします。

もしくは、機械一覧表示部上で通信先の機械をダブルクリックします。

- 5) 通信が開始されます。

通信に成功すると、図 A-51 の機械側ウインドウには取得した NC プログラム一覧が表示されます。



O番号	コメント	サイズ
1	0	60
10	(ABC)	60
21	0	120
22	0	120
23	0	3660
24	0	2700
25	0	720
26	0	1080
1003	(ABC)	60
2525	(TUTORIAL)	2460

図 A-51

リストのタイトル部分をクリックすると、クリックされたタイトルの順序で、表示中のデータが並べ替えられます。

機械情報表示部には、NC 内のプログラム登録領域に関する情報が表示されます。

2-2-3 NC プログラム個別出力機能

本機能により機械の NC 内の NC プログラムを 1 つまたは複数を選択して、PC へ任意のファイルとして出力することが可能です。

NC プログラム個別出力は、以下のように行います。

- 1) 2-2-2 "NC プログラムリスト取得機能" (78 ページ) の手順に従って、図 A-52 の機械側ウインドウに、出力元となる NC 内の NC プログラム一覧を表示します。

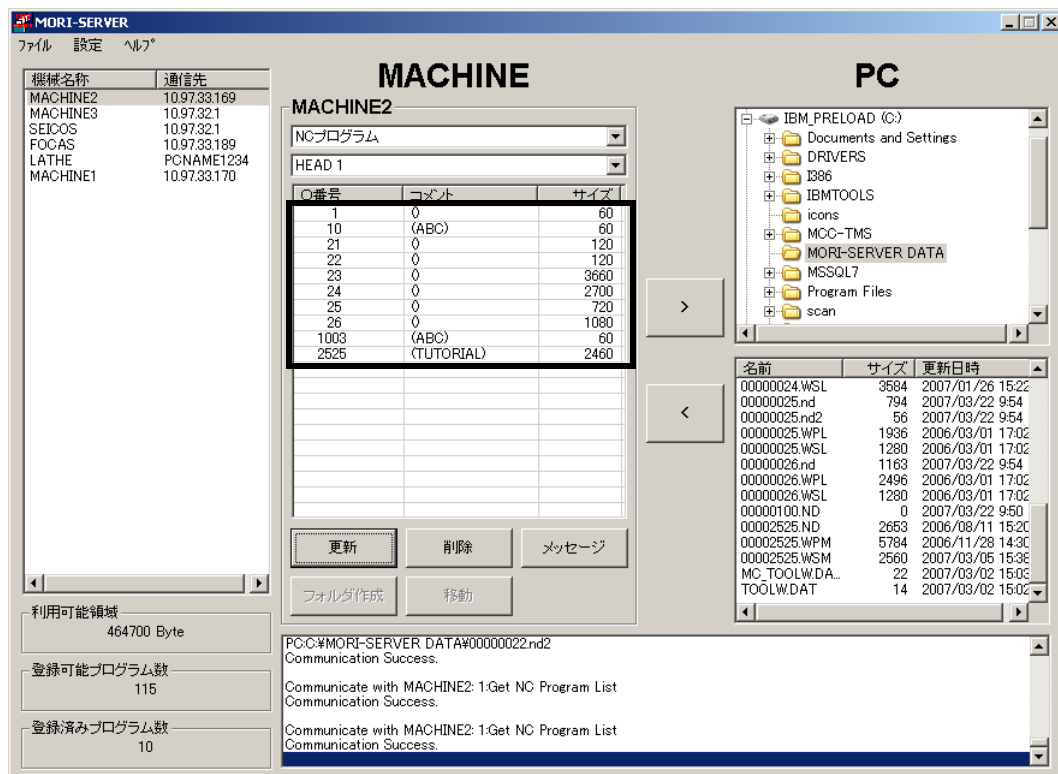
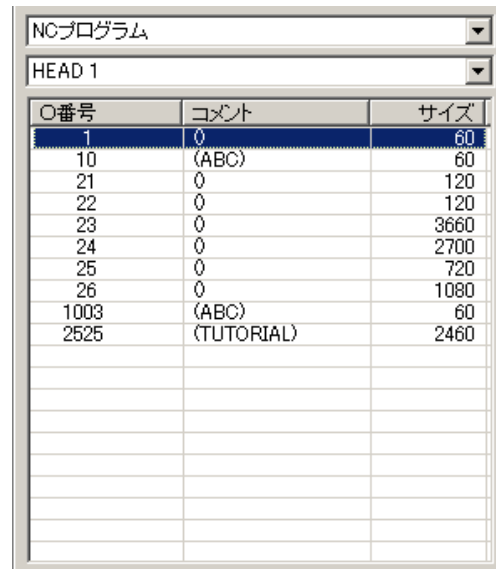



図 A-52

- 2) 図 A-53 の機械側ウインドウより、出力するプログラムをクリックして、1 つまたは複数を選択します。



番号	コメント	サイズ
1	0	60
10	(ABC)	60
21	0	120
22	0	120
23	0	3660
24	0	2700
25	0	720
26	0	1080
1003	(ABC)	60
2525	(TUTORIAL)	2460

図 A-53

!!
 複数の NC プログラムを選択すると、選択されたプログラムは 1 つのファイルに出力されます。

📖 複数の NC プログラムを出力する場合のファイル名の設定については、1-3-6 "ファイル名自動命名機能" (43 ページ) を参照してください。

- 3) 図 A-54 のように、フォルダツリー表示部より、出力先のフォルダを選択します。

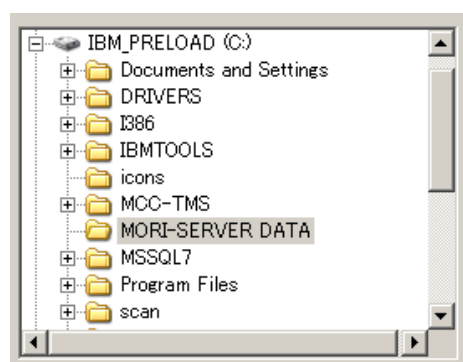


図 A-54


- 4)  ボタンをクリックします。

図 A-55 のように、" ファイル名入力 " ダイアログボックスが表示されます。

5) テキストボックスに、PC 側に出力するファイル名を入力します。

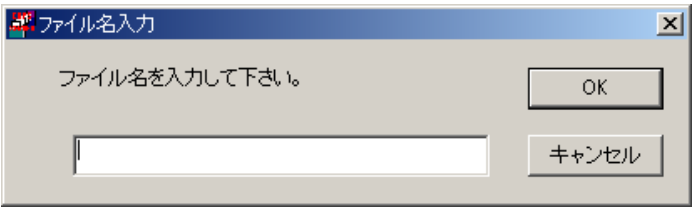


図 A-55



" ファイル名入力 " ダイアログの表示・非表示やファイル名の拡張子の種類、ファイル名生成のパターンについては、ファイル名自動命名機能、デフォルト拡張子機能、NC プログラム入出力設定画面の設定により、下表のように異なります。

機能	設定	ファイル名出力形式
ファイル名自動命名機能	有効	" ファイル名入力 " ダイアログボックスが表示されます。 ファイル名設定画面で指定された形式のファイル名が、ファイル名入力欄に自動的に表示されます。
" ファイル名入力ダイアログボックスを表示しない "	チェックなし	
ファイル名自動命名機能	有効	" ファイル名入力 " ダイアログボックスは表示されません。 出力されたプログラムには、ファイル名設定画面で指定された形式のファイル名が、自動的に付けられます。
" ファイル名入力ダイアログボックスを表示しない "	チェックあり	
デフォルト拡張子機能	有効	ファイル名入力欄で入力したファイル名に拡張子がない場合や、指定外の拡張子が付加された場合に、ファイル名設定画面で指定された拡張子が自動的に付加されます。



1. ファイル名自動命名機能については、1-3-6 " ファイル名自動命名機能 " (43 ページ) を参照してください。
2. デフォルト拡張子機能については、1-3-6-2 " デフォルト拡張子機能 " (46 ページ) を参照してください。
3. NC プログラム入出力設定画面の " ファイル名入力ダイアログボックスを表示しない " については、1-3-7 "NC プログラム入出力設定 " (47 ページ) を参照してください。

6) NC プログラムの出力を実行する場合は、図 A-55 の [OK] ボタンをクリックします。



出力を中止する場合は、[キャンセル] ボタンをクリックしてください。

- 4) 図 A-59 のように、フォルダツリー表示部で、入力するファイルが存在するフォルダを選択します。

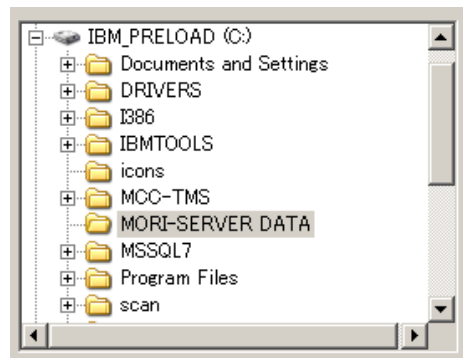


図 A-59


- 5) 図 A-60 のように、ファイルリスト表示部で、入力するファイルを選択します。

名前	サイズ	更新日時
00000001.DAT	4.78	2007/01/29 10:39
00000001.nd	0.14	2006/12/27 15:26
00000001.nd2	0.14	2006/11/17 14:56
00000001.WPL	4.84	2007/01/26 15:22
00000001.WPM	3.44	2006/12/27 15:26
00000001.WSL	2.56	2007/01/30 9:19
00000001.WSM	3.20	2006/11/14 10:07
00000012.WSL	1.28	2007/01/24 10:42
00000021.DAT	6.46	2006/08/01 13:41
00000021.nd2	0.27	2006/07/28 13:04
00000021.STL	30.21	2006/07/28 13:05
00000021.WPL	10.26	2006/07/28 14:14
00000021.WSL	6.40	2007/01/23 10:32
00000022.WPL	11.60	2007/01/10 11:11

図 A-60



NC プログラム個別出力機能と同様の方法により、複数のファイルを指定することも可能です。この場合、入力するファイルごとに図 A-61 のダイアログが表示されます。

- 6)  ボタンをクリックします。


- 7)  ボタンをクリックします。

図 A-61 のように、入力確認のメッセージが表示されます。

8) 入力を実行する場合には、[OK] ボタンをクリックします。



入力を中止する場合には、[キャンセル] ボタンをクリックしてください。

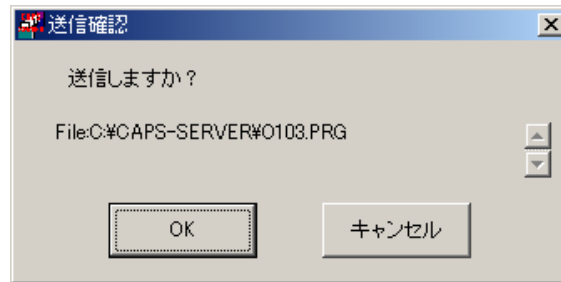


図 A-61



手順 5) において、複数のファイルを選択した場合は、各ファイルを順番に通信します。そのため、1 個のファイルの通信が終了する毎に、入力確認のメッセージによる入力確認と、入力完了メッセージの表示が繰り返されます。

NC プログラム個別入力が完了すると、NC プログラムリストの変更を表示に反映させるために、自動的に 2-2-2 "NC プログラムリスト取得機能" (78 ページ) が実行されます。

2-2-5 NC プログラム削除機能

本機能により機械の NC 内の NC プログラムを削除することが可能です。

NC プログラム削除は、以下のように行います。

- 1) 2-2-2 "NC プログラムリスト取得機能" (78 ページ) の手順に従い、図 A-62 の機械側ウィンドウに、出力元となる NC 内の NC プログラム一覧を表示します。

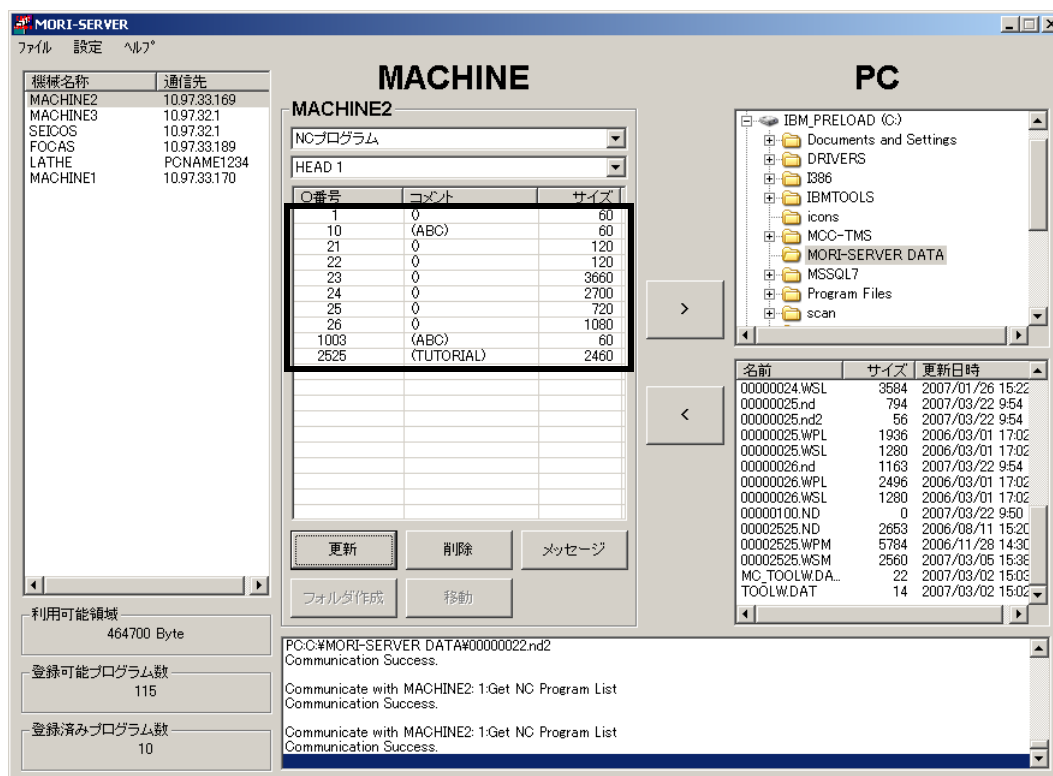


図 A-62

- 2) 図 A-63 の機械側ウインドウより、削除するプログラムをクリックして、1つまたは複数を選択します。

[illegible]

図 A-63


- 3)  ボタンをクリックします。

図 A-64 のように、削除確認のメッセージが表示されます。



図 A-64

- 4) 削除を実行する場合には、[OK] ボタンをクリックします。



1. 削除を中止する場合には、[キャンセル] ボタンをクリックしてください。
2. 手順 2) において、複数のプログラムを選択した場合は、各プログラムを順番に削除します。そのため、1 個のプログラムの削除が終了する毎に、削除確認のメッセージによる削除実行確認と、削除完了メッセージの表示が繰り返されます。

NC プログラム削除が完了すると、NC プログラムリストの変更を表示に反映させるために、自動的に 2-2-2 "NC プログラムリスト取得機能" (78 ページ) が実行されます。

2-2-6 NC プログラム一括出力機能

本機能は、MAPPS における保守入出力画面での NC プログラム出力機能に相当します。本機能により機械の NC 内の NC プログラムを一括して出力することが可能です。



本機能は、通信先デバイスが MAPPS (MAPPS および MAPPS II/III/IV) の場合のみ、使用することができます。

NC プログラム一括出力は、以下のように行います。

- 1) 機械一覧表示部で通信先の機械を選択します。

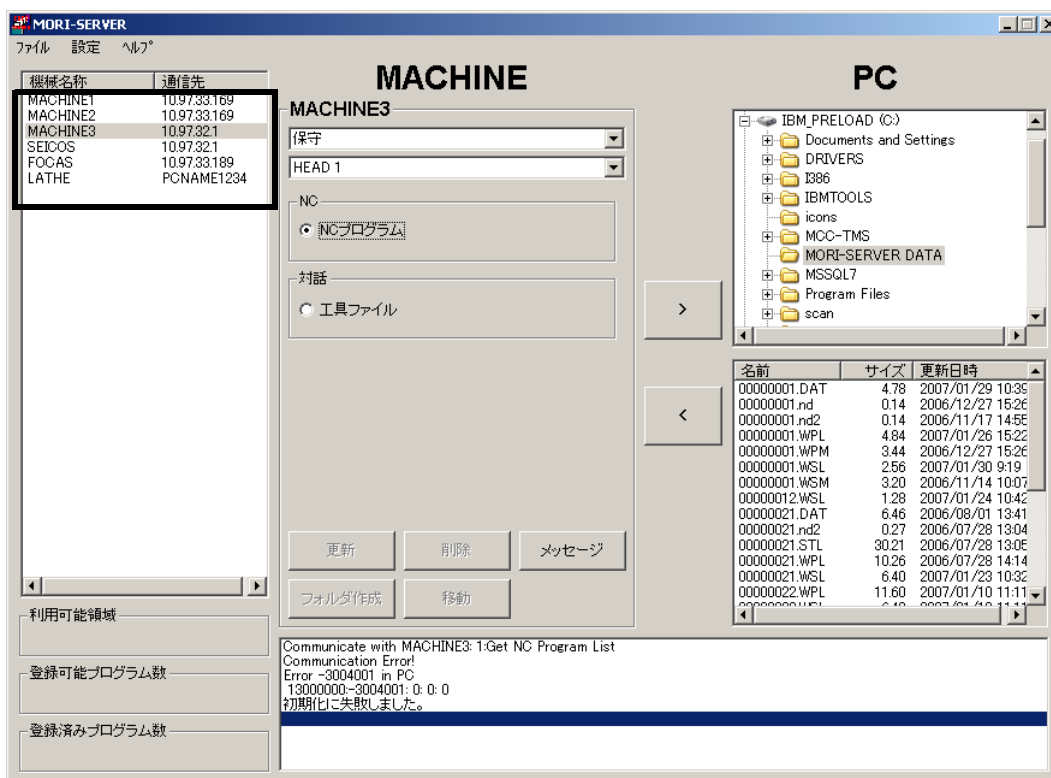


図 A-65

- 2) 通信種別切替えコンボボックスで、"保守" を選択します。

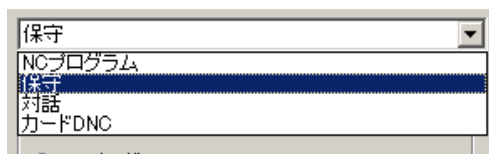


図 A-66

- 3) 系統切替えコンボボックスで、通信先の機械の系統数を選択します。



図 A-67

- 4) 図 A-68 の機械側ウィンドウで、"NC プログラム " のラジオボタンを選択します。

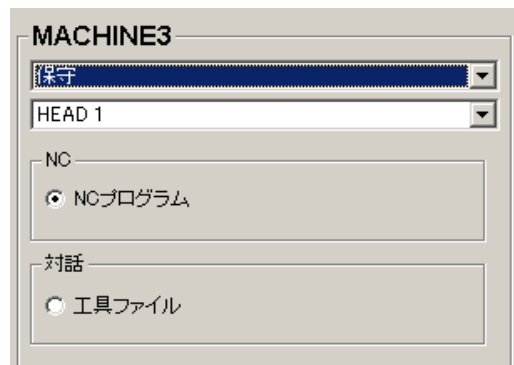


図 A-68

- 5) 図 A-69 のように、フォルダツリー表示部より、出力先のフォルダを選択します。

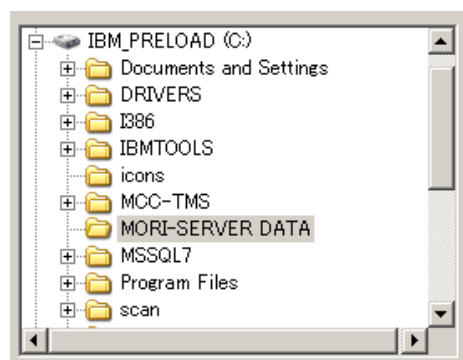


図 A-69

- 6)  ボタンをクリックします。

図 A-70 のように、"ファイル名入力" ダイアログボックスが表示されます。

- 7) テキストボックスに出力するファイル名を入力します。



図 A-70



1. ファイル名自動命名機能が有効の場合でも、NC プログラム一括出力の場合には、デフォルトファイル名は表示されません。
2. デフォルト拡張子機能が有効の場合には、テキストボックスにデフォルト拡張子で指定されている拡張子以外の拡張子が付加されていても、無条件にデフォルト拡張子が付加されます。

8) NC プログラムの出力を実行する場合は、図 A-70 の [OK] ボタンをクリックします。



出力を中止する場合は、[キャンセル] ボタンをクリックしてください。

2-2-7 NC プログラム一括入力機能

本機能は MAPPS における保守入出力画面での NC プログラム入力機能に相当します。本機能により PC 側のファイルに書かれた NC プログラムを、NC 内に入力することが可能です。



本機能は、通信先デバイスが MAPPS (MAPPS および MAPPS II/III/IV) の場合のみ、使用することができます。

NC プログラム一括入力は、以下のように行います。

- 1) 機械一覧表示部で通信先の機械を選択します。

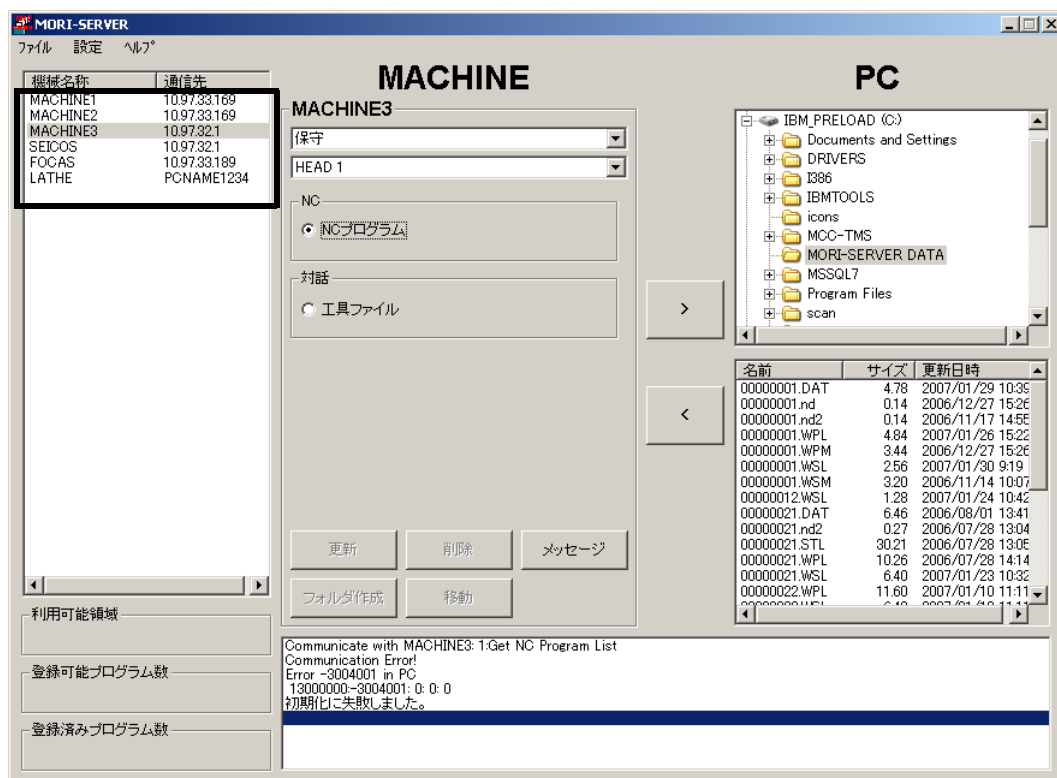


図 A-71

- 2) 通信種別切替えコンボボックスで、"保守" を選択します。

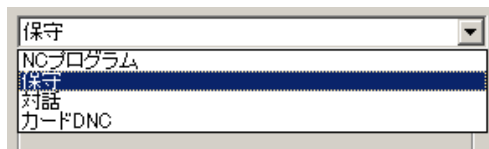


図 A-72

- 3) 系統切替えコンボボックスで、通信先の機械の系統数を選択します。



図 A-73

- 4) 図 A-74 の機械側ウインドウで、"NC プログラム" のラジオボタンを選択します。

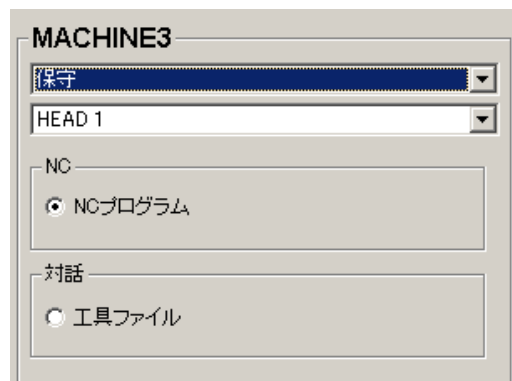


図 A-74

- 5) 図 A-75 のように、フォルダツリー表示部より、入力するファイルが保存されているフォルダを選択します。

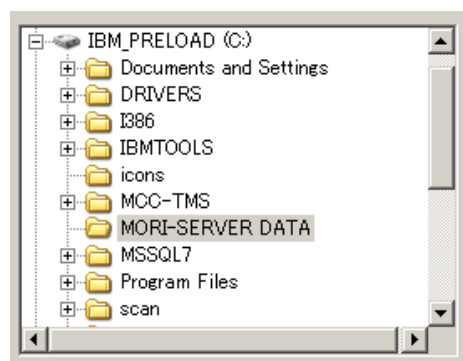


図 A-75

- 6) ファイルリスト表示部で、図 A-76 のように入力するファイルを選択します。

名前	サイズ	更新日時
00000001.DAT	4.78	2007/01/29 10:39
00000001.nd	0.14	2006/12/27 15:26
00000001.nd2	0.14	2006/11/17 14:55
00000001.WPL	4.84	2007/01/26 15:22
00000001.WPM	3.44	2006/12/27 15:26
00000001.WSL	2.56	2007/01/30 9:19
00000001.WSM	3.20	2006/11/14 10:07
00000012.WSL	1.28	2007/01/24 10:42
00000021.DAT	6.46	2006/08/01 13:41
00000021.nd2	0.27	2006/07/28 13:04
00000021.STL	30.21	2006/07/28 13:05
00000021.WPL	10.26	2006/07/28 14:14
00000021.WSL	6.40	2007/01/23 10:32
00000022.WPL	11.60	2007/01/10 11:11
00000022.WSL	6.40	2007/01/10 11:11

図 A-76



手順 6) において、複数のファイルを選択した場合は、各ファイルを順番に通信します。そのため、1 個のファイルの通信が終了する毎に、入力確認のメッセージによる入力確認と、入力完了メッセージの表示が繰り返されます。


- 7)  ボタンをクリックします。

図 A-77 のように、入力確認のメッセージが表示されます。

- 8) 入力を実行する場合には、[OK] ボタンをクリックします。



入力を中止する場合には、[キャンセル] ボタンをクリックしてください。

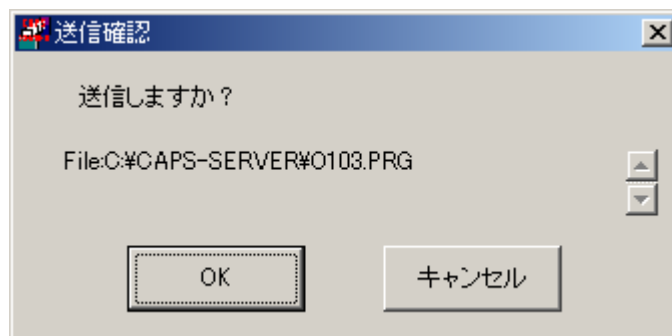


図 A-77

2-2-8 対話プログラムリスト取得機能

本機能では、接続されている MAPPS 内のプログラム一覧のリストを取得し、PC 側の機械側ウインドウに表示します。



本機能は、通信先デバイスが MAPPS (MAPPS および MAPPS II/III/IV) の場合のみ、使用することができます。

対話プログラムリスト取得は、以下のように行います。

- 1) 機械一覧表示部で通信先の機械を選択します。

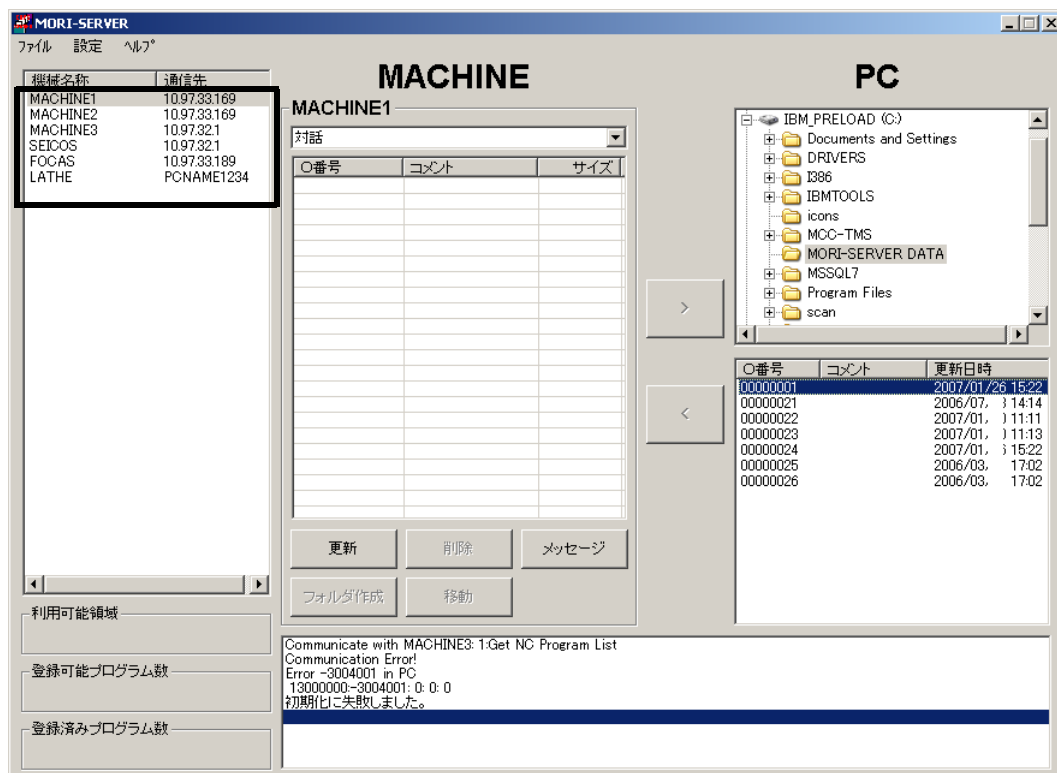


図 A-78

- 2) 通信種別切替えコンボボックスで、"対話" を選択します。

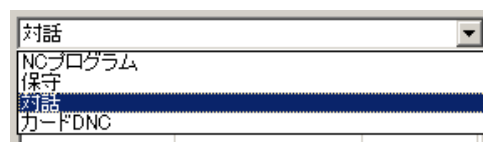


図 A-79

2-2-9 対話プログラム出力機能

本機能は、MAPPS における対話画面での対話プログラム出力機能に相当します。本機能により機械の対話プログラムを 1 つまたは複数を選択して PC へ出力することが可能です。



本機能は、通信先デバイスが MAPPS (MAPPS および MAPPS II/III/IV) の場合のみ、使用することができます。

対話プログラム個別出力は、以下のように行います。

- 1) 2-2-8 "対話プログラムリスト取得機能" (93 ページ) の手順に従って、図 A-81 の機械側ウインドウに、出力元となる MAPPS 内の対話プログラム一覧を表示します。

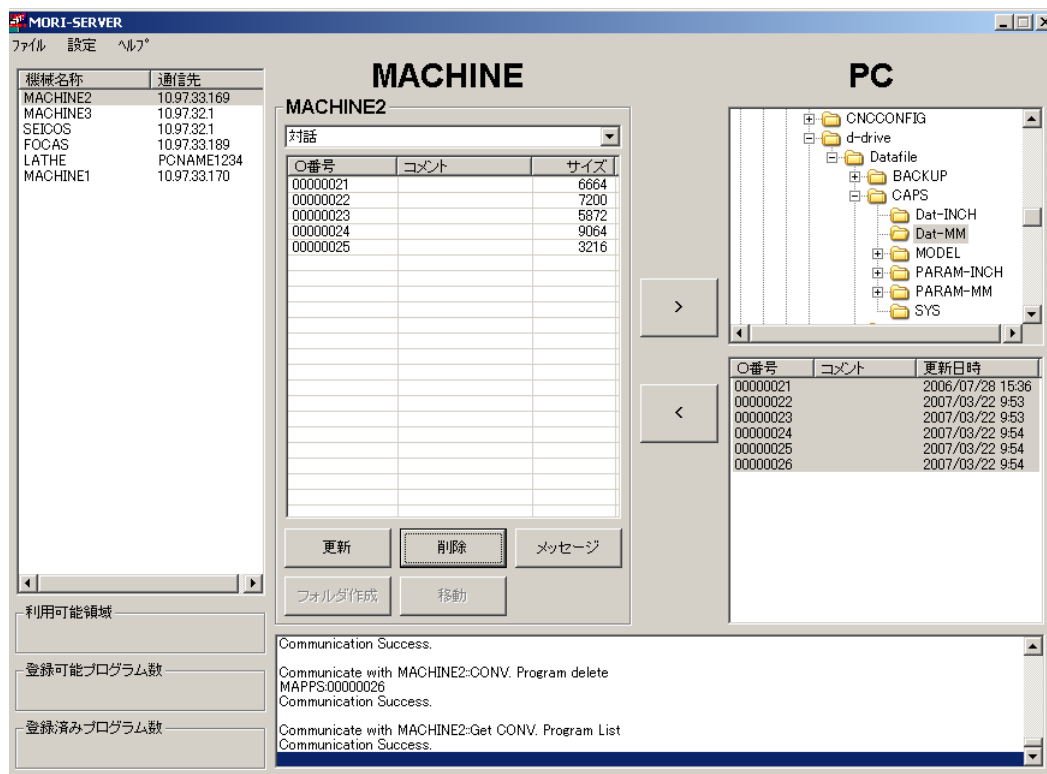


図 A-81

2-2-10 対話プログラム入力機能

本機能では、PC 側の対話プログラムを MAPPS 内に入力することが可能です。



本機能は、通信先デバイスが MAPPS (MAPPS および MAPPS II/III/IV) の場合のみ、使用することができます。

対話プログラム入力は、以下のように行います。

- 1) 機械一覧表示部で通信先の機械を選択します。

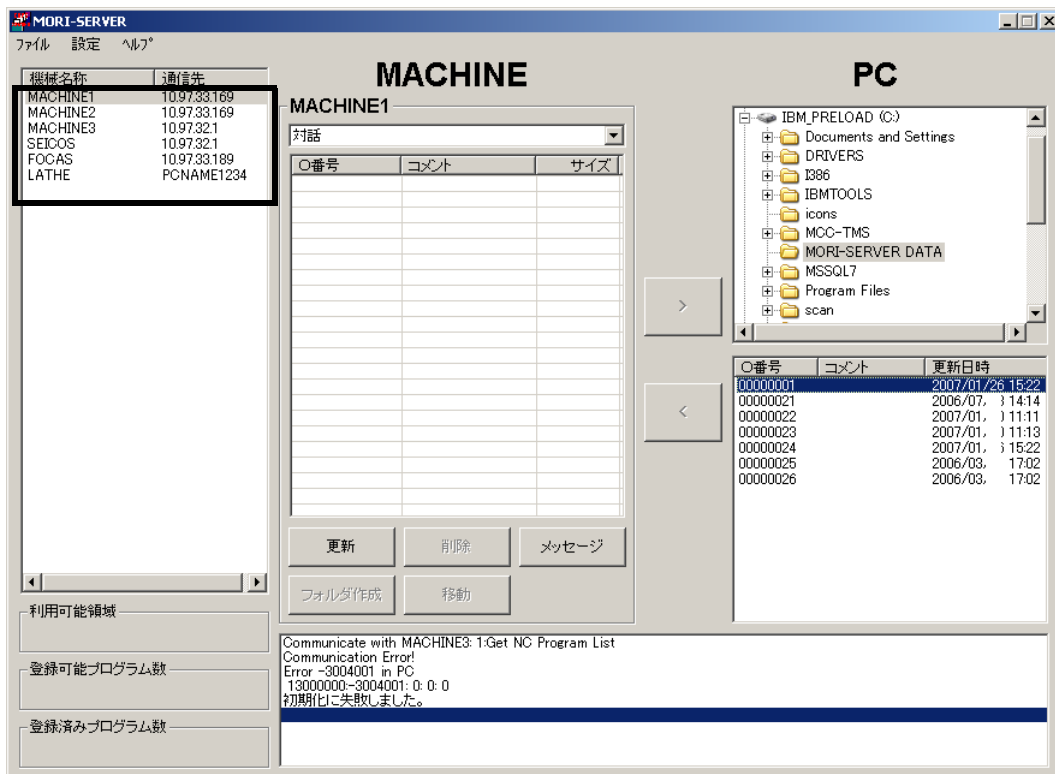


図 A-84

- 2) 通信種別切替えコンボボックスで、" 対話 " を選択します。

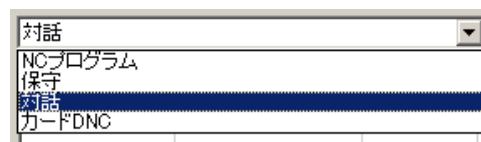


図 A-85

- 3) 図 A-86 のように、フォルダツリー表示部で、入力するプログラムが存在するフォルダを選択します。

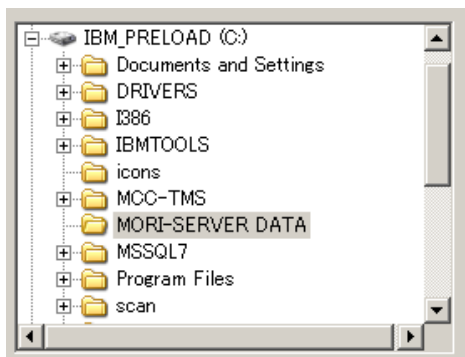


図 A-86

- 4) 図 A-87 のように、ファイルリスト表示部で、入力するプログラムを選択します。

○番号	コメント	更新日時
00000001		2007/01/26 15:22
00000021		2006/07/28 14:14
00000022		2007/01/10 11:11
00000023		2007/01/10 11:13
00000024		2007/01/26 15:22
00000025		2006/03/01 17:02
00000026		2006/03/01 17:02


図 A-87



- 登録した機械タイプに応じ、それぞれ工程ファイル・形状ファイルの両方がフォルダ内に存在するプログラムのみを表示します。片方が欠落している場合、登録した機械タイプに誤りがある場合などは表示されません。

表示器	機械タイプ	工程ファイル	形状ファイル
MAPPS	旋盤・複合加工機	.PDL	.SDL
	マシニングセンタ	.PDM	.SDM
MAPPS II/III/IV	旋盤・複合加工機	.WPL	.WSL
	マシニングセンタ	.WPM	.WSM

- MAPPS の対話プログラムの場合、ファイル名の先頭に "*" が付加されます。
- 対話プログラム出力機能と同様の方法により、複数のプログラムを指定することも可能です。

- 5)  ボタンをクリックします。



手順 4) において、複数のプログラムを選択した場合は、各プログラムを順番に通信します。そのため、1 個のプログラムの通信が終了する毎に、入力完了メッセージが表示されます。

対話プログラム入力完了すると、対話プログラムリストの変更を表示に反映させるために、自動的に 2-3-2-8 " 対話プログラムリスト取得機能 " (133 ページ) が実行されます。

2-2-11 対話プログラム削除機能

本機能は、MAPPS における対話画面での対話プログラムの個別削除機能に相当します。本機能により MAPPS 内の対話プログラムを削除することが可能です。



本機能は、通信先デバイスが MAPPS (MAPPS および MAPPS II/III/IV) の場合のみ、使用することができます。

対話プログラム削除は、以下のように行います。

- 1) 2-2-8 "対話プログラムリスト取得機能" (93 ページ) の手順に従い、図 A-88 の機械側ウインドウに、出力元となる MAPPS 内の対話プログラム一覧を表示します。

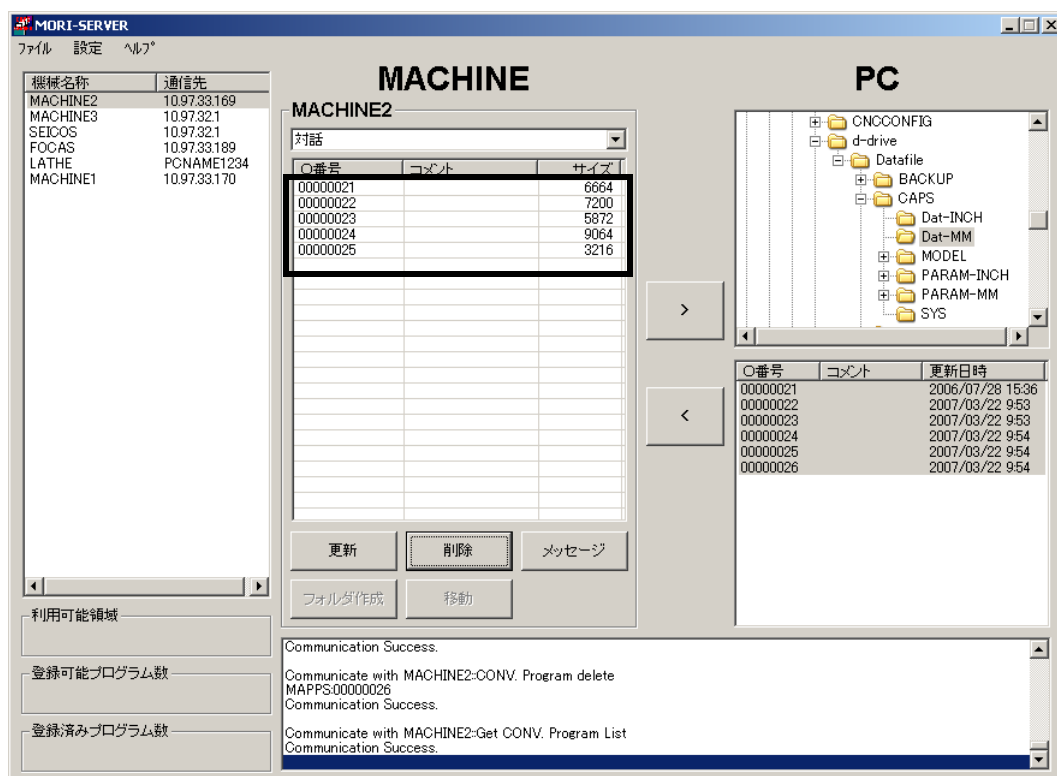


図 A-88

2-2-12 工具ファイル出力機能

本機能により機械の工具ファイルを1つまたは複数選択してPCへ出力することが可能です。



本機能は、通信先デバイスが MAPPS (MAPPS および MAPPS II/III/IV) の場合のみ、使用することができます。

工具ファイル出力は、以下のように行います。

- 1) 機械一覧表示部で通信先の機械を選択します。

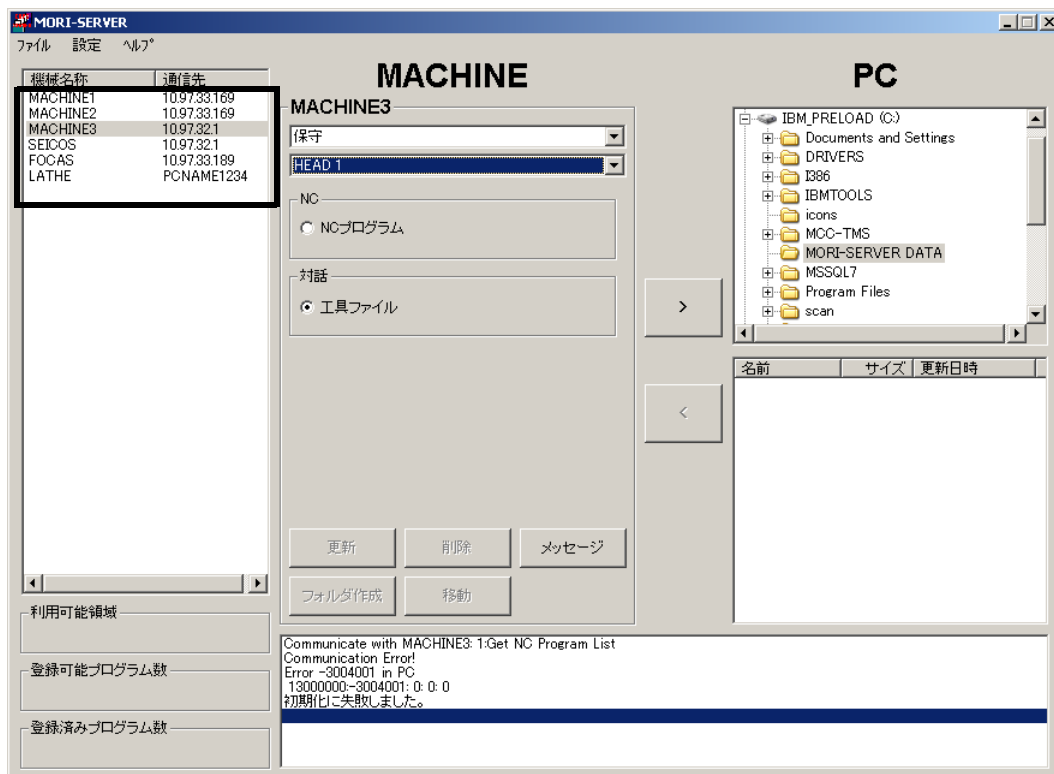


図 A-91

- 2) 通信種別切替えコンボボックスで、"保守" を選択します。

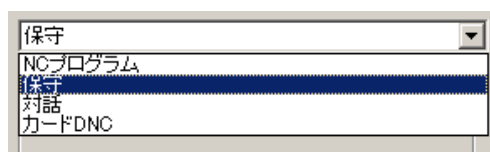


図 A-92

- 3) 図 A-93 の機械側ウインドウで、" 工具ファイル " のラジオボタンを選択します。

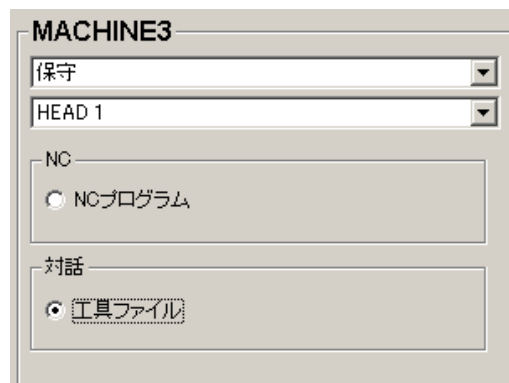


図 A-93

- 4) 図 A-94 のように、フォルダツリー表示部より、出力先のフォルダを選択します。

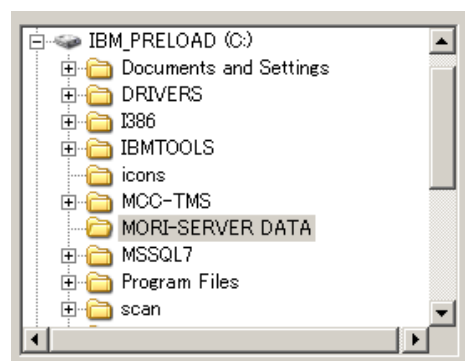


図 A-94


- 5)  ボタンをクリックします。

図 A-95 のように、" ファイル名入力 " ダイアログボックスが表示されます。

- 6) テキストボックスに出力するファイル名を入力します。

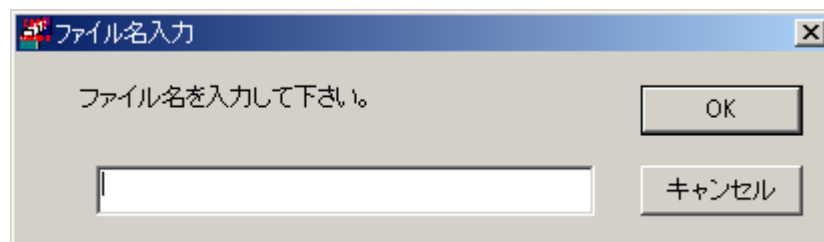


図 A-95



ファイル名自動命名機能の有効・無効に関わらず、出力ファイルには以下のコードがファイル名の末尾に付加されます。

	MAPPS	MAPPS II/III/IV
工具ファイル	未対応	_TOOLW.DAT

7) 工具ファイルの出力を実行する場合は、図 A-95 の [OK] ボタンをクリックします。



出力を中止する場合は、[キャンセル] ボタンをクリックしてください。

2-2-13 工具ファイル入力機能

本機能では、PC 側の工具ファイルを MAPPS 内に入力することが可能です。



本機能は、通信先デバイスが MAPPS (MAPPS および MAPPS II/III/IV) の場合のみ、使用することができます。

工具ファイル入力は、以下のように行います。

1) 機械一覧表示部で通信先の機械を選択します。

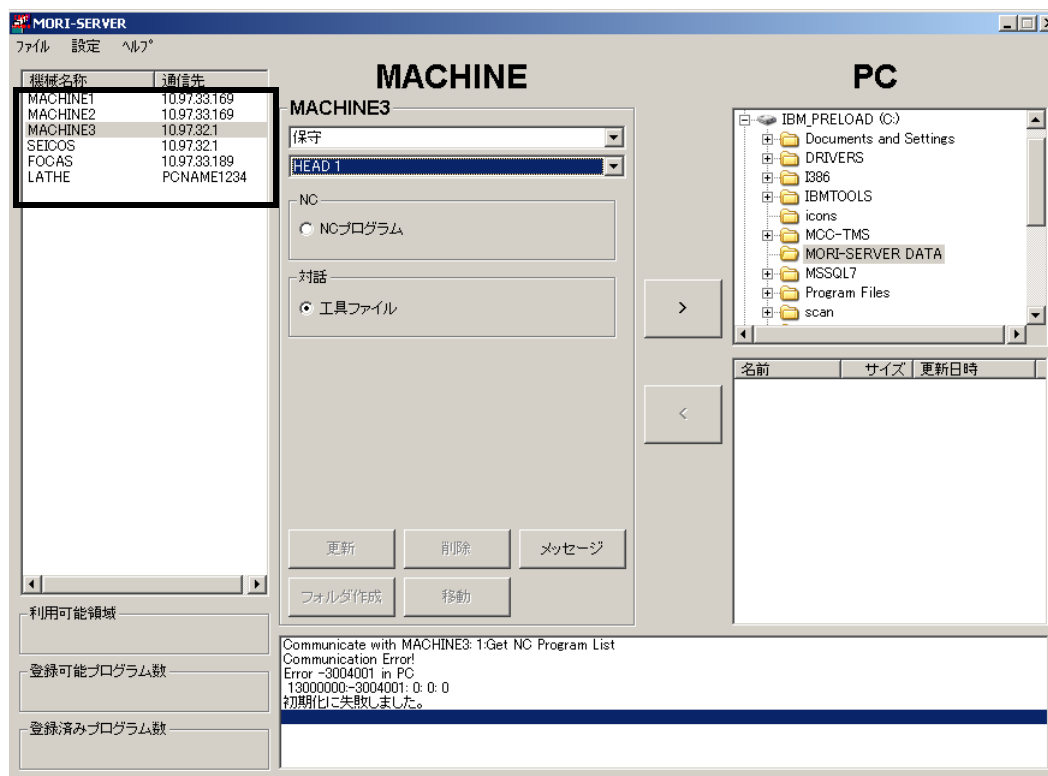


図 A-96

- 2) 通信種別切替えコンボボックスで、"保守"を選択します。

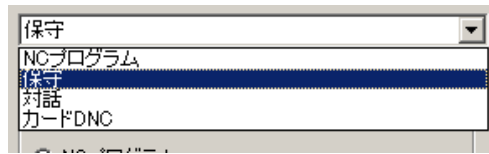


図 A-97

- 3) 図 A-98 の機械側ウインドウで、"工具ファイル"のラジオボタンを選択します。

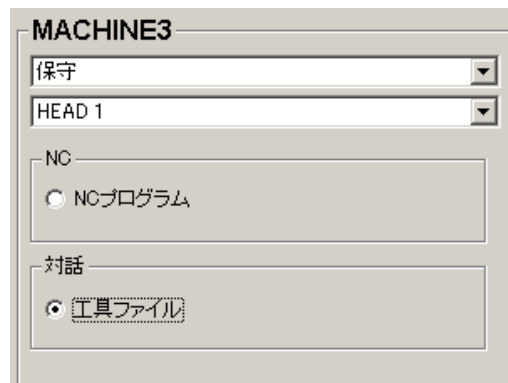


図 A-98

- 4) 図 A-99 のように、フォルダツリー表示部より、入力するファイルが保存されたフォルダを選択します。

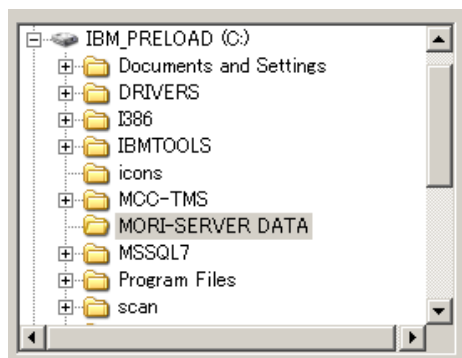


図 A-99

- 5) ファイルリスト表示部で、図 A-100 のように入力するファイルを選択します。

名前	サイズ	更新日時
MC_TOOLW.DA...	0.00	2007/03/02 15:02
TOOLW.DAT	0.00	2007/03/02 15:02

図 A-100




工具ファイルのファイル名は、MAPPS 機の場合は "TOOL.DAT", MAPPS II/III/IV 機の場合は "TOOLW.DAT" で終わるようにしてください。MORI-SERVER で工具ファイルを出力する場合は、自動的にこれらを付加します。



このデータをメモリカードに保存し、MAPPS に書き込む場合は、ファイル名を MAPPS 機の場合は "TOOL.DAT", MAPPS II/III/IV 機の場合は "TOOLW.DAT" に変更してください。



工具ファイルについては、MAPPS 対話プログラミング説明書を参照してください。

- 6)  ボタンをクリックします。

2-2-14 カード DNC/ESPRIT 領域リスト取得機能

本機能では、接続されている機械のカード DNC/ESPRIT 領域内のファイル・フォルダ情報を取得し、PC 側の機械情報表示部に表示します。



1. 本機能は、通信先デバイスが MAPPS (MAPPS および MAPPS II/III/IV) の場合のみ、使用することができます。
2. MAPPS 側の ESPRIT 機能が有効な場合のみ、ESPRIT フォルダにアクセスできます。

カード DNC/ESPRIT 領域リスト取得は、以下のように行います。

- 1) 機械一覧表示部で通信先の機械を選択します。

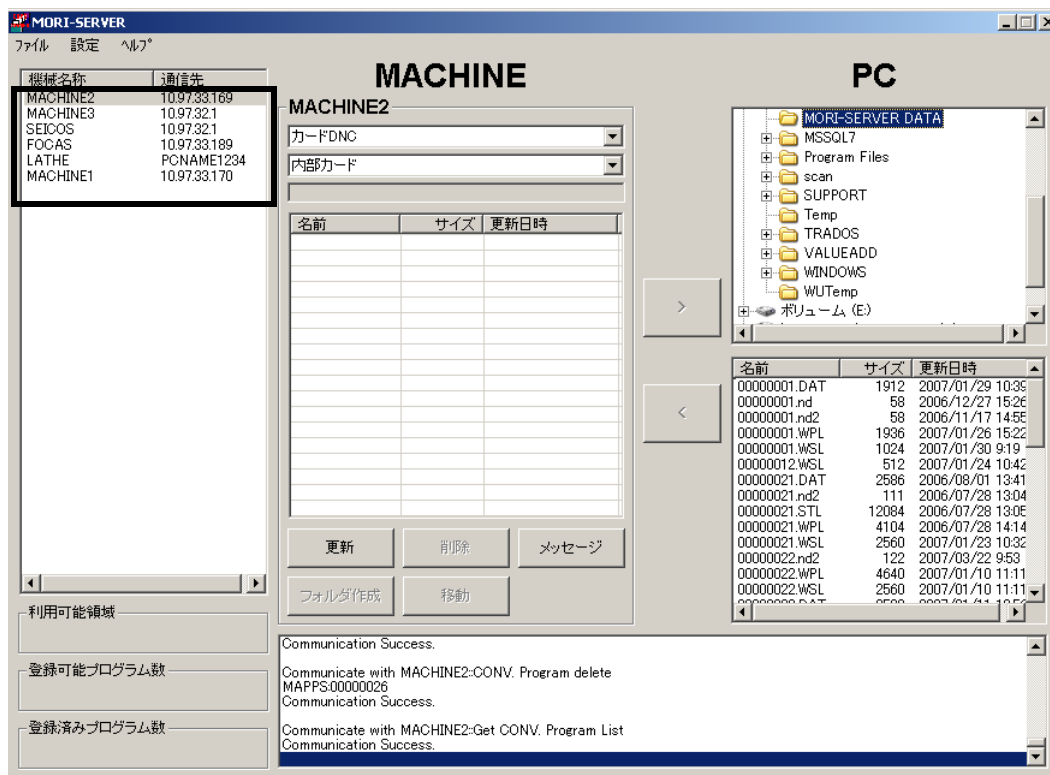


図 A-101

- 2) 通信種別切替えコンボボックスで、"カード DNC/ESPRIT" を選択します。



図 A-102

- 3) カード選択コンボボックスで、通信先のカードを選択します。



図 A-103

- 4) 図 A-101 の  ボタンをクリックします。

通信が開始されます。

通信に成功すると、図 A-104 の機械情報表示部には取得したファイル・フォルダ情報一覧が表示されます。フォルダ情報の場合、サイズ欄に "<フォルダ>" と表示され、" 更新日時 " 欄に何も表示されません。

名前	サイズ	更新日時
test	<フォルダ>	
o0010.txt	41	2007/03/22 10:14
o0020.txt	41	2007/03/22 10:14
o0030.txt	41	2007/03/22 10:14
o0040.txt	41	2007/03/22 10:14

図 A-104

2-2-15 カード DNC/ESPRIT 領域通信先フォルダ移動機能

本機能により、接続されている機械のカード DNC/ESPRIT 領域内のフォルダの移動が可能です。



1. 本機能は、通信先デバイスが MAPPS (MAPPS および MAPPS II/III/IV) の場合のみ、使用することができます。
2. MAPPS 側の ESPRIT 機能が有効な場合のみ、ESPRIT フォルダにアクセスできます。

カード DNC/ESPRIT 領域通信先フォルダ移動は、以下のように行います。

- 1) 2-2-14 "カード DNC/ESPRIT 領域リスト取得機能" (107 ページ) の手順に従って、図 A-105 の機械情報表示部に、ファイル・フォルダ情報一覧を表示します。

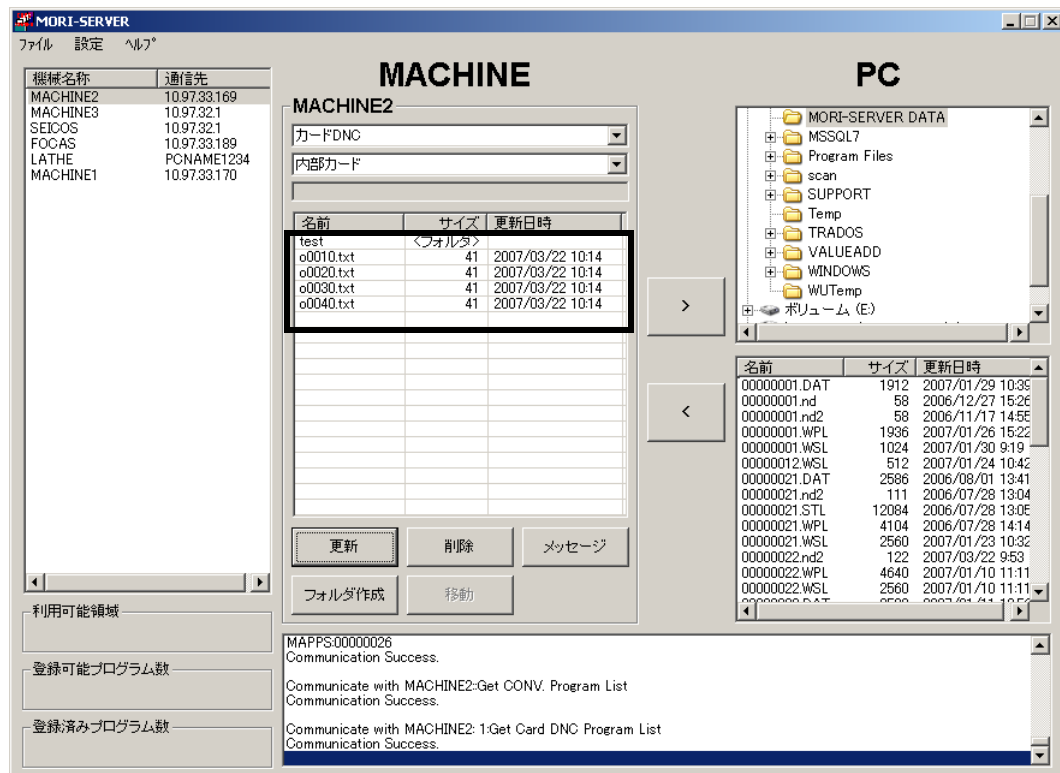



図 A-105

- 2) 図 A-106 の機械情報表示部より、移動先のフォルダを 1 つ選択し、 ボタンをクリックします。

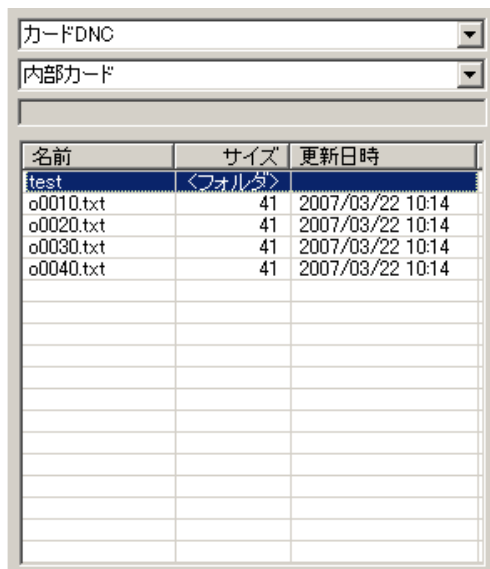



図 A-106



 ボタンをクリックする代わりに、移動先のフォルダ名をダブルクリックすることも可能です。

通信に成功すると、図 A-107 の機械情報表示部に現在アクセスしているフォルダを、機械情報表示部に移動先のファイル・フォルダー一覧をそれぞれ表示します。

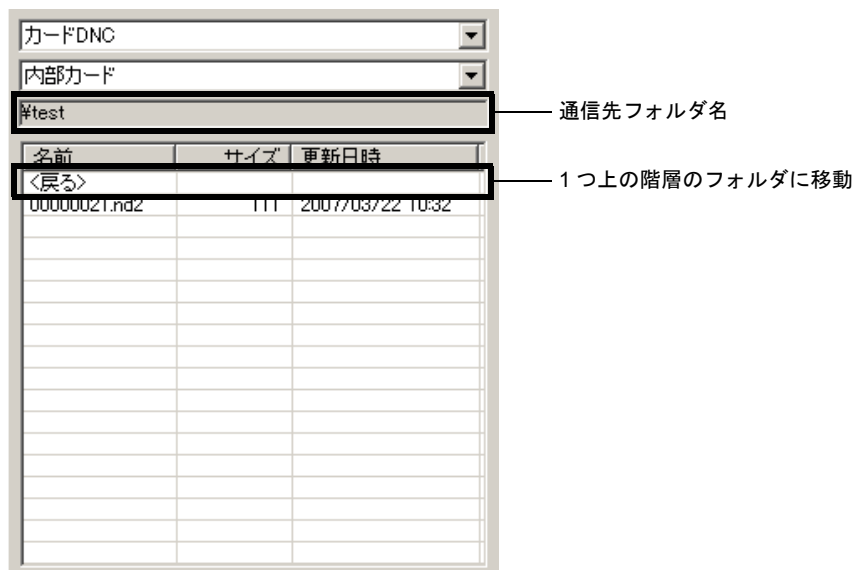


図 A-107



"<戻る>"を選択してフォルダ移動を行うと、1つ上の階層のフォルダに移動します。

2-2-16 カード DNC/ESPRIT フォルダ作成機能

本機能により接続されている機械のカード DNC/ESPRIT 領域内に新しくフォルダを作成することが可能です。



1. 本機能は、通信先デバイスが MAPPS (MAPPS および MAPPS II/III/IV) の場合のみ、使用することができます。
2. 本機能は ESPRIT のルートフォルダでは使用できません。
3. MAPPS 側の ESPRIT 機能が有効な場合のみ、ESPRIT フォルダにアクセスできます。

カード DNC/ESPRIT フォルダ作成は、以下のように行います。

- 1) 2-2-14 "カード DNC/ESPRIT 領域リスト取得機能" (107 ページ) および 2-2-15 "カード DNC/ESPRIT 領域通信先フォルダ移動機能" (109 ページ) の手順に従って、追加フォルダを作成するフォルダのファイル・フォルダ情報一覧を表示します。

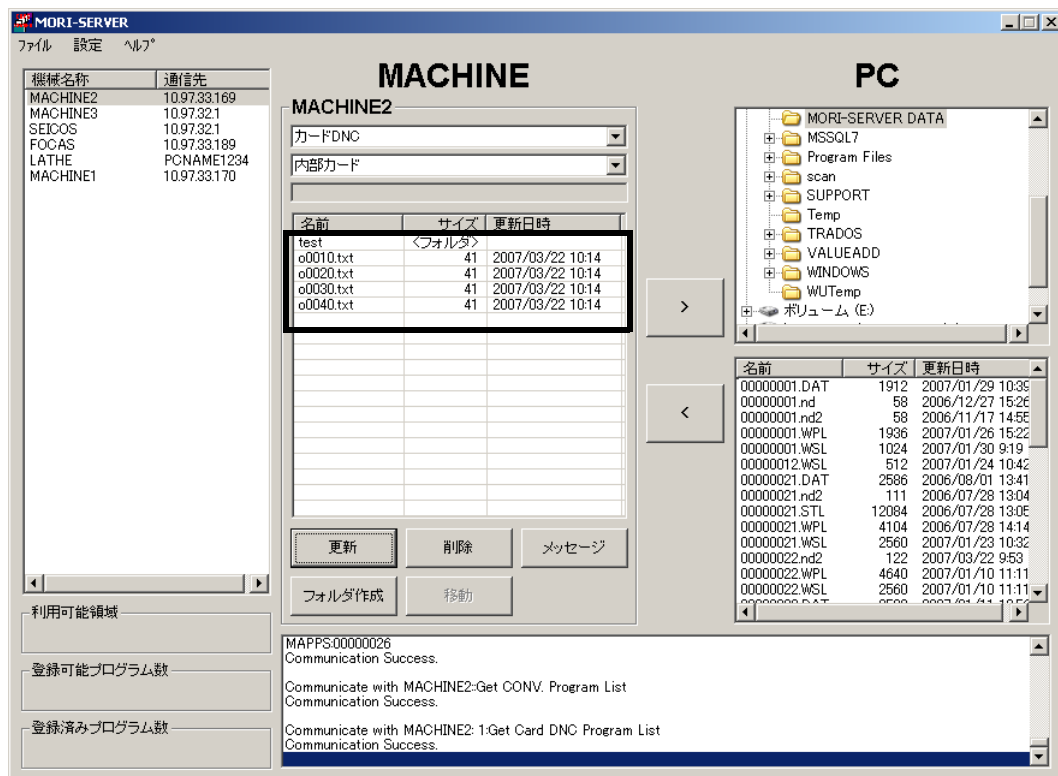


図 A-108



ユーザエリアの場合、追加フォルダは機械側の最上位のフォルダにしか作成することはできません

- 2) 図 A-108 の **フォルダ作成** ボタンをクリックします。

図 A-109 のように、" フォルダ名入力 " ダイアログボックスが表示されます。

- 3) テキストボックスに出力するフォルダ名を入力します。

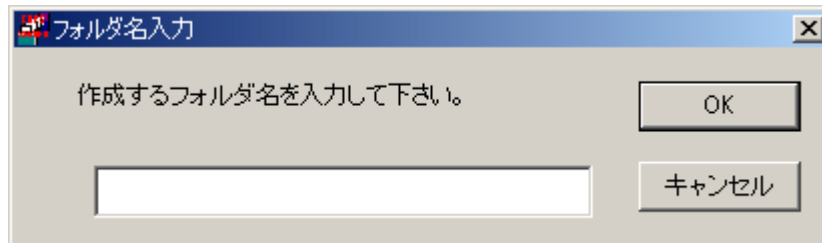


図 A-109

- 4) フォルダ作成を実行する場合は、図 A-109 の [OK] ボタンをクリックします。



作成を中止する場合は、[キャンセル] ボタンをクリックしてください。

フォルダ作成が完了すると、カード DNC/ESPRIT 領域のリスト変更を表示に反映させるために、自動的に 2-2-14 " カード DNC/ESPRIT 領域リスト取得機能 " (107 ページ) が実行されます。

2-2-17 カード DNC/ESPRIT 領域ファイル・フォルダ出力機能

本機能により機械のカード DNC/ESPRIT 領域内のファイルを 1 つまたは複数を選択して PC へ出力することが可能です。



1. 本機能は、通信先デバイスが MAPPS (MAPPS および MAPPS II/III/IV) の場合のみ、使用することができます。
2. MAPPS 側の ESPRIT 機能が有効な場合のみ、ESPRIT フォルダにアクセスできます。

カード DNC/ESPRIT 領域ファイル・フォルダ出力は、以下のように行います。

- 1) 2-2-14 "カード DNC/ESPRIT 領域リスト取得機能" (107 ページ) および 2-2-15 "カード DNC/ESPRIT 領域通信先フォルダ移動機能" (109 ページ) の手順に従って、出力するファイル・フォルダの存在するフォルダのファイル・フォルダ情報一覧を表示します。

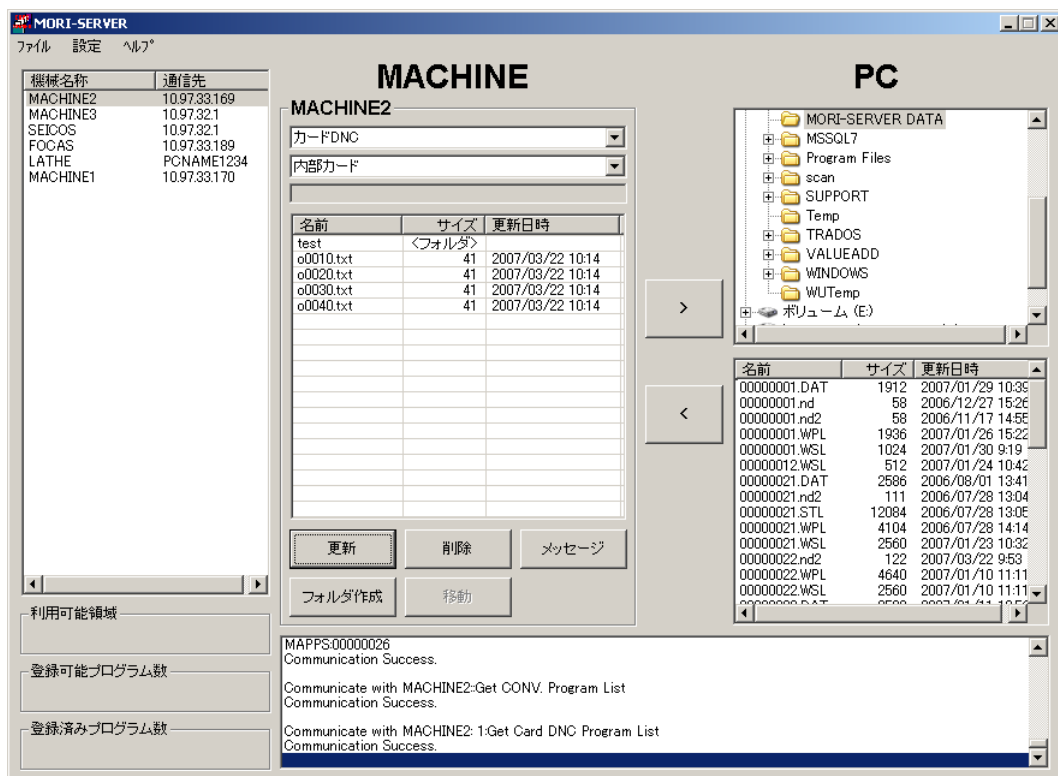


図 A-110

2-2-18 カード DNC/ESPRIT 領域ファイル入力機能

本機能により PC 側のファイルを MAPPS 側カード DNC/ESPRIT 領域に入力することが可能です。



1. 本機能は、通信先デバイスが MAPPS (MAPPS および MAPPS II/III/IV) の場合のみ、使用することができます。
2. 本機能は ESPRIT のルートフォルダでは使用できません。
3. MAPPS 側の ESPRIT 機能が有効な場合のみ、ESPRIT フォルダにアクセスできます。
4. MAPPS 側で入出力中の ESPRIT データを開かないでください。ESPRIT が異常終了する場合があります。

カード DNC/ESPRIT 領域ファイル入力は、以下のように行います。

- 1) 機械一覧表示部で通信先の機械を選択します。
- 2) 通信種別切替えコンボボックスで、"カード DNC/ESPRIT" を選択します。
- 3) 必要があれば、2-2-15 "カード DNC/ESPRIT 領域通信先フォルダ移動機能" (109 ページ) の手順に従って、ファイルを入力するフォルダまで通信先フォルダを移動します。

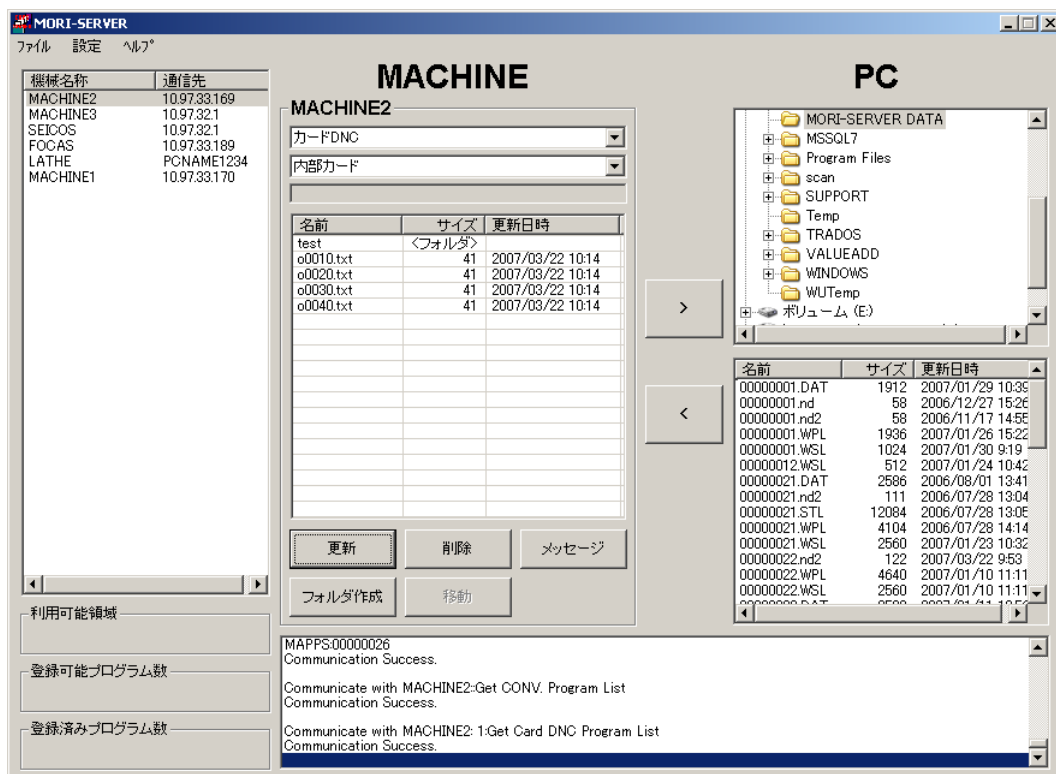


図 A-113

- 4) 図 A-114 のように、フォルダツリー表示部で、入力するファイルが存在するフォルダを選択します。

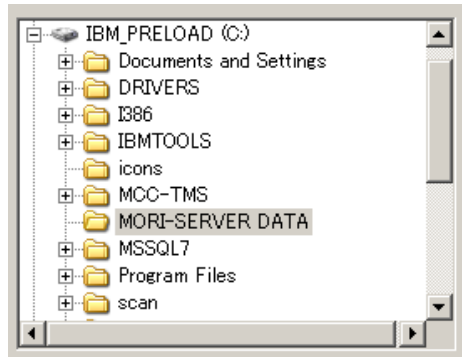


図 A-114

- 5) 図 A-115 のように、ファイルリスト表示部で、入力するファイルを選択します。

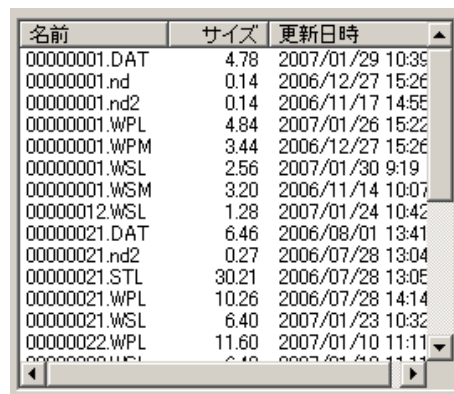


図 A-115



カード DNC/ESPRIT 領域ファイル・フォルダ出力機能と同様の方法により、複数のファイルを指定することも可能です。



以下の拡張子のファイルは入力することができません。

DLL, EXE, SYS, COM, CFG, INI, BAT, BIN, AUX

- 6)  ボタンをクリックします。

カード DNC/ESPRIT 領域へのファイル入力が完了すると、ファイル・フォルダ一覧の変更を表示に反映させるために、自動的に 2-2-14 "カード DNC/ESPRIT 領域リスト取得機能" (107 ページ) が実行されます。



MAPPS 側で入出力中の ESPRIT データを開かないでください。ESPRIT が異常終了する場合があります。

2-2-19 カード DNC/ESPRIT 領域ファイル・フォルダ削除機能

本機能により機械のカード DNC/ESPRIT 領域内のファイル・フォルダを削除することが可能です。



1. 本機能は、通信先デバイスが MAPPS (MAPPS および MAPPS II/III/IV) の場合のみ、使用することができます。
2. 本機能は ESPRIT のルートフォルダでは使用できません。
3. MAPPS 側の ESPRIT 機能が有効な場合のみ、ESPRIT フォルダにアクセスできます。

カード DNC/ESPRIT 領域ファイル・フォルダ削除は、以下のように行います。

- 1) 2-2-14 "カード DNC/ESPRIT 領域リスト取得機能" (107 ページ) および 2-2-15 "カード DNC/ESPRIT 領域通信先フォルダ移動機能" (109 ページ) の手順に従い、図 A-116 の機械情報表示部に、ファイル・フォルダ情報一覧を表示します。

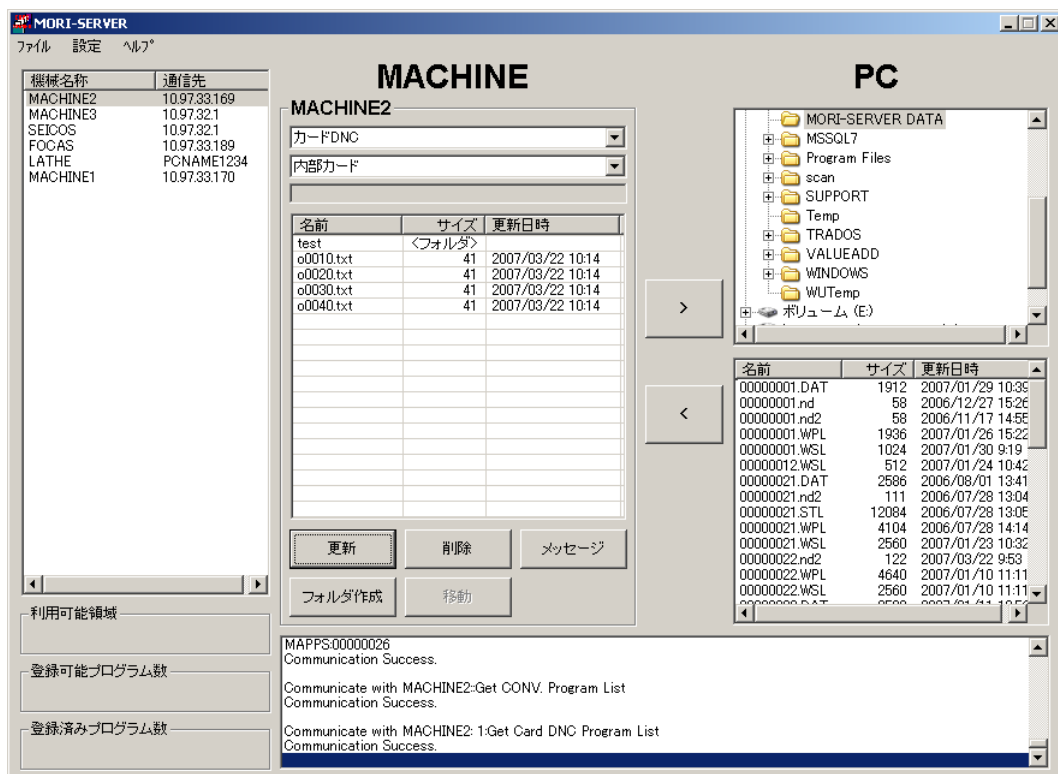



図 A-116

- 2) 図 A-117 の機械情報表示部より、削除するファイルまたはフォルダをクリックして、1 つまたは複数を選択します。

カードDNC		
内部カード		
名前	サイズ	更新日時
test	<フォルダ>	
o0010.txt	41	2007/03/22 10:14
o0020.txt	41	2007/03/22 10:14
o0030.txt	41	2007/03/22 10:14
o0040.txt	41	2007/03/22 10:14

図 A-117

- 3)  ボタンをクリックします。



MAPPS 側で選択中のファイル、または MAPPS 側で選択中のファイルを含むフォルダは削除できません。

カード DNC/ESPRIT 領域ファイル・フォルダ削除が完了すると、ファイル・フォルダ一覧の変更を表示に反映させるために、自動的に 2-2-14 "カード DNC/ESPRIT 領域リスト取得機能" (107 ページ) が実行されます。

2-2-20 データサーバファイルリスト取得機能

本機能では、接続されているデータサーバ内のファイル・フォルダ情報を取得し、PC 側の機械情報表示部に表示します。

データサーバ内のファイルリスト取得は、以下のように行います。

- 1) 機械一覧表示部で通信先の機械を選択します。

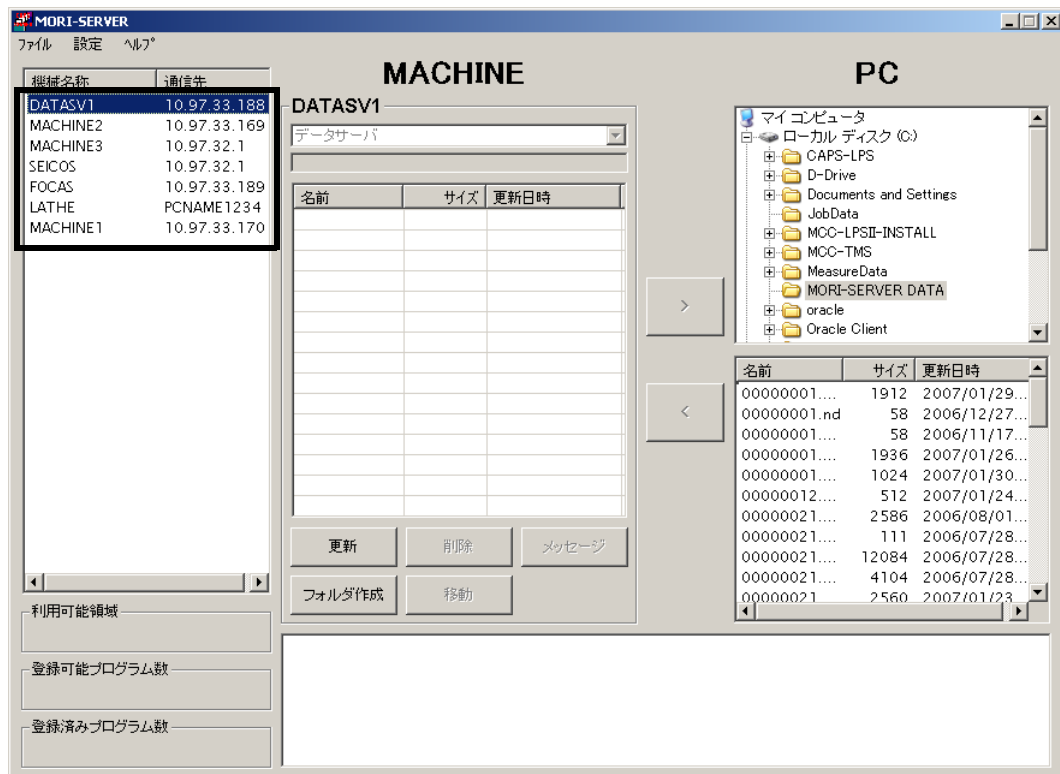
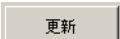


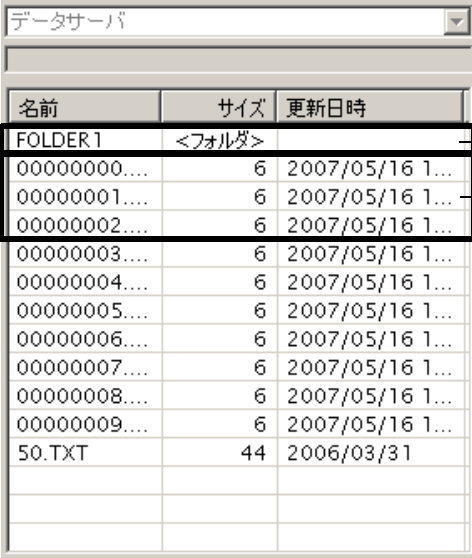
図 A-118

- 2)  ボタンをクリックします。

もしくは、機械一覧表示部上で通信先をダブルクリックします。

通信が開始されます。

通信に成功すると、図 A-119 の機械情報表示部には取得したファイル・フォルダ情報一覧が表示されます。フォルダ情報の場合、サイズ欄に "<フォルダ>" と表示され、"更新日時" 欄に何も表示されません。



名前	サイズ	更新日時
FOLDER1	<フォルダ>	
00000000....	6	2007/05/16 1...
00000001....	6	2007/05/16 1...
00000002....	6	2007/05/16 1...
00000003....	6	2007/05/16 1...
00000004....	6	2007/05/16 1...
00000005....	6	2007/05/16 1...
00000006....	6	2007/05/16 1...
00000007....	6	2007/05/16 1...
00000008....	6	2007/05/16 1...
00000009....	6	2007/05/16 1...
50.TXT	44	2006/03/31

図 A-119



FTP の仕様により、ファイルの最終更新日が 1 年以上前の場合、更新年が正しく表示されなかったり、時間が表示されない場合があります。

2-2-21 データサーバ通信先フォルダ移動機能

本機能により、接続されているデータサーバ内のフォルダの移動が可能です。

データサーバ内のフォルダ移動は、以下のようになります。

- 1) 2-2-20 "データサーバファイルリスト取得機能" (119 ページ) の手順に従って、図 A-120 の機械情報表示部に、ファイル・フォルダ情報一覧を表示させます。

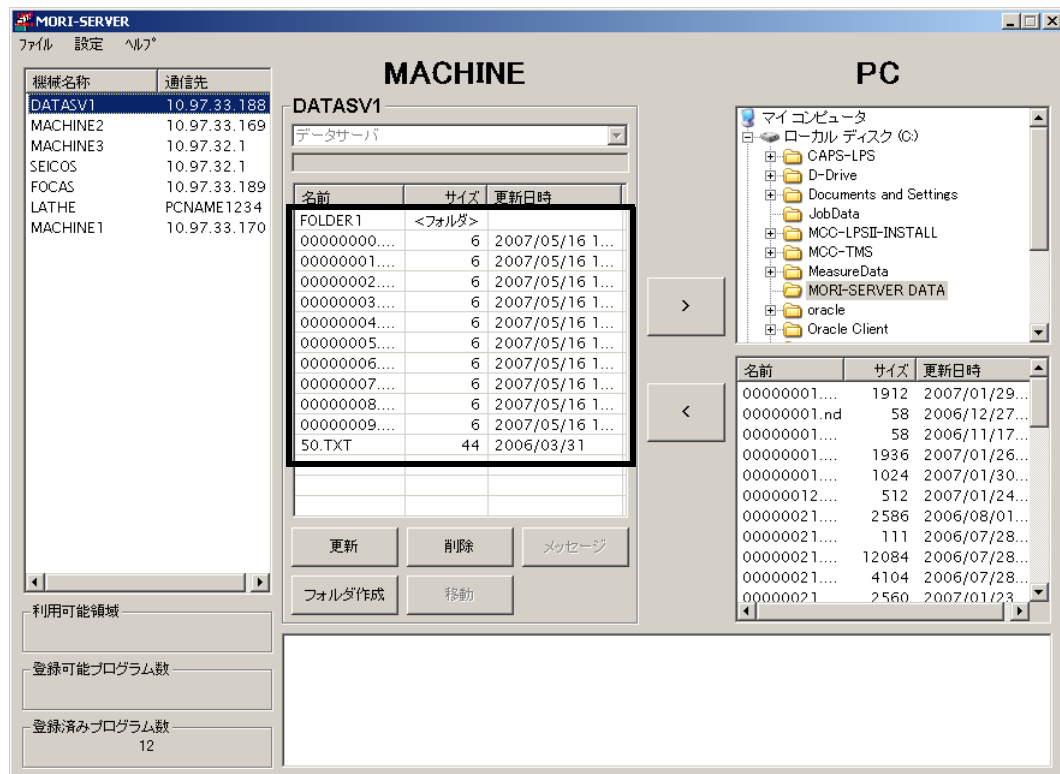
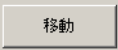


図 A-120


- 2) 図 A-121 の機械情報表示部より、移動先のフォルダを 1 つ選択し、 ボタンをクリックします。



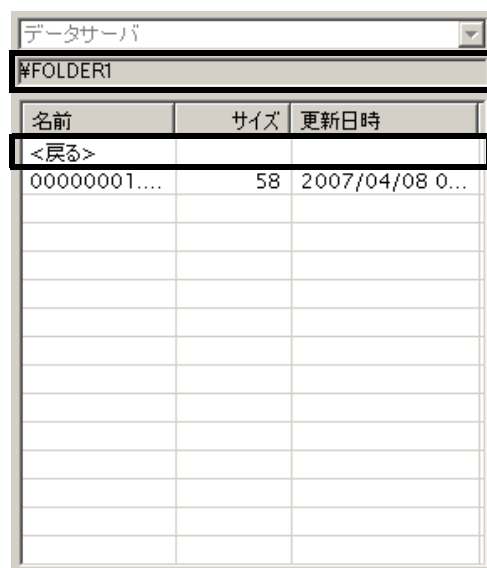
名前	サイズ	更新日時
FOLDER1	<フォルダ>	
00000000....	6	2007/05/16 1...
00000001....	6	2007/05/16 1...
00000002....	6	2007/05/16 1...
00000003....	6	2007/05/16 1...
00000004....	6	2007/05/16 1...
00000005....	6	2007/05/16 1...
00000006....	6	2007/05/16 1...
00000007....	6	2007/05/16 1...
00000008....	6	2007/05/16 1...
00000009....	6	2007/05/16 1...
50.TXT	44	2006/03/31

図 A-121



 ボタンをクリックする代わりに、移動先のフォルダ名をダブルクリックすることも可能です。

通信に成功すると、図 A-122 の機械情報表示部に現在アクセスしているフォルダを、機械情報表示部に移動先のファイル・フォルダ一覧をそれぞれ表示します。



名前	サイズ	更新日時
<戻る>		
00000001....	58	2007/04/08 0...

図 A-122



"<戻る>"を選択してフォルダ移動を行うと、1つ上の階層のフォルダに移動します。

2-2-22 データサーバフォルダ作成機能

本機能により接続されているデータサーバ内に新しくフォルダを作成することが可能です。
データサーバ内のフォルダ作成は、以下のようになります。

- 1) 2-2-20 "データサーバファイルリスト取得機能" (119 ページ) および 2-2-21 "データサーバ通信先フォルダ移動機能" (121 ページ) の手順に従って、追加フォルダを作成するフォルダのファイル・フォルダ情報一覧を表示します。

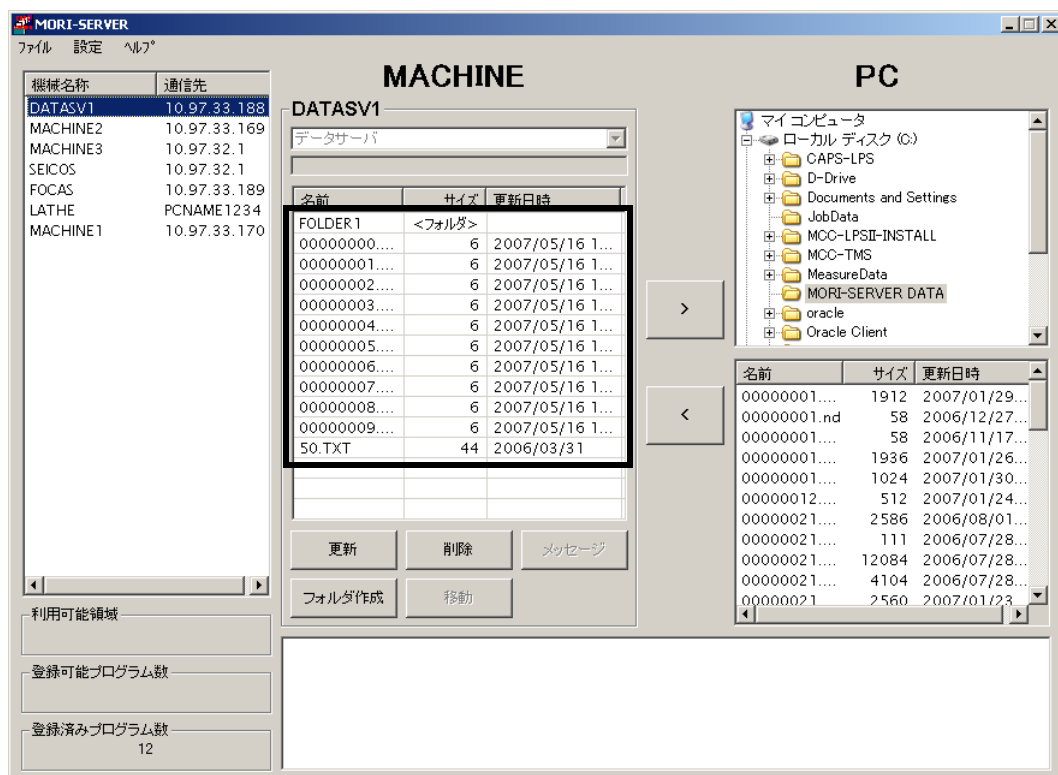


図 A-123

- 2) 図 A-123 の  ボタンをクリックします。

図 A-124 のように、" フォルダ名入力 " ダイアログボックスが表示されます。

- 3) テキストボックスに出力するフォルダ名を入力します。

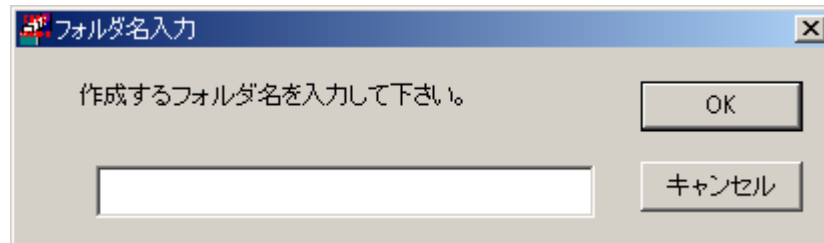


図 A-124

- 4) フォルダ作成を実行する場合は、図 A-124 の [OK] ボタンをクリックします。



作成を中止する場合は、[キャンセル] ボタンをクリックしてください。

フォルダ作成が完了すると、データサーバ内のリスト変更を表示に反映させるために、自動的に 2-2-20 " データサーバファイルリスト取得機能 " (119 ページ) が実行されます。

2-2-23 データサーバファイル・フォルダ出力機能

本機能によりデータサーバ内の 1 つまたは複数のファイルを選択して PC へ出力することが可能です。

データサーバ内のファイル・フォルダ出力は、以下のように行います。

- 1) 2-2-20 "データサーバファイルリスト取得機能" (119 ページ) および 2-2-21 "データサーバ通信先フォルダ移動機能" (121 ページ) の手順に従って、出力するファイル・フォルダの存在するフォルダのファイル・フォルダ情報一覧を表示します。

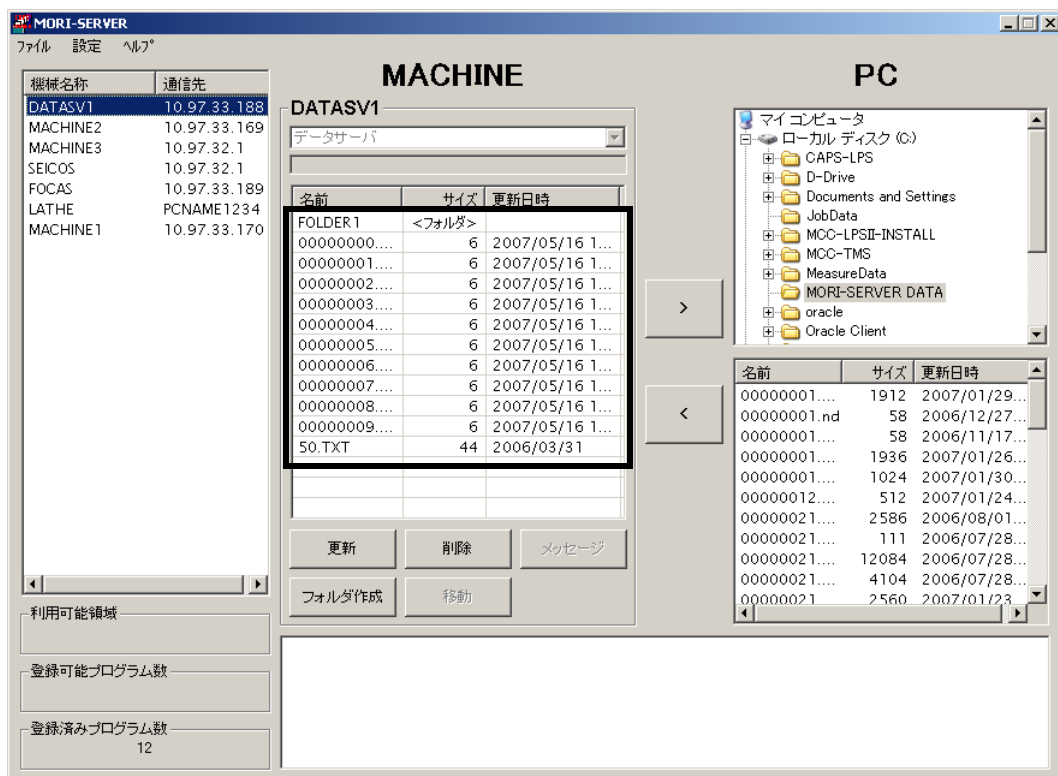


図 A-125

- 2) 図 A-126 の機械情報表示部より、出力するファイルまたはフォルダをクリックして、1つまたは複数を選択します。



名前	サイズ	更新日時
FOLDER1	<フォルダ>	
00000000....	6	2007/05/16 1...
00000001....	6	2007/05/16 1...
00000002....	6	2007/05/16 1...
00000003....	6	2007/05/16 1...
00000004....	6	2007/05/16 1...
00000005....	6	2007/05/16 1...
00000006....	6	2007/05/16 1...
00000007....	6	2007/05/16 1...
00000008....	6	2007/05/16 1...
00000009....	6	2007/05/16 1...
50.TXT	44	2006/03/31

図 A-126

- 3) 図 A-127 のように、フォルダツリー表示部より、出力先のフォルダを選択します。

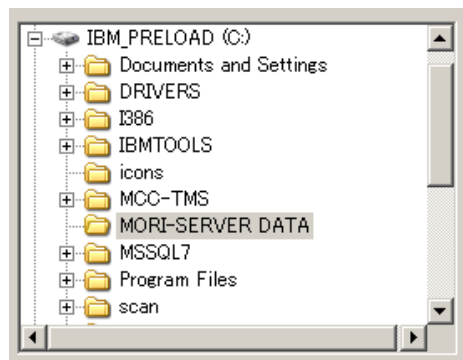



図 A-127

- 4)  ボタンをクリックします。

選択したファイルまたはフォルダが、指定した PC 側のフォルダへ出力されます。

2-2-24 データサーバファイル入力機能

本機能により PC 側のファイルをデータサーバに入力することが可能です。

データサーバのファイル入力は、以下のように行います。

- 1) 機械一覧表示部で通信先を選択します。
- 2) 必要があれば、2-2-21 "データサーバ通信先フォルダ移動機能" (121 ページ) の手順に従って、ファイルを入力するフォルダまで通信先フォルダを移動します。

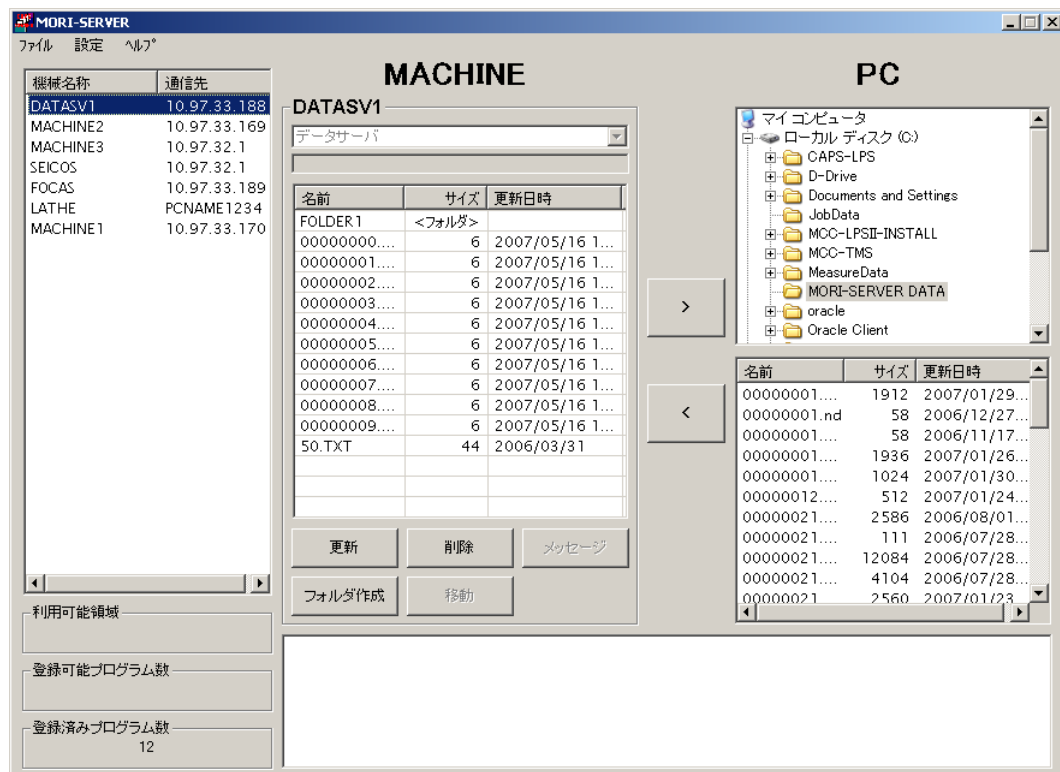


図 A-128

- 3) 図 A-129 のように、フォルダツリー表示部で、入力するファイルが存在するフォルダを選択します。

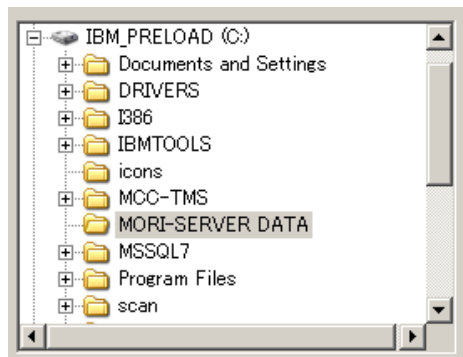


図 A-129

- 4) 図 A-130 のように、ファイルリスト表示部で、入力するファイルを選択します。

名前	サイズ	更新日時
00000001.DAT	4.78	2007/01/29 10:35
00000001.nd	0.14	2006/12/27 15:26
00000001.nd2	0.14	2006/11/17 14:55
00000001.WPL	4.84	2007/01/26 15:22
00000001.WPM	3.44	2006/12/27 15:26
00000001.WSL	2.56	2007/01/30 9:19
00000001.WSM	3.20	2006/11/14 10:07
00000012.WSL	1.28	2007/01/24 10:42
00000021.DAT	6.46	2006/08/01 13:41
00000021.nd2	0.27	2006/07/28 13:04
00000021.STL	30.21	2006/07/28 13:05
00000021.WPL	10.26	2006/07/28 14:14
00000021.WSL	6.40	2007/01/23 10:32
00000022.WPL	11.60	2007/01/10 11:11

図 A-130



カード DNC/ESPRIT 領域ファイル・フォルダ出力機能と同様の方法により、複数のファイルを指定することも可能です。



以下の拡張子のファイルは入力することができません。
DLL, EXE, SYS, COM, CFG, INI, BAT, BIN, AUX

- 5)  ボタンをクリックします。

データサーバへのファイル入力が完了すると、ファイル・フォルダー一覧の変更を表示に反映させるために、自動的に「2-2-20 データサーバファイルリスト取得機能」(119 ページ)が実行されます。

2-2-25 データサーバファイル・フォルダ削除機能

本機能によりデータサーバ内のファイル・フォルダを削除することが可能です。

データサーバ内のファイル・フォルダ削除は、以下のように行います。

- 1) 2-2-20 "データサーバファイルリスト取得機能" (119 ページ) および 2-2-21 "データサーバ通信先フォルダ移動機能" (121 ページ) の手順に従い、図 A-131 の機械情報表示部に、ファイル・フォルダ情報一覧を表示させます。

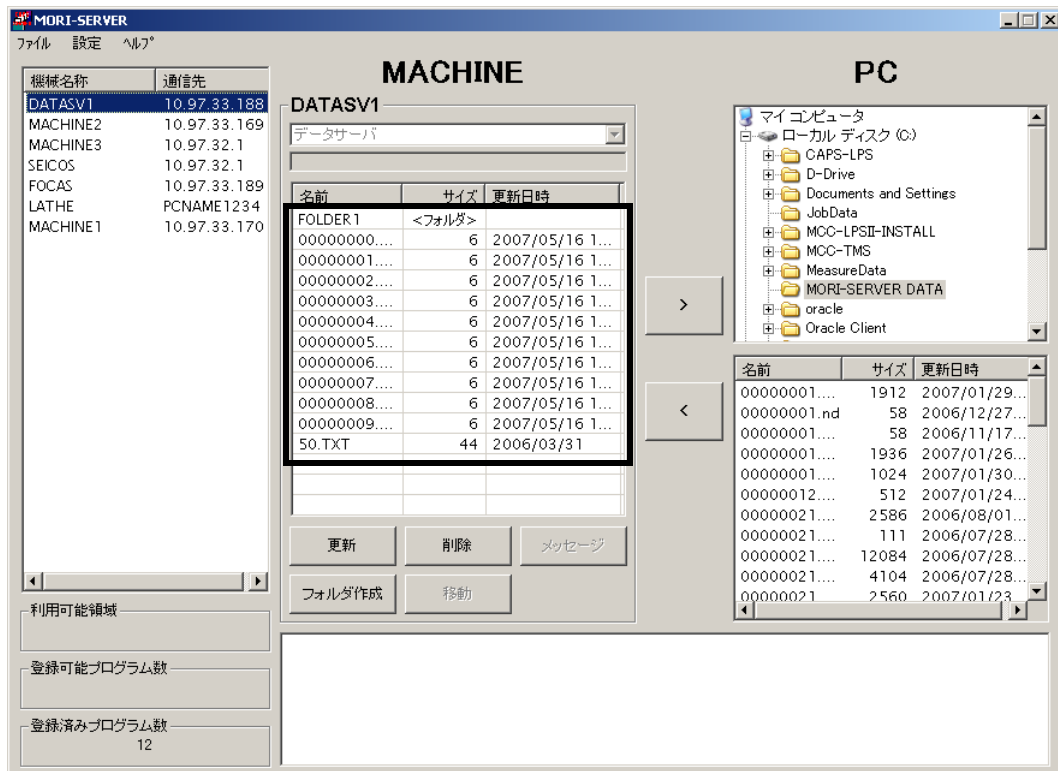




図 A-131

- 2) 図 A-132 の機械情報表示部より、削除するファイルまたはフォルダをクリックして、1つまたは複数を選択します。



名前	サイズ	更新日時
FOLDER1	<フォルダ>	
00000000....	6	2007/05/16 1...
00000001....	6	2007/05/16 1...
00000002....	6	2007/05/16 1...
00000003....	6	2007/05/16 1...
00000004....	6	2007/05/16 1...
00000005....	6	2007/05/16 1...
00000006....	6	2007/05/16 1...
00000007....	6	2007/05/16 1...
00000008....	6	2007/05/16 1...
00000009....	6	2007/05/16 1...
50.TXT	44	2006/03/31

図 A-132

- 3)  ボタンをクリックします。



MAPPS 側で選択中のファイル、または MAPPS 側で選択中のファイルを含むフォルダは削除できません。

データサーバ内のファイル・フォルダ削除が完了すると、ファイル・フォルダ一覧の変更を表示に反映させるために、自動的に 2-2-20 "データサーバファイルリスト取得機能" (119 ページ) が実行されます。

2-3 通信のインタロック

MORI-SERVER では、通信に際して、MAPPS 側においてインタロックを設けて、通信を拒否したり、また、通信が失敗するようになっています。

2-3-1 共通項目

MORI-SERVER の通信するコマンドに依存せずに、共通したインタロックには、次のようなものがあります。

2-3-1-1 主機能 OFF

MAPPS 側にて、MORI-SERVER 機能基本設定画面（65 ページ（1-4-2-3））で MORI-SERVER の " 主機能 " を無効に設定している場合、PC 側からの通信が拒否されます。

2-3-1-2 IP アドレス認証

MAPPS 側にて、MORI-SERVER 機能基本設定画面（65 ページ（1-4-2-3））で IP アドレスによる通信制限を有効に設定している場合、通信を許可すると登録されている IP アドレス以外の IP アドレスの PC からの通信が拒否されます。

2-3-1-3 ユーザ認証

MAPPS 側にて、MORI-SERVER 機能基本設定画面（65 ページ（1-4-2-3））でユーザ認証機能を有効に設定されている場合、通信時に PC から送付するユーザ ID とパスワードが、MAPPS で登録されているユーザ 1 とユーザ 2 のいずれのユーザ ID とパスワードとも一致しない、あるいは、ユーザ ID とパスワードが一致してもそのユーザが無効に設定されている場合は、PC からの通信が拒否されます。

2-3-1-4 MORI-SERVER 通信中

通信対象の MAPPS 側が、既に別の PC からの MORI-SERVER と通信中の場合、後から通信を試みた PC からの通信は拒否されます。

ただし、先の別の PC からの通信が終了した後に通信を試みれば、通信は可能です。

2-3-1-5 MAPPS 入出力中

MAPPS 側で、NC プログラムなどの入出力作業を行っている場合、PC 側からの通信は拒否されます。

2-3-1-6 写し出し画面表示中

MAPPS 側で、NC システム画面を表示している場合、PC 側からの通信は拒否されます。

2-3-1-7 排他制御機能

MORI-SERVER では、通信中に 2-4-1 " キー入力ロック機能 "（136 ページ）のように、MAPPS でのキーボードからの入力を拒否する機能がありますが、他のソフトの同等の機能とのデッドロックを回避するため、排他制御を行っています。

他の排他制御の対象ソフトによりキーボードからの入力がロックされている場合、PC からの通信は拒否されます。

2-3-2 機能別制限機能

2-3-2-1 メッセージ送信機能

メッセージ送信機能では、2-3-1 " 共通項目 " (131 ページ) 以外に、次の場合に通信が拒否されるか、または失敗します。

- MAPPS で表示されているダイアログボックスに、送信したメッセージを追加で表示できない場合。

2-3-2-2 NC プログラムリスト取得機能

NC プログラムリスト取得機能では、2-3-1 " 共通項目 " (131 ページ) 以外には特にインタロックはありません。

2-3-2-3 NC プログラム個別出力機能

NC プログラム個別出力機能では、2-3-1 " 共通項目 " (131 ページ) 以外に、次の場合に通信が拒否されるか、または失敗します。

- MORI-SERVER 機能詳細設定画面 (70 ページ (1-4-2-4)) で、ログインしたユーザの "NC プログラム" の "MAPPS → PC" が無効に設定されている場合。

2-3-2-4 NC プログラム個別入力機能

NC プログラム個別入力機能では、2-3-1 " 共通項目 " (131 ページ) 以外に、次の場合に通信が拒否されるか、または失敗します。

- MORI-SERVER 機能詳細設定画面 (70 ページ (1-4-2-4)) で、ログインしたユーザの "NC プログラム" の "PC → MAPPS" が無効に設定されている場合。
- MAPPS 側で、対話画面を表示している場合
- MAPPS 側で、パネル操作選択スイッチが編集可以外の場合。
- MAPPS 側で、選択中、または BG 編集集中のプログラムと同じ O 番号を含むデータの入力を試みた場合。
- MAPPS 側で、NC プログラムの上書きが禁止されているときに、NC 内に既存のプログラムと同じ O 番号を含むデータの入力を試みた場合。

2-3-2-5 NC プログラム削除機能

NC プログラム削除機能では、2-3-1 " 共通項目 " (131 ページ) 以外に、次の場合に通信が拒否されるか、または失敗します。

- MORI-SERVER 機能詳細設定画面 (70 ページ (1-4-2-4)) で、ログインしたユーザの "NC プログラム削除" の "PC → MAPPS" が無効に設定されている場合。
- MAPPS 側で、対話画面を表示している場合
- MAPPS 側で、パネル操作選択スイッチが編集可以外の場合。
- MAPPS 側で、選択中、または BG 編集集中のプログラムの削除を試みた場合。

2-3-2-6 NC プログラム一括出力機能

NC プログラム一括出力機能では、2-3-1 " 共通項目 " (131 ページ) 以外に、次の場合に通信が拒否されるか、または失敗します。

- MORI-SERVER 機能詳細設定画面 (70 ページ (1-4-2-4)) で、ログインしたユーザの "NC プログラム" の "MAPPS → PC" が無効に設定されている場合。

2-3-2-7 NC プログラム一括入力機能

NC プログラム一括入力機能では、2-3-1 " 共通項目 " (131 ページ) 以外に、次の場合に通信が拒否されるか、または失敗します。

- MORI-SERVER 機能詳細設定画面 (70 ページ (1-4-2-4)) で、ログインしたユーザの "NC プログラム" の "PC → MAPPS" が無効に設定されている場合。
- MAPPS 側で、対話画面を表示している場合。
- MAPPS 側で、選択中、または BG 編集中のプログラムと同じ O 番号を含むデータの入力を試みた場合。
- MAPPS 側で、NC プログラムの上書きが禁止されているときに、NC 内に既存のプログラムと同じ O 番号を含むデータの入力を試みた場合。

2-3-2-8 対話プログラムリスト取得機能

対話プログラムリスト取得機能では、2-3-1 " 共通項目 " (131 ページ) 以外には、特にインタロックはありません。

2-3-2-9 対話プログラム出力機能

対話プログラム出力機能では、2-3-1 " 共通項目 " (131 ページ) 以外に、次の場合に通信が拒否されるか、または失敗します。

- MORI-SERVER 機能詳細設定画面 (70 ページ (1-4-2-4)) で、ログインしたユーザの " 対話プログラム入出力 " の "MAPPS → PC" が禁止に設定されている場合。
- MAPPS 側で、対話画面を表示している場合。

2-3-2-10 対話プログラム入力機能

対話プログラム入力機能では、2-3-1 " 共通項目 " (131 ページ) 以外に、次の場合に通信が拒否されるか、または失敗します。

- MORI-SERVER 機能詳細設定画面 (70 ページ (1-4-2-4)) で、ログインしたユーザの " 対話プログラム入出力 " の "PC → MAPPS" が禁止に設定されている場合。
- MAPPS 側で、対話画面を表示している場合。
- MAPPS 側で、対話ダイレクト運転中に、対話ダイレクト運転中のプログラムと同じ番号のプログラムの入力を試みた場合。
- MAPPS 側で、対話プログラムの上書きが禁止されているときに、MAPPS 内に既存のプログラムと同じ番号のプログラムの入力を試みた場合。

2-3-2-11 対話プログラム削除機能

NC プログラム削除機能では、2-3-1 " 共通項目 " (131 ページ) 以外に、次の場合に通信が拒否されるか、または失敗します。

- MORI-SERVER 機能詳細設定画面 (70 ページ (1-4-2-4)) で、ログインしたユーザの "NC プログラム削除" の "PC → MAPPS" が禁止に設定されている場合。
- MAPPS 側で、対話画面を表示している場合。
- MAPPS 側で、対話ダイレクト運転中のプログラムの削除を試みた場合。

2-3-2-12 対話データ出力機能

対話データ出力機能では、2-3-1 " 共通項目 " (131 ページ) 以外に、次の場合に通信が拒否されるか、または失敗します

- MORI-SERVER 機能詳細設定画面 (70 ページ (1-4-2-4)) で、ログインしたユーザの " 対話データ入出力 " の "MAPPS → PC" が禁止に設定されている場合。
- MAPPS 側で、対話画面を表示している場合。

2-3-2-13 対話データ入力機能

対話データ入力機能では、2-3-1 " 共通項目 " (131 ページ) 以外に、次の場合に通信が拒否されるか、または失敗します。

- MORI-SERVER 機能詳細設定画面 (70 ページ (1-4-2-4)) で、ログインしたユーザの " 対話データ入出力 " の "PC → MAPPS" が禁止に設定されている場合。
- MAPPS 側で、対話画面を表示している場合。

2-3-2-14 カード DNC/ESPRIT 領域リスト取得機能

カード DNC/ESPRIT 領域リスト取得機能では、2-3-1 " 共通項目 " (131 ページ) 以外には特にインタロックはありません。

2-3-2-15 カード DNC/ESPRIT 領域通信先フォルダ移動機能

カード DNC/ESPRIT 領域通信先フォルダ移動機能では、2-3-1 " 共通項目 " (131 ページ) 以外には特にインタロックはありません。

2-3-2-16 カード DNC/ESPRIT 領域フォルダ作成機能

カード DNC/ESPRIT 領域フォルダ作成機能では、2-3-1 " 共通項目 " (131 ページ) 以外に、次の場合に通信が拒否されるか、または失敗します。

- 通信先カードがユーザエリアであり、かつ、通信先フォルダがカード DNC/ESPRIT 領域のサブフォルダ内である場合。

2-3-2-17 カード DNC/ESPRIT 領域ファイル・フォルダ出力機能

カード DNC/ESPRIT 領域ファイル・フォルダ出力機能では、2-3-1 "共通項目" (131 ページ) 以外に、次の場合に通信が拒否されるか、または失敗します。

- MORI-SERVER 機能詳細設定画面 (70 ページ (1-4-2-4)) で、ログインしたユーザの "カード DNC 入出力" の "MAPPS → PC" が無効に設定されている場合。
- 出力先フォルダに、出力ファイルと同名のフォルダが存在する場合。
- 出力先フォルダに、出力ファイルと同名の読取専用のファイルが存在する場合。

2-3-2-18 カード DNC/ESPRIT 領域ファイル入力機能

カード DNC/ESPRIT 領域ファイル入力機能では、2-3-1 "共通項目" (131 ページ) 以外に、次の場合に通信が拒否されるか、または失敗します。

- MORI-SERVER 機能詳細設定画面 (70 ページ (1-4-2-4)) で、ログインしたユーザの "カード DNC 入出力" の "PC → MAPPS" が無効に設定されている場合。
- MAPPS 側で、DNC 運転中に、DNC 運転中のプログラムと同じ名前のファイルの入力を試みた場合。
- MAPPS 側で、カード DNC/ESPRIT 領域ファイルの上書きが禁止されているときに、MAPPS 内に既存のプログラムと同じ名前のファイルの入力を試みた場合。

2-3-2-19 カード DNC/ESPRIT 領域ファイル・フォルダ削除機能

カード DNC/ESPRIT 領域ファイル・フォルダ削除機能では、2-3-1 "共通項目" (131 ページ) 以外に、次の場合に通信が拒否されるか、または失敗します。

- MORI-SERVER 機能詳細設定画面 (70 ページ (1-4-2-4)) で、ログインしたユーザの "カード DNC 削除" の "PC → MAPPS" が無効に設定されている場合。
- MAPPS 側で、DNC 運転中のファイルの削除を試みた場合。
- MAPPS 側で、DNC 運転中のファイルを含むフォルダの削除を試みた場合。

2-3-3 3次元干渉チェック実行時の制限

3次元干渉チェック実行時、MORI-SERVER を使用するのに以下の制限があります。

- 自動運転または手動運転で機械の軸移動中は、MORI-SERVER で対話プログラム、カード DNC データ、保守データ (対話データの工具ファイル) の入出力ができません。
- MORI-SERVER で対話プログラム、カード DNC データ、保守データ (対話データの工具ファイル) の入出力中に、自動運転または手動運転で機械の軸移動を行うと、"タイムオーバー" のアラームが発生し、機械が停止する場合があります。

2-4 MAPPS セーフティ機能

MORI-SERVER では、オペレータの操作とのインタロックをとるために、MORI-SERVER で通信中は、MAPPS 側でのキーボードからの入力をロックします。

2-4-1 キー入力ロック機能

MORI-SERVER の通信中は、下記のように MAPPS 側からのキーボード入力をロックします。

1. PC 側から MORI-SERVER の通信の接続を受けると、MAPPS 側で、キーボードからの入力をロックします。
2. キーボードからの入力がロックされると、そのことを MAPPS（機械）のオペレータに伝えるために、画面右上にアイコンが表示され、点滅します。
3. 上記のようにキー入力ロックの表示がされている場合でも、MAPPS のリセットキーまたは、非常停止ボタンを押すと、強制的に MORI-SERVER との通信を中止し、キー入力のロックを解除して、キー入力可能な状態にすることができます。



通信中にモードを MDI モードに切り替えても、強制的に通信を中止します。この場合も、キー入力のロックを解除して、キー入力可能な状態になります。

3 メッセージ表示機能

MORI-SERVER の通信機能使用時に MORI-SERVER および MAPPS に表示されるメッセージについて説明します。

3-1 MORI-SERVER 側メッセージ

MORI-SERVER は、図 A-133 のメッセージ表示部に図 A-134 のように通信内容を表すメッセージを表示します。

ここでは、MORI-SERVER のメッセージ表示部に表示されるメッセージの内容について説明します。

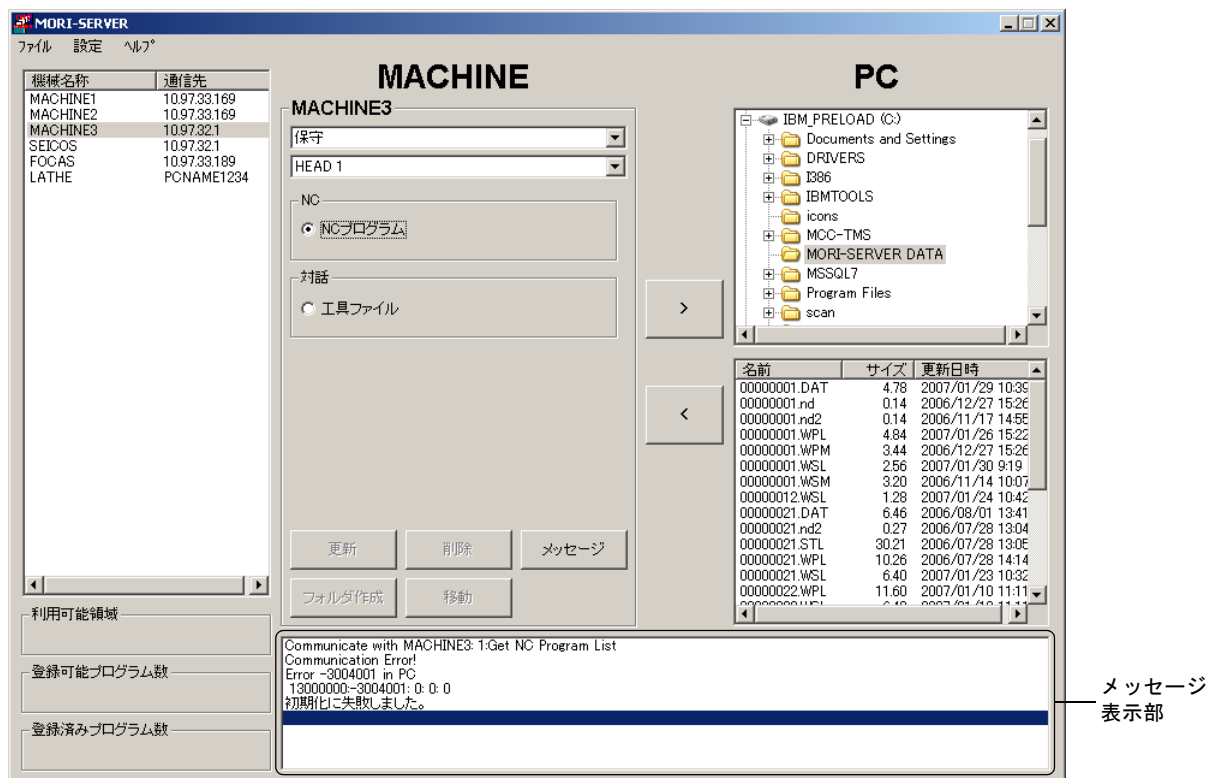


図 A-133

3-1-1 通信メッセージ

MORI-SERVER は通信の内容を通知するために、下記の形式で通信メッセージを表示します。

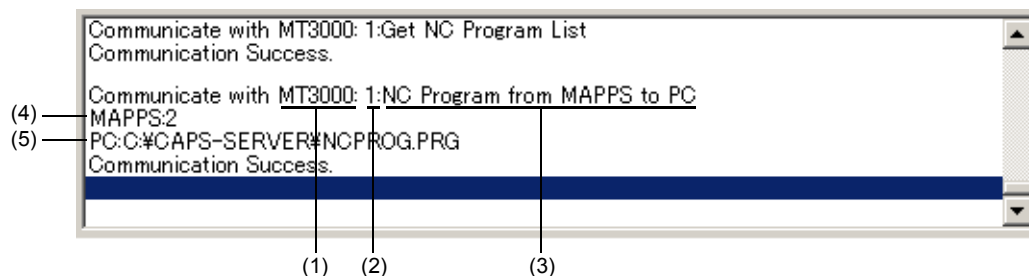


図 A-134

1. 通信先

登録済みの機械を通信先に選択した場合は、通信先の機械の名称が表示されます。
通信先を手動で設定した場合は、通信先の機械の IP アドレスが表示されます。

2. 系統番号

通信を行っている NC の系統番号が表示されます。
工具ファイル、対話プログラムの場合は表示されません。

3. 通信コマンドメッセージ

通信内容を表す通信コマンドメッセージが表示されます。

4. O 番号表示

NC プログラム個別出力機能または NC プログラム削除機能実行時には、対象となる NC プログラムの O 番号が表示されます。

NC プログラム一括出力機能実行時には、"ALL" が表示されます。

対話プログラム出力機能または対話プログラム削除機能実行時には、対象となるプログラム番号が表示されます。

その他の通信機能実行時には、O 番号は表示されません。

5. ファイル名／メッセージ表示

NC プログラム入出力機能実行時には、入出力の対象となるパソコン側のファイル名が表示されます。

メッセージ送信機能実行時には、送信したメッセージが表示されます。

NC プログラムリスト取得機能または NC プログラム削除機能実行時には、ファイル名は表示されません。

3-1-2 通信終了メッセージ

MORI-SERVER では、通信が成功すると図 A-135 のメッセージ表示部に、図 A-136 のように "Communication Success." と表示されます。

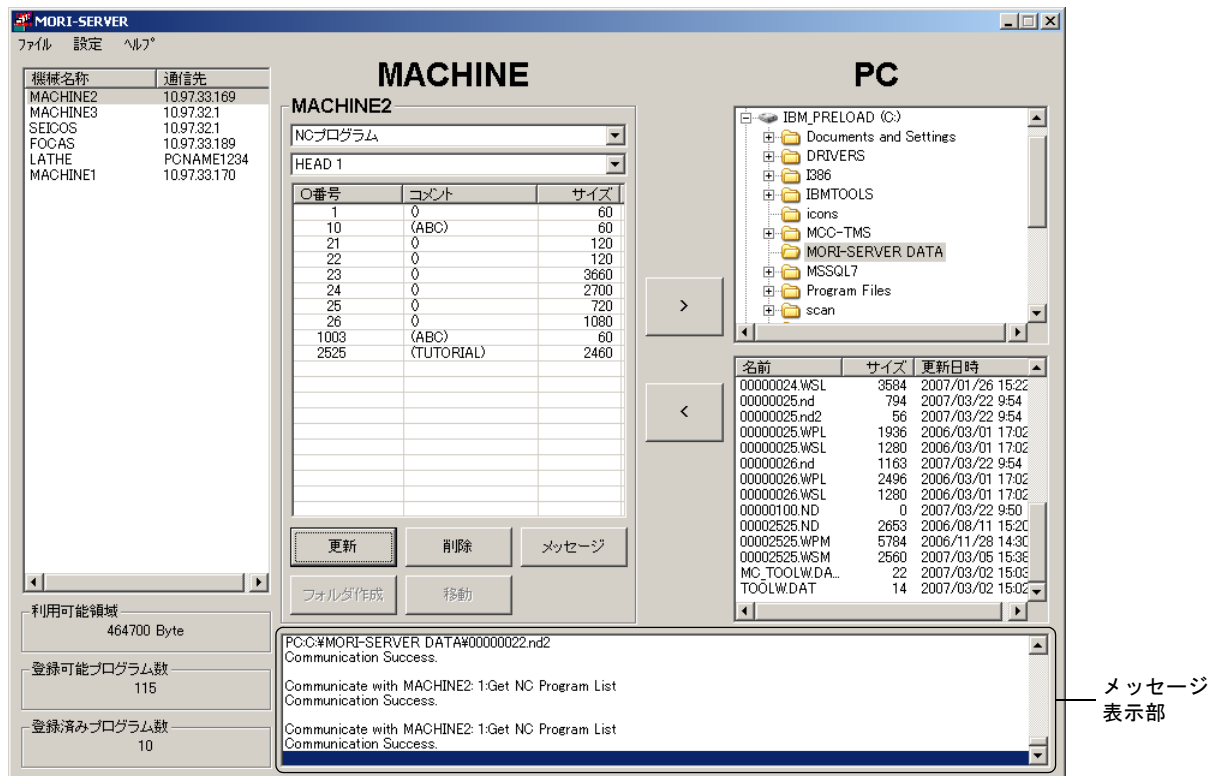


図 A-135

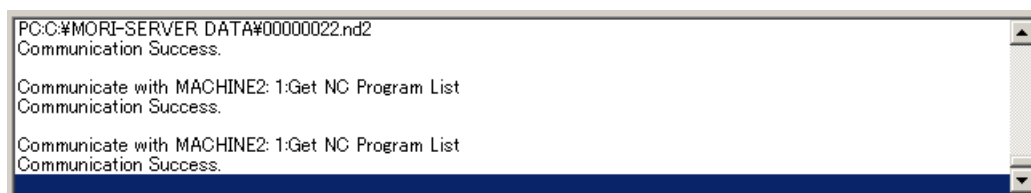


図 A-136

3-1-3 エラーメッセージ

MORI-SERVER は、通信に失敗した場合には失敗した内容を表すエラーメッセージを表示します。

4 エラーメッセージ

MORI-SERVER の通信エラーが発生した場合に考えられる原因およびエラーメッセージについて説明します。

4-1 エラーメッセージ表示

MORI-SERVER では、通信でエラーが発生すると、まず図 A-137 のようにメッセージボックスが表示され、エラー情報が表示されます。

その後、メッセージボックスの [OK] ボタンをクリックして、メッセージボックスを閉じると、図 A-138 のメッセージ表示部に、エラー情報が表示されます。

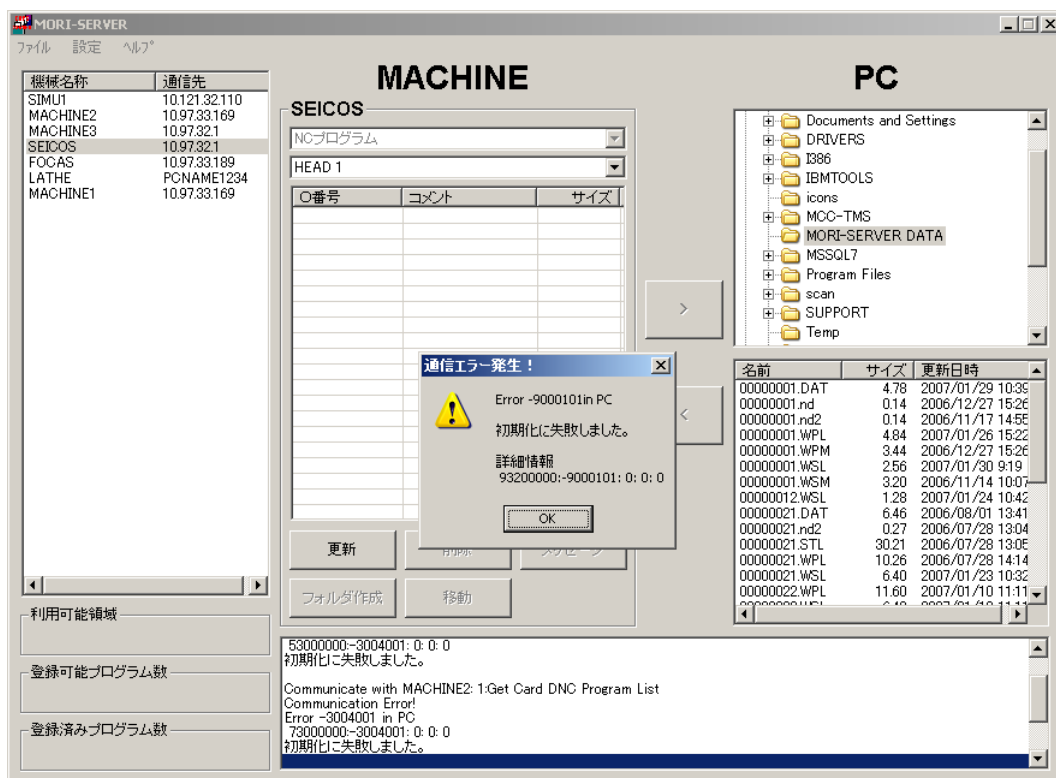


図 A-137

4-1-1 エラーメッセージの表示形式

ここでは、エラーメッセージの表示形式および表示内容について説明します。

<メッセージ表示部>

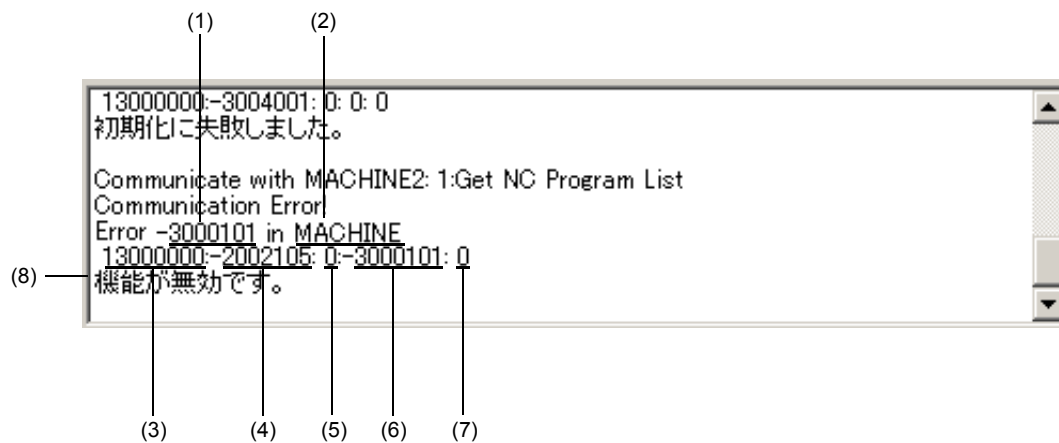


図 A-139

<メッセージボックス>

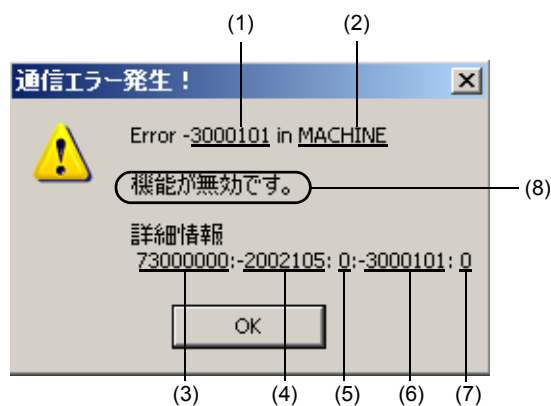


図 A-140

<表示内容>

番号	表示項目	内容
(1)	エラー番号	エラー発生原因を識別するための番号を表示します。
(2)	エラー発生対象	エラーが機械側で発生したのか、MORI-SERVER 側で発生したのかを表示します。
(3)	API 番号	エラー発生時に行っていた通信内容を識別するための番号を表示します。
(4)	API エラー番号	MORI-SERVER 側で認識したエラー番号を表示します。
(5)	API 詳細エラー番号	MORI-SERVER 側で詳細なエラー情報を認識した場合に、そのエラー番号を表示します。
(6)	機械側エラー番号	機械側で認識したエラー番号を表示します。
(7)	通信レベルエラー	通信内容や機械の状態による制限ではなく、通信自体のエラーが発生した場合に、エラーの情報を表示します。
(8)	エラーメッセージ	発生したエラーの内容を表すメッセージを表示します。

5 MAPPS 側メッセージ

MAPPS は MORI-SERVER との間で通信された内容や、簡易メッセージをオペレータに通知するために、MORI-SERVER との通信が完了するとメッセージボックスを表示します。



メッセージボックス表示中は、他の操作を行うことはできません。

メッセージの内容確認後、入力キー （入力）を押してメッセージボックスを閉じてください。

5-1 メッセージボックスの各表示部

ここでは、メッセージボックスに表示される項目およびその内容について説明します。



<画面表示項目>

番号	項目	内容
(1)	NC プログラム変更通知	NC プログラム個別入力機能、NC プログラム削除機能、NC プログラム一括入力機能などの NC 内の NC プログラムに変更を加える可能性のある通信が行われた場合に "NC PROG" を表示します。
(2)	IP アドレス	各メッセージの原因となる通信を行ったパソコンの IP アドレスをメッセージごとに表示します。
(3)	メッセージ	メッセージの内容を表示します。
(4)	通信情報	最大 5 件までの通信情報 (IP アドレスとメッセージ) を表示します。
(5)	追加通信情報通知	メッセージボックスが表示されている間に 6 件以上の通信が行われた場合、"MORE" を表示します。

6 MAPPS II/III/IV 側メッセージ

MAPPS II/III/IV は MORI-SERVER との間で通信された内容や、簡易メッセージをオペレータに通知するため、MORI-SERVER との通信が完了するとメッセージを送信します。

6-1 メッセージ画面

MAPPS II/III/IV でのメッセージ画面は、次のようにして開いてください。


- 1) MAPPS 側操作パネルの機能キー （メッセージ）を押します。

図 A-141 のような画面が表示されます

- 2) ソフトキー【アプリメッセージ】を押します。



図 A-141

図 A-142 のように "アプリケーションメッセージ" 画面が表示されます。

[illegible]

図 A-142

メッセージ画面に表示される項目及びその内容を以下に示します。

＜画面表示項目＞

項目	内容
受信日時	メッセージを受信した日時を表示します。日時の新しいものが上に、古いものが下になるように並べられます。
アプリケーション	メッセージを送信したアプリケーションを表示します。
メッセージ	メッセージの内容を表示します。



表示可能なメッセージは最大 50 件までです。

6-2 メッセージの優先順位

メッセージには"最低"、"低"、"普通"、"高"、"最高"の5段階の優先順位があります。既に50件のメッセージが登録された状態でさらにメッセージが送信された場合、登録されているメッセージの中に送信されたメッセージよりも優先順位が同じか低いメッセージがある場合、その中で優先順位が最も低く、最も受信日時の古いメッセージを削除し、新しいメッセージを登録します。



送信されたメッセージよりも優先順位が同じか低いメッセージがない（登録されている全てのメッセージの優先順位が送信メッセージよりも高い）場合、そのメッセージは MAPPS II/III/IV に登録されません。

6-3 メッセージ内容

メッセージ画面に表示されるメッセージの内容を以下に示します。

- 1. 出力 " (出力先ファイル名) " : (出力した O 番号)
 優先順位： 低
 内容： MORI-SERVER から NC プログラム出力の要求があり、" (出力先ファイル名) " に表示したファイルへ該当する NC プログラムを出力しました。



- 1. 個別出力の場合、(出力した O 番号) の部分に出力した NC プログラム番号を表示します。出力した NC プログラムが複数ある場合、図 A-143 (1) のようにコンマで区切って表示します。
 - 2. 出力する NC プログラム数が多すぎてメッセージ表示部に書ききれない場合、図 A-143 (2) のようにメッセージ末尾に "etc." を付加し、省略します。
 - 3. 出力先ファイル名は、最大半角 12 文字まで表示することができます。出力先ファイル名が半角 13 文字以上である場合、図 A-143 (3) のように最初の 10 文字に ".." を付加し、省略します。
 - 4. NC プログラム一括出力の場合、(出力した O 番号) の部分には O 番号の代わりに図 A-143 (4) および (5) のように "全プログラム" と表示されます。
- 2. プログラム個別出力に失敗しました
 - 3. プログラム一括出力に失敗しました
 優先順位： 低
 内容： MORI-SERVER から NC プログラム出力の要求がありましたが、該当する NC プログラムの送信に失敗しました。(図 A-143 (6), (7))

受信日時	アプリケーション	メッセージ	
2004/05/28 11:31:35	MORI-SERVER	出力 "NCProg.txt": 010,0500	(1)
2004/05/28 11:30:58	MORI-SERVER	出力 "ManyProg.txt": 010,050,080,0100 etc.	(2)
2004/05/28 11:30:11	MORI-SERVER	出力 "NCProgramW..": 0800	(3)
2004/05/28 11:29:08	MORI-SERVER	出力 "AllProg.txt": 全プログラム	(4)
2004/05/28 11:28:35	MORI-SERVER	出力 "AllProgram..": 全プログラム	(5)
2004/05/28 11:27:37	MORI-SERVER	プログラム個別出力に失敗しました	(6)
2004/05/28 11:27:22	MORI-SERVER	プログラム一括出力に失敗しました	(7)

図 A-143

4. 入力 " (入力元ファイル名) ": (入力した 0 番号)

優先順位： 最高

内容： MORI-SERVER から NC プログラム入力 of 要求があり、MORI-SERVER から送信されたファイルを受信し、NC プログラムを NC へ入力しました。



1. (入力した O 番号) の部分に入力された NC プログラム番号を表示します。入力した NC プログラムが複数ある場合、図 A-144 (1) のようにコンマで区切って表示します。
2. 入力された NC プログラム数が多すぎてメッセージ表示部に書ききれない場合、図 A-144 (2) のようにメッセージ末尾に "etc." を付加し、省略します。
3. 入力元ファイル名は、最大半角 12 文字まで表示することができます。入力元ファイル名が半角 13 文字以上である場合、図 A-144 (3) のように最初の 10 文字に ".." を付加し、省略します。

5. プログラム入力に失敗しました

優先順位： 最高

内容： MORI-SERVER から NC プログラム入力がありました、
MORI-SERVER から送信されたファイルの受信またはファイルに保存されて
いる NC プログラムの入力に失敗しました。(図 A-144 (4))

[illegible]

図 A-144

6. 削除：(削除した O 番号)

優先順位： 最高

内容： MORI-SERVER から NC プログラム削除の要求があり、該当する NC プログラムを削除しました。(図 A-145 (1))

7. プログラム削除に失敗しました

優先順位： 高

内容： MORI-SERVER から NC プログラム削除の要求がありましたが、該当する NC プログラムの削除に失敗しました。(図 A-145 (2))

受信日時	アプリケーション	メッセージ	
2004/05/28 11:47:20	MORI-SERVER	削除： 01000	(1)
2004/05/28 11:47:00	MORI-SERVER	プログラム削除に失敗しました	(2)

図 A-145

-
8. 出力 対話プログラム：(出力したプログラム番号)
優先順位： 低
内容： MORI-SERVER から対話プログラム出力の要求があり、該当する対話プログラムを出力しました。(図 A-146 (1))
9. 対話プログラムの出力に失敗しました
優先順位： 低
内容： MORI-SERVER から対話プログラム出力の要求がありましたが、該当する対話プログラムの送信に失敗しました。(図 A-146 (2))
10. 入力 対話プログラム：(入力したプログラム番号)
優先順位： 最高
内容： MORI-SERVER から対話プログラム入力の要求があり、MORI-SERVER から送信されたファイルを受信し、対話プログラムを MAPPS II/III/IV へ入力しました。(図 A-146 (3))
11. 対話プログラムの入力に失敗しました
優先順位： 最高
内容： MORI-SERVER から対話プログラム入力の要求がありましたが、MORI-SERVER から送信されたファイルの受信またはファイルに保存されている対話プログラムの入力に失敗しました。(図 A-146 (4))
12. 削除 対話プログラム：(削除した O 番号)
優先順位： 最高
内容： MORI-SERVER から対話プログラム削除の要求があり、該当する対話プログラムを削除しました。(図 A-146 (5))
13. 対話プログラムの削除に失敗しました
優先順位： 高
内容： MORI-SERVER から対話プログラム削除の要求がありましたが、該当する対話プログラムの削除に失敗しました。(図 A-146 (6))
14. 出力 工具ファイル：" (出力したファイル名) "
優先順位： 低
内容： MORI-SERVER から工具ファイル出力の要求があり、出力しました。(図 A-146 (7))



出力先ファイル名は、最大半角 12 文字まで表示することができます。出力先ファイル名が半角 13 文字以上である場合は、最初の 10 文字に ".." を付加し、省略します。

15. 対話パラメータの出力に失敗しました
優先順位： 低
内容： MORI-SERVER から対話データ出力の要求がありましたが、送信に失敗しました。(図 A-146 (8))

16. 入力 工具ファイル：" (入力したファイル名) "

優先順位： 最高

内容： MORI-SERVER から工具ファイル入力の要求があり、MORI-SERVER から送信されたファイルを受信し、工具ファイルを MAPPS II/III/IV へ入力しました。(図 A-146 (9))



入力元ファイル名は、最大半角 12 文字まで表示することができます。入力元ファイル名が半角 13 文字以上である場合は、最初の 10 文字に ".." を付加し、省略します。

17. 対話パラメータの入力に失敗しました

優先順位： 最高

内容： MORI-SERVER から対話データ入力の要求がありましたが、MORI-SERVER から送信されたファイルの受信またはファイルに保存されている対話データの入力に失敗しました。(図 A-146 (10))

受信日時	アプリケーション	メッセージ	
2004/12/03 15:57:09	MORI-SERVER	出力 対話プログラム: 00000103	(1)
2004/12/03 15:57:04	MORI-SERVER	対話プログラムの出力に失敗しました	(2)
2004/12/03 15:56:50	MORI-SERVER	入力 対話プログラム: 00000251	(3)
2004/12/03 15:56:38	MORI-SERVER	対話プログラムの入力に失敗しました	(4)
2004/12/03 15:56:15	MORI-SERVER	削除 対話プログラム: 00003009	(5)
2004/12/03 15:55:58	MORI-SERVER	対話プログラムの削除に失敗しました	(6)
2004/12/03 16:07:56	MORI-SERVER	出力 工具ファイル: "LATHE_TOOLW.DAT"	(7)
2004/12/03 16:06:57	MORI-SERVER	対話パラメータの出力に失敗しました	(8)
2004/12/03 15:55:38	MORI-SERVER	入力 工具ファイル: "TOOLW.DAT"	(9)
2004/12/03 15:53:14	MORI-SERVER	対話パラメータの入力に失敗しました	(10)

図 A-146

6-4 優先順位 " 最高 " のメッセージの更新

優先順位 " 最高 " のメッセージが 50 件 MAPPS II/III/IV に登録済みの状態では、優先順位 " 最高 " のメッセージを送信する操作（プログラムの入力と削除）は実行を許可されたもののみ行うことができます。これらの操作の許可／禁止は、MAPPS パラメータにより設定します。

MAPPS パラメータ画面は、次のようにして開いてください。

- 1) MAPPS 側操作パネルの機能キー 保守（保守）を押します。

図 A-151 のような画面が表示されます。

- 2) メニュー切替えキー **【<】** を押します。

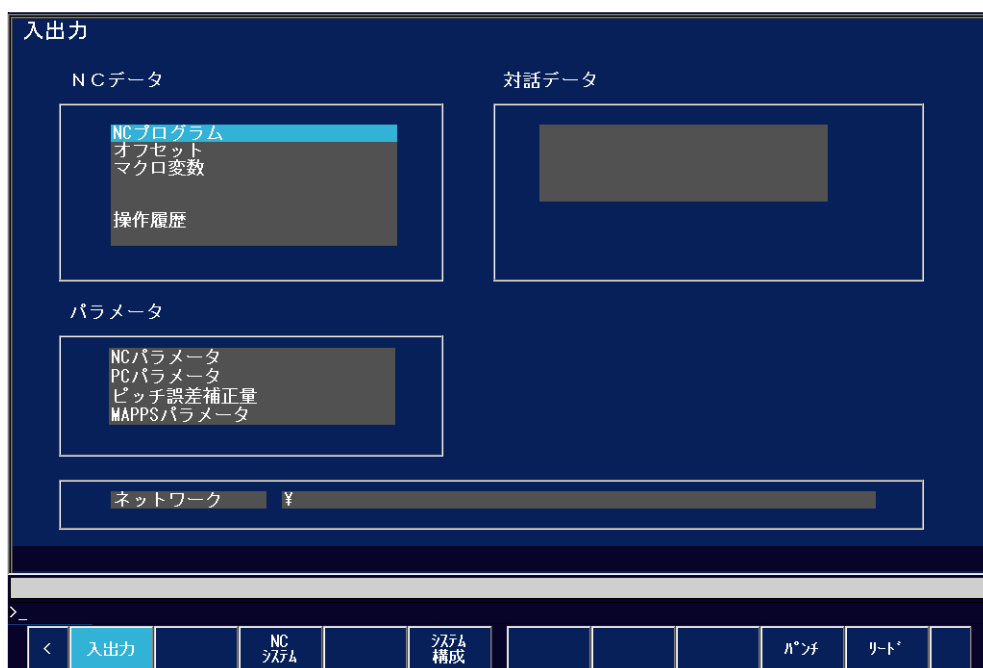


図 A-151

ソフトキーが図 A-152 のように変化します。

- 3) ソフトキー **【MAPPS パラメータ】** を押します。



図 A-152

画面が図 A-153 のように変化します。

- 4) "357" と入力し、ソフトキー【No.サーチ】を押します。

MAPPSパラメータ

										BIT TYPE								1/51	
No.	7	6	5	4	3	2	1	0	SUM	No.	7	6	5	4	3	2	1	0	SUM
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3	0	0	0	0	0	0	0	0	1	19	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	22	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	23	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	26	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	27	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	28	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	29	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	31	0	0	0	0	0	0	0	0	0

>357

< MAPPSパラメータ 通信設定 No.サーチ 設定

図 A-153

画面が図 A-154 のように変化します。

MAPPSパラメータ

										BIT TYPE								12/51	
No.	7	6	5	4	3	2	1	0	SUM	No.	7	6	5	4	3	2	1	0	SUM
352	0	0	0	0	0	0	0	0	0	368	0	0	0	0	0	0	0	0	0
353	0	0	0	0	0	0	0	0	0	369	0	0	0	0	0	0	0	0	0
354	0	0	0	0	0	0	0	0	0	370	0	0	0	0	0	0	0	0	0
355	0	0	0	0	0	0	0	0	0	371	0	0	0	0	0	0	0	0	0
356	0	0	0	0	0	0	0	0	0	372	0	0	0	0	0	0	0	0	0
357	0	0	0	0	1	1	1	1	15	373	0	0	0	0	0	0	0	0	0
358	0	0	0	0	0	0	0	0	0	374	0	0	0	0	0	0	0	0	0
359	0	0	0	0	0	0	0	0	0	375	0	0	0	0	0	0	0	0	0
360	0	0	0	0	0	0	0	0	0	376	0	0	0	0	0	0	0	0	0
361	0	0	0	0	0	0	0	0	0	377	0	0	0	0	0	0	0	0	0
362	0	0	0	0	0	0	0	0	0	378	0	0	0	0	0	0	0	0	0
363	0	0	0	0	0	0	0	0	0	379	0	0	0	0	0	0	0	0	0
364	0	0	0	0	0	0	0	0	0	380	0	0	0	0	0	0	0	0	0
365	0	0	0	0	0	0	0	0	0	381	0	0	0	0	0	0	0	0	0
366	0	0	0	0	0	0	0	0	0	382	0	0	0	0	0	0	0	0	0
367	0	0	0	0	0	0	0	0	0	383	0	0	0	0	0	0	0	0	0

>

< MAPPSパラメータ 通信設定 No.サーチ 設定

図 A-154

5) MAPPS パラメータ No. 357, 358 の各ビットの設定を行います。

各ビットは、それぞれ以下の設定を行います。値が 1 であれば許可、0 であれば禁止を意味します。

MAPPS パラメータ	ビット	内容
357	0	ユーザ 1 の NC プログラムの書込み
	1	ユーザ 1 の NC プログラムの削除
	2	ユーザ 2 の NC プログラムの書込み
	3	ユーザ 2 の NC プログラムの削除
	4	ユーザ 1 の対話プログラム・工具ファイルの書込み
	5	ユーザ 1 の対話プログラムの削除
	6	ユーザ 2 の対話プログラム・工具ファイルの書込み
	7	ユーザ 2 の対話プログラムの削除
358	0	ユーザ 1 のカード DNC/ESPRIT 領域へのファイルの書込み
	1	ユーザ 1 のカード DNC/ESPRIT 領域のファイルの削除
	2	ユーザ 2 のカード DNC/ESPRIT 領域へのファイルの書込み
	3	ユーザ 2 のカード DNC/ESPRIT 領域のファイルの削除
	4	使用しません
	5	使用しません
	6	使用しません
	7	使用しません



1. デフォルト設定は全て "0" となっています。
2. 全て "禁止" に設定すると、優先順位 "最高" のメッセージはオペレータがクリアするまで削除されなくなるため、NC プログラムの変更についてメッセージを確実にオペレータに伝えることができます。



不必要な MAPPS パラメータの変更は決して行わないでください。正常な動作を保証できない場合があります。

6) ソフトキー【設定】を押し、設定の変更を保存します。

6-5 メッセージのクリア

メッセージのクリアは次のようにして行います。

- 1) 図 A-142 の画面の状態で、ソフトキー【クリア】を押します。
ソフトキーが図 A-155 のように変化します。
- 2) ソフトキー【実行】を押します。



図 A-155

7 機械との接続

この章では、MORI-SERVER が動作する PC と機械との接続方法について説明します。

7-1 出荷時の設定

機械出荷時の IP アドレスは、表 A-1 のように設定されています。機械の IP アドレスは変更することができます。



機械の IP アドレスの設定方法については、1-4-2-1 "TCP/IP パラメータの設定" (58 ページ) を参照してください。

表 A-1 IP アドレス出荷時設定

	IP アドレス	サブネットマスク	デフォルト ゲートウェイ
通信モジュール*	不要	不要	不要
機械	192.168.0.10	255.255.255.0	192.168.0.1



* MORI-NET Global Edition を使用しない場合、通信モジュールはありません。

7-2 接続方法

MORI-SERVER が動作する PC と機械との接続にハブを使用するかどうかにより、接続方法や準備する周辺機器が異なります。

7-2-1 ハブを使用しない場合

ハブを使用せず機械と PC を直接接続する場合は、LAN ケーブルにクロスケーブルを使用します。制御盤内の Ethernet コネクタから PC までクロスケーブルで接続してください。

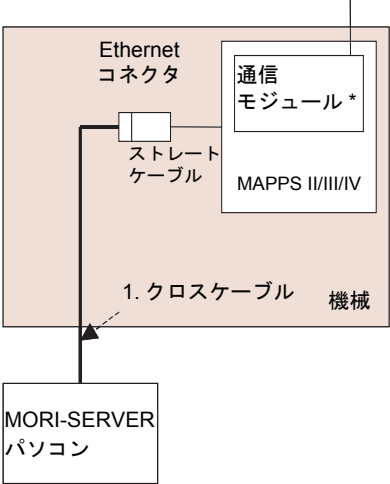


図 A-156 接続図（ハブを使用する場合）



1. * MORI-NET Global Edition を使用しない場合、通信モジュールはありません。
2. 以下の周辺機器の購入が必要です。

表 A-2 必要な周辺機器（ハブを使用しない場合）

番号	品名	個数
1	LAN ケーブル（クロス）	1 本

7-2-2 ハブを使用する場合

ハブを介して機械と PC を接続する場合は、LAN ケーブルにストレートケーブルを使用します。
以下の手順に従って接続してください。

<手順>

- 1) 制御盤内の Ethernet コネクタからハブまでストレートケーブルで接続します。
- 2) ハブから PC までストレートケーブルで接続します。
- 3) 接続したストレートケーブルに対応するハブのリンクランプが点灯していることを確認します。

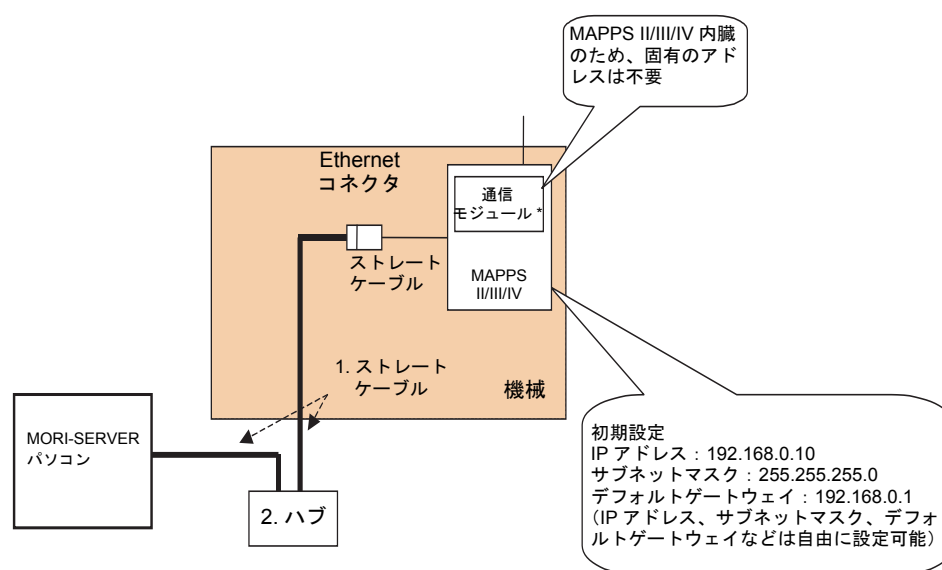


図 A-157 接続図（ハブを使用する場合）



1. * MORI-NET Global Edition を使用しない場合、通信モジュールはありません。
2. 2 台以上の機械を MORI-SERVER が動作する 1 台の PC と接続する場合は、1) と同様に他の機械からハブまでストレートケーブルで接続してください。
3. 以下の周辺機器の購入が必要です。

表 A-3 必要な周辺機器（ハブを使用する場合）

番号	品名	個数
1	LAN ケーブル（ストレート）	2 本
2	ハブ	1 台

8 ネットワーク構成例

MORI-SERVER を使用するためのネットワーク構成の一例を説明します。

8-1 パソコン 1 台、工作機械 2 台を接続する

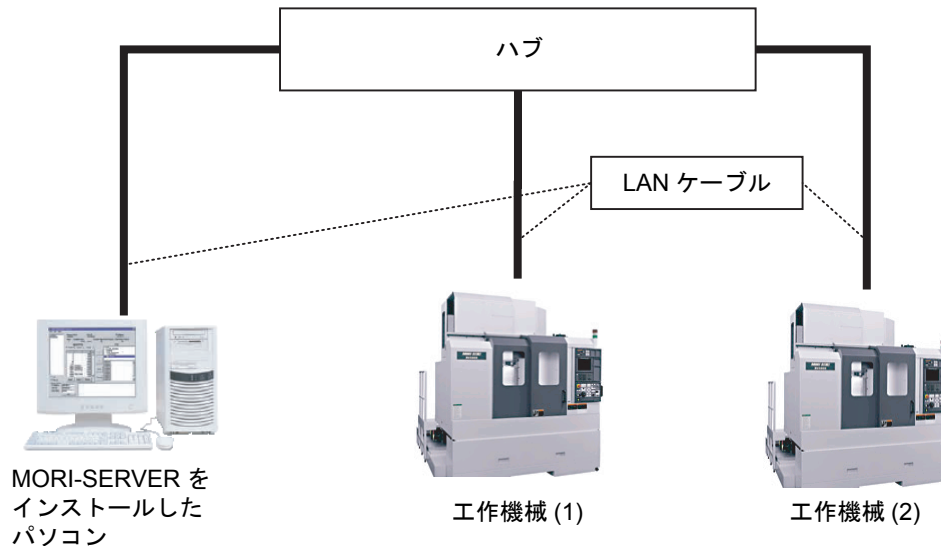
インターネットを使用せずに、パソコンと工作機械だけのネットワークを構築する例を説明します。

表 A-4 必要な周辺機器

番号	品名	個数
1	ハブ、またはハブ機能搭載のルータ（接続するパソコン、工作機械などに必要な分のポート数を備えているもの）	1 台
2	LAN ケーブル（ストレートケーブル、カテゴリ 5 以上）	3 本

8-1-1 ネットワークの接続

以下のように、ハブ、パソコン、工作機械を LAN ケーブルで接続してください。



8-1-2 ネットワークの設定

8-1-2-1 パソコンの設定例

以下の手順で、表 A-5 のようにパソコンの設定をしてください。

< Windows XP の場合 >

- 1) スタートメニューから、" コントロールパネル " – " ネットワークとインターネット接続 " – " ネットワーク接続 " を開きます。
- 2) ローカルエリア接続を選択し、[プロパティ] を開きます。
- 3) インターネット プロトコル (TCP/IP) を選択し、[プロパティ] を開きます。
- 4) 各項目を設定し、[OK] ボタンをクリックします。

< Windows Vista の場合 >

- 1) スタートメニューから、" コントロールパネル " – " ネットワークとインターネット " – " ネットワークと共有センター " – " ネットワーク接続の管理 " を開きます。
- 2) ローカルエリア接続を選択し、[プロパティ] を開きます。
- 3) インターネット プロトコル バージョン 4 (TCP/IPv4) を選択し、[プロパティ] を開きます。
- 4) 各項目を設定し、[OK] ボタンをクリックします。

< Windows 7 の場合 >

- 1) スタートメニューから、" コントロールパネル " – " ネットワークと共有センター " – " アダプターの設定の変更 " を開きます。
- 2) ローカルエリア接続を選択し、[プロパティ] を開きます。
- 3) インターネットプロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4) を選択し、[プロパティ] を開きます。
- 4) 各項目を設定し、[OK] ボタンをクリックします。



パソコンの設定方法は動作環境により異なりますので、詳しくはパソコンのヘルプを参照してください。

表 A-5

	IP アドレス	サブネットマスク	デフォルト ゲートウェイ	DNS 設定
パソコン	192.168.0.10	255.255.255.0	不要	不要

8-1-2-2 工作機械の設定例

下記表 A-6 のように設定してください。



設定方法については、1-4 " 機械側設定 " (49 ページ) を参照してください。

表 A-6

	IP アドレス	サブネットマスク	デフォルト ゲートウェイ	DNS 設定
工作機械 (1)	192.168.0.11	255.255.255.0	不要	172.24.33.225
工作機械 (2)	192.168.0.12	255.255.255.0	不要	172.24.33.225

B 章

MORI-SERVER (DSN)

この章では、MORI-SERVER (DSN) のセットアップ、設定、操作の方法について説明します。

目次

B : MORI-SERVER (DSN)

1	セットアップ	171
1-1	MORI-SERVER (DSN) の初期設定	171
2	MORI-SERVER (DSN) の操作方法	173
2-1	MORI-SERVER (DSN) の起動	173
2-2	MORI-SERVER (DSN) の通信の操作	175
2-3	MORI-SERVER (DSN) の終了	176
2-4	MORI-SERVER (DSN) のバージョン情報の確認	177
2-5	通信パラメータ設定	178
2-5-1	Port	179
2-5-2	Time Out	179
2-6	ログ設定	180
2-6-1	Log Level	181
2-6-2	Log File	181
2-7	ファイル入出力設定	182
2-7-1	File Path Check	183
2-7-2	File Overwrite	183
2-8	IP アドレス認証機能設定	184
2-8-1	IP Address Check	185
2-8-2	IP Address	185
3	MAPPS 側パラメータ設定	186
3-1	ポート番号	186
3-2	サーバディレクトリ	186
3-3	ユーザー ID	187
3-4	パスワード	187
3-5	ドメイン名	187

4	MAPPS II/III/IV 側パラメータ設定.....	188
4-1	MORI-DSN 機能設定.....	188
4-1-1	ポート番号.....	190
4-1-2	応答待ち時間.....	190
4-1-3	通信先 IP アドレス.....	190
4-1-4	通信先ディレクトリ.....	191
4-1-5	ユーザー ID.....	191
4-1-6	パスワード.....	191
4-2	通信先フォルダの設定.....	192
4-3	フォルダツリー表示の設定.....	195
5	通信ログ.....	199
5-1	通信メッセージ.....	199
5-2	通信ログ形式.....	200
5-3	関数コード.....	201
5-4	メッセージコード.....	201
5-5	通信ログの例.....	202
6	ネットワークドライブ.....	203
6-1	PC 側設定.....	203
6-2	MAPPS II/III/IV 側設定.....	203
6-2-1	ネットワークドライブ機能.....	207
6-2-2	コンピュータ名／IP アドレス.....	207
6-2-3	共有フォルダ名.....	208
6-2-4	ユーザ名.....	208
6-2-5	パスワード.....	208

1 セットアップ

1-1 MORI-SERVER (DSN) の初期設定

MORI-SERVER (DSN) のインストール終了後、下記の手順に従って MORI-SERVER (DSN) の初期設定を行ってください。

- 1) 以下のいずれかの方法により、MORI-SERVER (DSN) を起動します。
 - a. "スタートメニュー" - "プログラム" - "MORI-SERVER" の中から "MORI-DSN" をクリックします。
 - b. デスクトップに作成された、MORI-SERVER (DSN) のアイコン (ショートカット) をダブルクリックします。
 - c. エクスプローラを起動し、先ほどインストールしたフォルダの中の "MORIDSN.EXE" をダブルクリックします。

画面左下に図 B-1 のようなウインドウが表示されます。

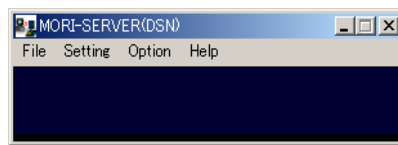


図 B-1

しばらくすると "socket initialize OK" とメッセージが表示されます (図 B-2)。



図 B-2

- 2) "Setting" のプルダウンメニューより "Communication" をクリックします。



図 B-3

図 B-4 のように "Communication Parameter" のダイアログボックスが表示されます。

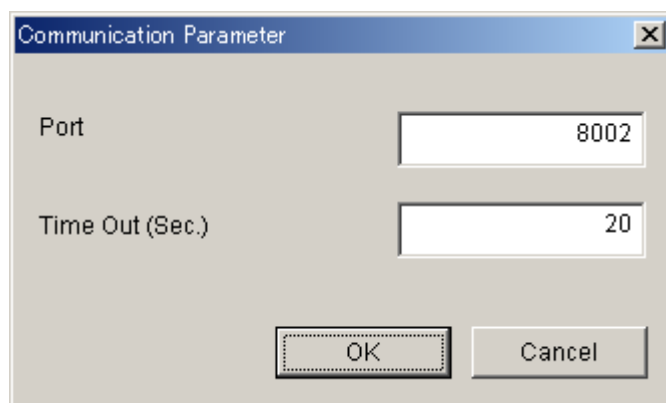


図 B-4

- 3) "Port" が "8002" になっているのを確認します。
"8002" でない場合は、"8002" と半角文字で入力します。
- 4) "Time Out" の時間を設定します。
通信のタイムアウトまでの時間（秒）を半角文字で入力してください。



1. 実際のタイムアウトとは異なることがあります。
2. 20 秒以上に設定してください。設定時間が短すぎると、処理に時間がかかった場合に、タイムアウトしてしまう可能性があります。

- 5) ログ設定を行います。



詳細については、2-6 "ログ設定"（180 ページ）を参照してください。

- 6) ファイル入出力設定を行います。



詳細については、2-7 "ファイル入出力設定"（182 ページ）を参照してください。

- 7) IP アドレス認証機能設定を行います。



詳細については、2-8 "IP アドレス認証機能設定"（184 ページ）を参照してください。

以上で、初期設定が完了しました。

2 MORI-SERVER (DSN) の操作方法

2-1 MORI-SERVER (DSN) の起動

MORI-SERVER (DSN) は、EXE ファイル "MORIDSN.EXE" を実行することにより、起動します。以下に代表的な起動方法を示します。

1. スタートメニューからの起動

"スタートメニュー" - "プログラム" - "MORI-SERVER" の中から "MORI-DSN" をクリックします。

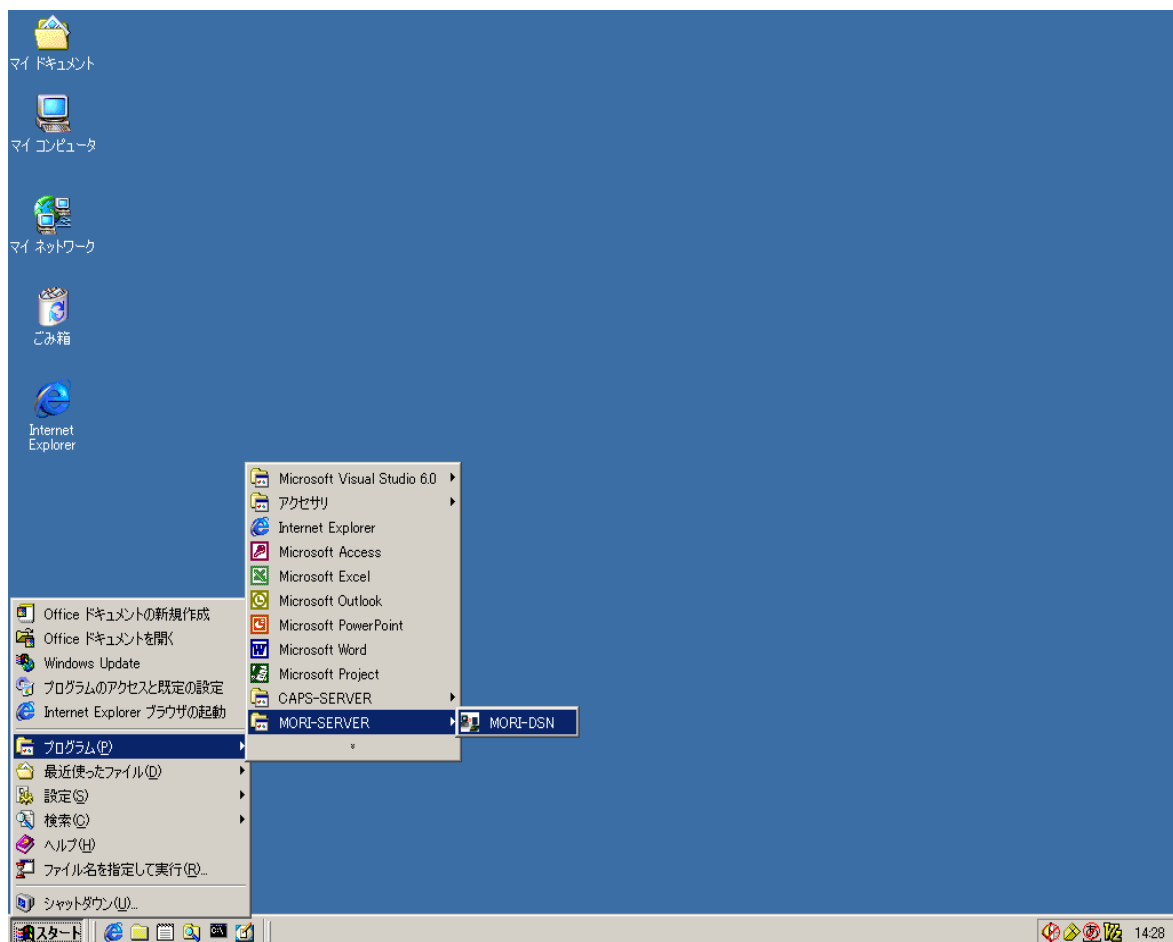


図 B-5

2. デスクトップからの起動

デスクトップに作成された MORI-SERVER (DSN) のアイコン（ショートカット）をダブルクリックします。

画面左下に図 B-6 のようなウインドウが表示されます。



図 B-6

しばらくすると、"socket initialize OK" と表示されます（図 B-7）。



図 B-7

以上で MORI-SERVER (DSN) の起動は完了しました。

2-2 MORI-SERVER (DSN) の通信の操作

MORI-SERVER (DSN) の起動後、通信を行うために特に操作は必要ありません。MAPPS 側からの接続に対して、自動的に本ソフトが対応します。ウインドウには通信状況に応じたメッセージが表示されます。



メッセージについての詳細は、5 "通信ログ" (199 ページ) を参照してください。

MORI-SERVER (DSN) が起動されると、画面右下のタスクトレイにアイコン (図 B-8) が表示されます。



図 B-8

MAPPS との通信が始まると、アイコンの窓の部分に緑色になり (図 B-9)、現在通信中であることを示します。



図 B-9

2-3 MORI-SERVER (DSN) の終了

- 1) "File" のプルダウンメニューより "Exit" をクリックします。



図 B-10

図 B-11 のように終了確認のダイアログボックスが表示されます。




図 B-11

- 2) [OK] ボタンをクリックします。

以上で、MORI-SERVER (DSN) は終了します。



"MORI-SERVER (DSN)" のウインドウの右上の  をクリックした場合は、終了確認のダイアログボックスが表示されずに、MORI-SERVER (DSN) が終了します。

2-4 MORI-SERVER (DSN) のバージョン情報の確認

- 1) "Help" のプルダウンメニューより "Version" をクリックします。



図 B-12

図 B-13 のように "MORI-SERVER (DSN) Version Information" のダイアログボックスが表示されます。



図 B-13

- 2) [OK] ボタンをクリックすると、ダイアログボックスが閉じます。

2-5 通信パラメータ設定

- 1) "Setting" のプルダウンメニューより "Communication" をクリックします。



図 B-14

図 B-15 のように "Communication Parameter" のダイアログボックスが表示されます。

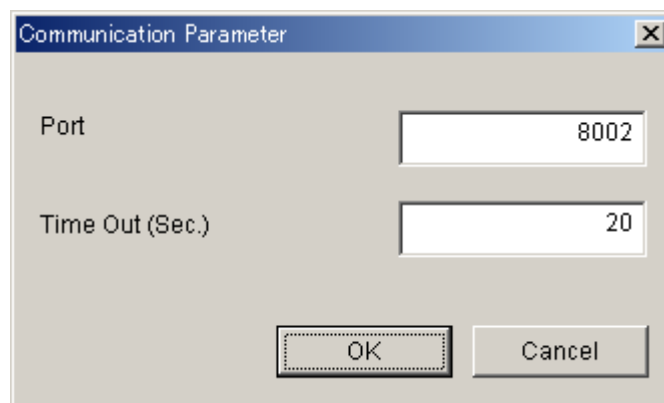


図 B-15

- 2) 各項目を入力します。



各項目の詳細については、2-5-1 "Port" (179 ページ) および 2-5-2 "Time Out" (179 ページ) を参照してください。

- 3) [OK] ボタンをクリックします。

入力したパラメータが反映され、ダイアログボックスが閉じます。



1. "Port" を変更した場合は、MORI-SERVER (DSN) を一度終了させ、再度起動してください。再起動するまでは、"Port" の変更は有効になりません。
2. [Cancel] ボタンをクリックすると、入力したパラメータを反映せずに、ダイアログボックスが閉じます。

2-5-1 Port

通信に使用するポート番号を指定します。



1. 半角数字で入力してください。
2. 通常はデフォルトの "8002" を使用してください。他のソフトウェアがそのポートを既に使用している場合のみ、本パラメータを変更してください。
3. 本パラメータの変更を有効にするには、MORI-SERVER (DSN) の再起動が必要です。
4. 本パラメータは Administrator 権限を持つユーザのみ変更可能です。



本パラメータの変更は、ネットワークについての知識を十分に有する方が行ってください。他のソフトウェアが使用するポート番号を指定すると、他のソフトウェアで問題が生じる危険性があります。一般に大きな番号（8000 番台以上）のご使用をお勧めします。



本パラメータを変更した場合、MAPPS 側のポート番号も本パラメータと同じ値を指定してください。本パラメータと MAPPS 側のポート番号が異なると、通信はできません。

2-5-2 Time Out

通信がタイムアウトするまでの時間を指定します。



1. 半角数字で入力してください。
2. このパラメータが小さい場合、処理に時間がかかったときに、タイムアウトしてしまう可能性がありますので、20 秒以上に設定してください。
3. 実際のタイムアウトまでの時間と異なる場合があります。

2-6 ログ設定

- 1) "Setting" のプルダウンメニューより "Log" をクリックします。



図 B-16

図 B-17 のように "MORI-SERVER (DSN) Log Parameter" のダイアログボックスが表示されます。

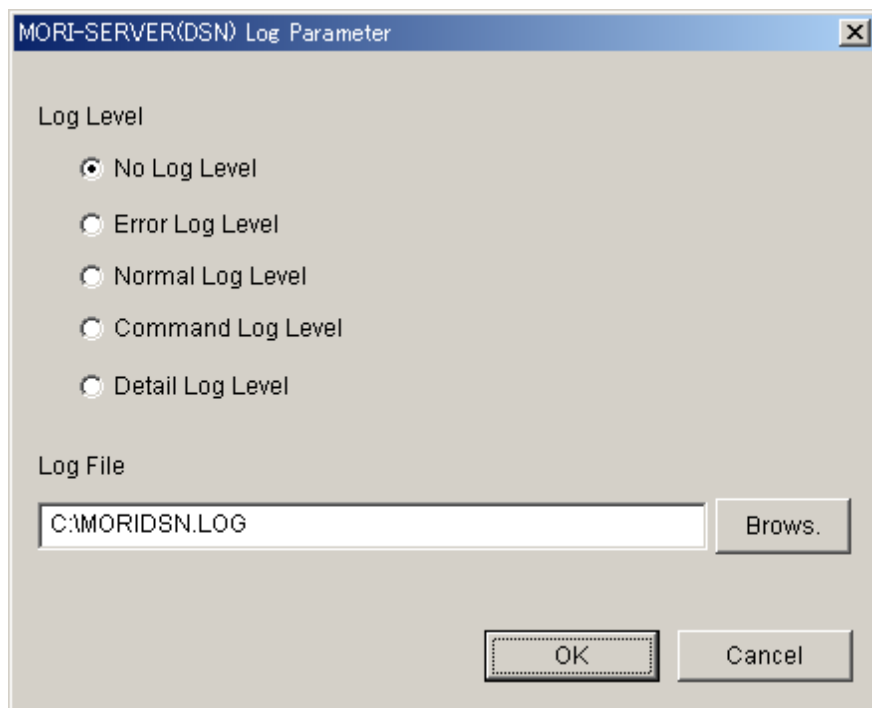


図 B-17

- 2) 各項目を入力します。



詳細については、2-6-1 "Log Level" (181 ページ) および 2-6-2 "Log File" (181 ページ) を参照してください。

- 3) [OK] ボタンをクリックします。

入力したパラメータが反映され、ダイアログボックスが閉じます。



[Cancel] ボタンをクリックすると、入力したパラメータを反映せずに、ダイアログボックスが閉じます。

2-6-1 Log Level

ログファイルの出力レベルを指定します。

- No Log Level

ログの出力を行いません。

- Error Log Level

通信エラーなどのエラーが発生した場合のみ、ログを出力します。

- Normal Log Level

Error Log Level で出力されるログに加え、フォルダ作成やファイルのアップロード・ダウンロードを行った場合にログを出力します。

- Command Log Level

Normal Log Level で出力されるログに加え、MAPPS II/III/IV より指令を受けた場合、その指令の内容のログを出力します。

- Detail Log Level

Command Log Level で出力されるログに加え、エラー内容に関するより詳細な情報のログを出力します。



Normal Log Level を設定しておく、ファイルアクセスに関するアクセスログとして使用できるログが作成されます。



ログの内容については、5 "通信ログ" (199 ページ) を参照してください。

2-6-2 Log File

ログファイルの出力先をフルパスで指定します。



ログファイルについては、5 "通信ログ" (199 ページ) を参照してください。

2-7 ファイル入出力設定

- 1) "Option" のプルダウンメニューより "File I/O" をクリックします。



図 B-18

図 B-19 のように "File Input/Output Parameter" のダイアログが開かれます。

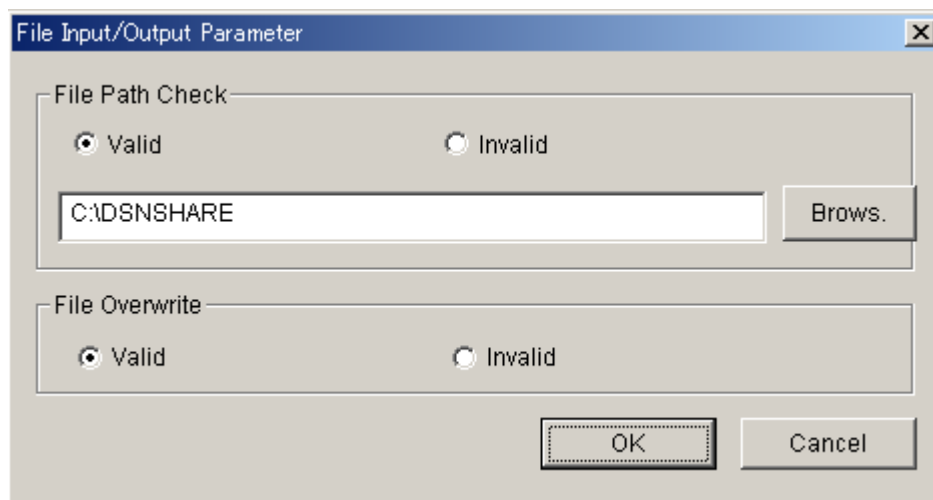


図 B-19

- 2) 各項目を入力します。



各項目の詳細については、2-7-1 "File Path Check" (183 ページ) および 2-7-2 "File Overwrite" (183 ページ) を参照してください。

- 3) [OK] ボタンをクリックします。

入力したパラメータが反映され、ダイアログボックスが閉じます。



[Cancel] ボタンをクリックすると、入力したパラメータを反映せずに、ダイアログボックスが閉じます。

2-7-1 File Path Check

MAPPS II/III/IV 側からの通信先の制限の有効・無効を選択します。

本機能が有効である場合、MAPPS II/III/IV はここで指定されたフォルダもしくはそれ以下の階層のフォルダにのみアクセスすることができます。



フォルダを指定する時、パスの末尾に "¥" を付けないでください。

2-7-2 File Overwrite

ファイルの上書きの許可・禁止を選択します。



この設定は、通信によってファイル内容が上書きされる（既存のファイル内容が失われる）場合にのみ有効です。既存のファイル内容の末尾にデータを追加する通信（DPRINT 機能など）の場合は、この設定に関わらず書込みを行います。

2-8 IP アドレス認証機能設定

- 1) "Option" のプルダウンメニューより "IP Address" をクリックします。



図 B-20

図 B-21 のように "IP Address Check" のダイアログボックスが開かれます。

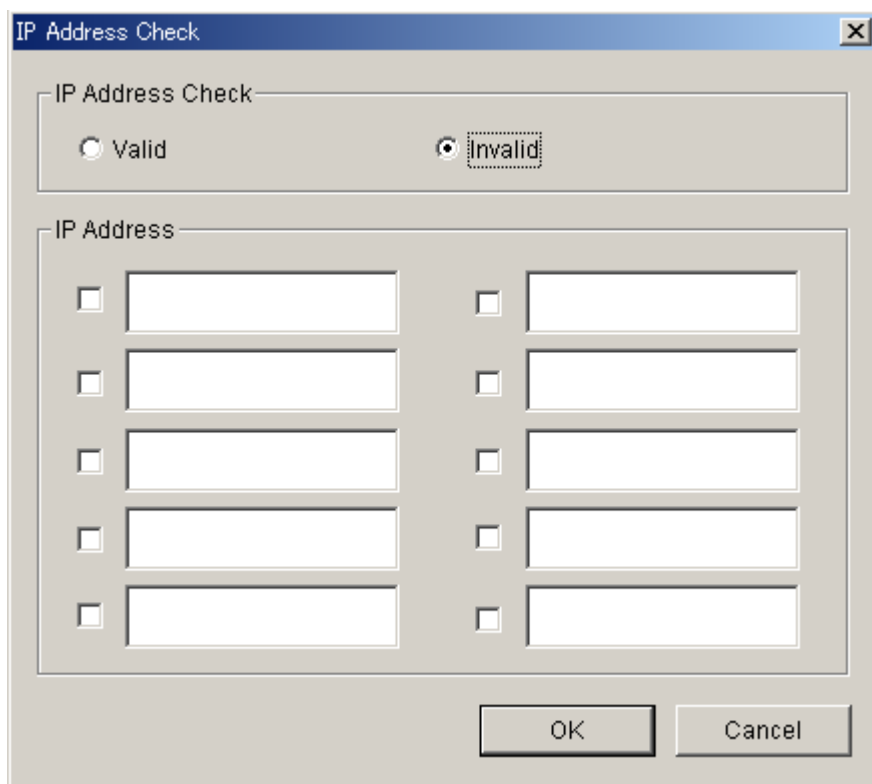


図 B-21

- 2) 各項目を入力します。



各項目の詳細については、2-8-1 "IP Address Check" (185 ページ) および 2-8-2 "IP Address" (185 ページ) を参照してください。

- 3) [OK] ボタンをクリックします。

入力したパラメータが反映され、ダイアログボックスが閉じます。



[Cancel] ボタンをクリックすると、入力したパラメータを反映せずに、ダイアログボックスが閉じます。

2-8-1 IP Address Check

IP アドレス認証機能の使用・未使用を選択します。

2-8-2 IP Address

IP アドレス認証機能の使用が選択された場合、登録された IP アドレスのうちチェックボックスにチェックの入った IP アドレスからの通信のみを許可します。



本設定ではワイルドカード "*" の使用が可能です。ワイルドカードを使用する場合は、"xxx.xxx.xxx.*" というような形で、8 ビット区切りのうちの 1 つの区切りを "*" で置き替えるようにして使用してください。"xxx.xxx.*" や "xxx.xxx.xxx.1*" というような記述は、使用できません。

3 MAPPS 側パラメータ設定

MAPPS 側で設定するネットワークパラメータで本製品との通信に関連するパラメータについて下記に示します。



MAPPS 側のソフトの版数によっては、表示される項目が追加されている場合がありますが、本ソフトでは使用しません。



A 章 1-4-1-1 "TCP/IP パラメータの設定"

3-1 ポート番号

MORI-SERVER (DSN) 側の port と同じ番号を指定してください。

3-2 サーバディレクトリ

本製品でサポートできるパス名は、ファイル名も含めて半角で 45 文字までです。



ファイル名は、8.3 形式（ファイル名最大 8 文字、拡張子最大 3 文字）です。ファイル名のための文字数を確保すると、パスとしては、最大 32 文字までしか設定できません。また、入出力先のフォルダの変更を可能とするためにも、ここで設定されるパス名は短くすることをお勧めします。



複数台の MAPPS と接続している場合、それぞれの MAPPS で設定するサーバディレクトリのパス名は、他の MAPPS で設定されているパス名以下のサブフォルダを設定しないでください。同じフォルダへのアクセスが生じ、データが破壊される可能性があります。

3-3 ユーザー ID

本製品との通信を行う場合は、"VER0100" を設定してください。



これは本製品についてのみ有効な設定です。MORI-SERVER (DSN) のバージョンが異なる場合は、その取扱説明書の指示に従って値を設定してください。

3-4 パスワード

本製品との通信を行う場合は、特に入力する必要はありません。



これは本製品についてのみ有効な設定です。MORI-SERVER (DSN) のバージョンが異なる場合は、その取扱説明書の指示に従って値を設定してください。

3-5 ドメイン名

本製品との通信を行う場合は、特に入力する必要はありません。



これは本製品についてのみ有効な設定です。MORI-SERVER (DSN) のバージョンが異なる場合は、その取扱説明書の指示に従って値を設定してください。

4 MAPPS II/III/IV 側パラメータ設定

4-1 MORI-DSN 機能設定



A 章 1-4-2-1 "TCP/IP パラメータの設定"

MAPPS II/III/IV での MORI-DSN 機能設定画面は、次のようにして開いてください。


- 1) MAPPS 側操作パネルの機能キー  (保守) を押します。

図 B-22 のような画面が表示されます。

- 2) メニュー切替えキー【<】を押します。



図 B-22

ソフトキーが図 B-23 のように変化します。

- 3) ソフトキー【通信設定】を押します。



図 B-23

図 B-24 のようにネットワーク機能設定画面が表示されます。

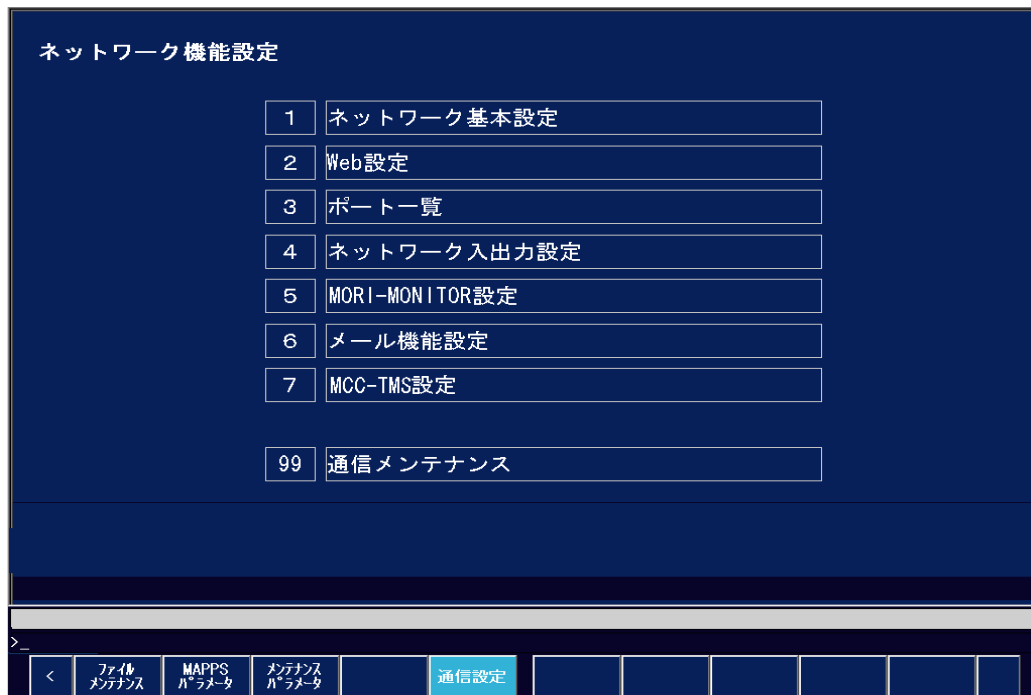


図 B-24



MAPPS II/III/IV の設定により、一部の項目が選択できない場合があります。

- 4) データ入力キーで "4" を入力します。
- 5) 入力キーを押します。

図 B-25 のように MORI-DSN 機能設定画面が表示されます。

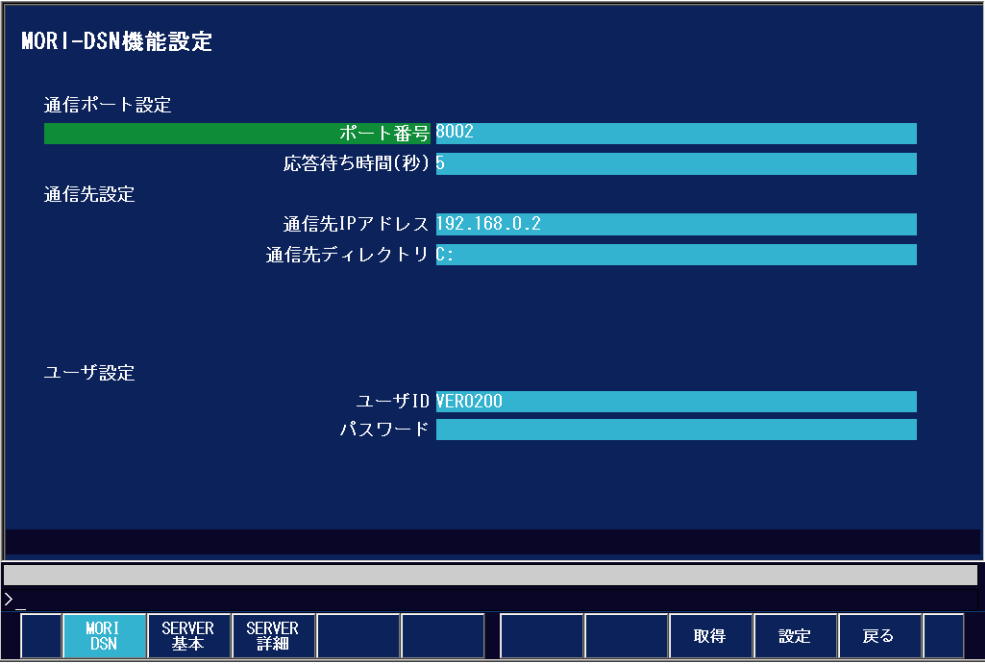


図 B-25



MAPPS 側のソフトの版数によっては、表示される項目が追加されている場合がありますが、本ソフトでは使用しません。

6) 各項目の設定を行います。



詳細については、下記項目を参照してください。

B 章 4-1-1 "ポート番号"

B 章 4-1-2 "応答待ち時間"

B 章 4-1-3 "通信先 IP アドレス"

B 章 4-1-4 "通信先ディレクトリ"

B 章 4-1-5 "ユーザー ID"

B 章 4-1-6 "パスワード"

7) ソフトキー【設定】を押します。

4-1-1 ポート番号

MORI-SERVER (DSN) 側の Port と同じ番号を指定してください。

4-1-2 応答待ち時間

通信がタイムアウトするまでの時間を指定します。



タイムアウトまでの設定時間が短すぎると、処理に時間がかかった場合にタイムアウトが発生する可能性があります。通常は 20 秒以上に設定してください。

4-1-3 通信先 IP アドレス

MORI-SERVER (DSN) 側の IP アドレスを指定してください。

4-1-4 通信先ディレクトリ

本製品でサポートできるパス名は、ファイル名も含めて半角で 45 文字までです。それを踏まえて設定してください。



ファイル名は、8.3 形式（ファイル名最大 8 文字、拡張子最大 3 文字）です。ファイル名のための文字数を確保すると、パスとしては、最大 32 文字までしか設定できません。

入出力先のフォルダの変更を可能とするためにも、ここで設定されるパス名は短くすることをお勧めします。



複数台の MAPPS と接続している場合、それぞれの MAPPS で設定するサーバーディレクトリのパス名は、他の MAPPS で設定されているパス名以下のサブフォルダを設定しないでください。同じフォルダへのアクセスが生じ、データが破壊される可能性があります。



パンチ（データ出力）を行う場合の通信先フォルダと、リード（データ入力）を行う場合の通信先フォルダを別々に設定することができます。詳細は、4-2 "通信先フォルダの設定"（192 ページ）を参照してください。

4-1-5 ユーザー ID

本製品との通信を行う場合は、"VER0200" と設定してください。



これは本製品についてのみ有効な設定です。MORI-SERVER (DSN) のバージョンが異なる場合は、その取扱説明書の指示に従って値を設定してください。

4-1-6 パスワード

本製品との通信を行う場合は、特に入力する必要はありません。



これは本製品についてのみ有効な設定です。MORI-SERVER (DSN) のバージョンが異なる場合は、その取扱説明書の指示に従って値を設定してください。

4-2 通信先フォルダの設定

ここでは、データをパンチ（出力）するフォルダとリード（入力）するフォルダを個々に設定する方法について説明します。以下の手順に従って設定してください。

- 1) MAPPS 側操作パネルの機能キー 保守（保守）を押します。

図 B-26 のような画面が表示されます。



図 B-26

- 2) メニュー切替えキー **【<】** を押します。
ソフトキーが図 B-27 のように変化します。



図 B-27

- 3) ソフトキー **【MAPPS パラメータ】** を押します。

- 4) MAPPS パラメータ No. 7 の 1 ビットを "1" に変更し、ソフトキー【設定】を押します。

MAPPSパラメータ


										BIT TYPE								1/51	
No.	7	6	5	4	3	2	1	0	SUM	No.	7	6	5	4	3	2	1	0	SUM
0	0	0	1	1	1	1	1	1	63	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1	0	0	0	0	0	0	1	1	3	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4	0	0	0	0	0	0	0	1	3	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	22	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7	0	0	0	0	0	0	1	0	2	23	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	26	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	27	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	28	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	29	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	31	0	0	0	0	0	0	0	0	0

データファイルの書き込みに成功しました。

>

< MAPPS パラメータ 通信設定 No.サーチ 設定

図 B-28

警告


パラメータの値は機械出荷時に各仕様に合わせて設定されています。弊社の取扱説明書に記載のないパラメータは変更しないでください。機械が予期せぬ動作をし、人身事故や機械の破損につながります。パラメータの変更が必要な場合は、弊社サービス部門に連絡してください。

- 5) MAPPS パラメータの設定変更後、MORI-DSN 機能設定画面を表示させます。通信先設定の表示が図 B-28 のように変更されていることを確認します。



画面の表示方法については、4-1 "MORI-DSN 機能設定" (188 ページ) を参照してください。

MORI-DSN機能設定

通信ポート設定

ポート番号8002

応答待ち時間(秒)5

(1)通信先設定(パンチ)

通信先IPアドレス192.168.0.101

通信先ディレクトリC:\MORIDSN

(2)通信先設定(リード)

通信先IPアドレス192.168.10.65

通信先ディレクトリC:

ユーザ設定

ユーザIDVER0200

パスワード

>

MORI DSN

SERVER 基本

SERVER 詳細

取得

設定

戻る

図 B-29

<画面表示項目>

番号	表示項目	内容
(1)	通信先設定 (パンチ)	パンチ (データ出力) を行う際に通信する PC の IP アドレスとフォルダを指定します。
(2)	通信先設定 (リード)	リード (データ入力) を行う際に通信する PC の IP アドレスとフォルダを指定します。



データ形式、注意事項などについては、4-1 "MORI-DSN 機能設定" (188 ページ) を参照してください。

- 6) 入出力画面の " ネットワーク " 欄の通信先フォルダの表示が、図 B-30 のように変更されていることを確認してください。

ネットワーク

パンチ

192.168.0.101

¥

リード

192.168.10.65

¥

図 B-30

4-3 フォルダツリー表示の設定

プログラム一覧画面や入出力画面から、ネットワーク経由でデータのパンチやリードを行う場合に、フォルダ選択画面に表示されるフォルダやファイルの表示形式を変更することができます。デフォルトでは、表示可能なフォルダ数は最大 98 個、ファイル数は 100 個までで、フォルダツリーは展開できない設定となっています。

表示可能な個数を超えるファイルやフォルダを表示したいときや、フォルダツリーを展開して表示させたいときは、以下の手順で MAPPS パラメータを変更してください。

- 1) MAPPS 側操作パネルの機能キー 保守（保守）を押します。

図 B-31 のような画面が表示されます。

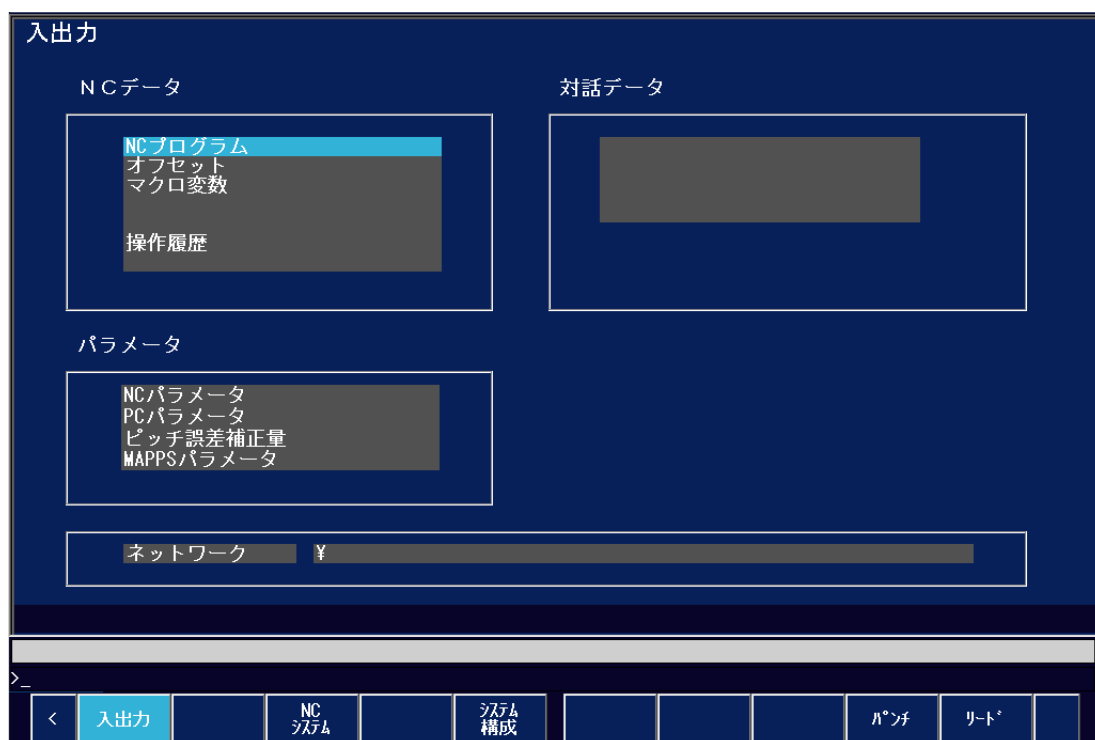


図 B-31

- 2) メニュー切替えキー【<】を押します。
ソフトキーが図 B-32 のように変化します。



図 B-32

- 3) ソフトキー【MAPPS パラメータ】を押します。

- 4) MAPPS パラメータ No. 2024 に以下の値のいずれかを設定します。


MAPPSパラメータ

				CHAR TYPE		39/51	
No.	DATA	No.	DATA	No.	DATA	No.	DATA
2016	0	2032	0	2048	0	2064	0
2017	0	2033	0	2049	0	2065	0
2018	0	2034	0	2050	0	2066	0
2019	5	2035	0	2051	0	2067	0
2020	5	2036	0	2052	0	2068	0
2021	5	2037	0	2053	0	2069	0
2022	5	2038	0	2054	0	2070	0
2023	0	2039	0	2055	0	2071	0
2024	1	2040	0	2056	0	2072	0
2025	2	2041	0	2057	0	2073	0
2026	0	2042	0	2058	0	2074	0
2027	0	2043	0	2059	0	2075	0
2028	0	2044	0	2060	0	2076	0
2029	0	2045	0	2061	0	2077	0
2030	0	2046	0	2062	0	2078	0
2031	0	2047	0	2063	0	2079	0

>

< MAPPS パラメータ 通信設定 No.サーチ 設定

図 B-33

値	内容	詳細
0	フォルダツリーを展開する (表示可能フォルダ数 98 個 / ファイル数 100 個)	"メモリカード"で入出力する場合と同様に、ファイル一覧の左側にフォルダツリーが展開表示されます。  アクセスするフォルダの階層が深い場合や、通信先にフォルダが多数存在する場合は、通信時間が増大します。
1	フォルダツリーを展開しない (表示可能フォルダ数 98 個 / ファイル数 100 個)	デフォルト設定。 フォルダツリーには、最上位フォルダから閲覧中のフォルダまでが表示されます。
2	フォルダツリーを展開する (表示可能フォルダ数 / ファ イル数に制限なし)	フォルダツリーには、最上位フォルダから閲覧中のフォルダまでが表示されます。

MAPPS パラメータ No. 2024 に "2" を設定した場合は、フォルダ選択画面で以下のようにファイルの表示を操作します。

＜例：フォルダ選択画面で表示させるファイル情報を操作する＞



- a) パラメータの設定変更後、フォルダ選択画面を表示させると、一覧には合計 199 個までのフォルダとファイルが表示されます。
- b) 現在表示中の内容に続くファイル情報を取得したい場合は、一覧の最下段のファイルを選択した状態で、カーソル移動キー 、またはページ切替えキー  を押します。



図 B-34

- c) 現在表示中のファイル 100 個が破棄され、図 B-35 のように後のファイル 100 個が表示されます。

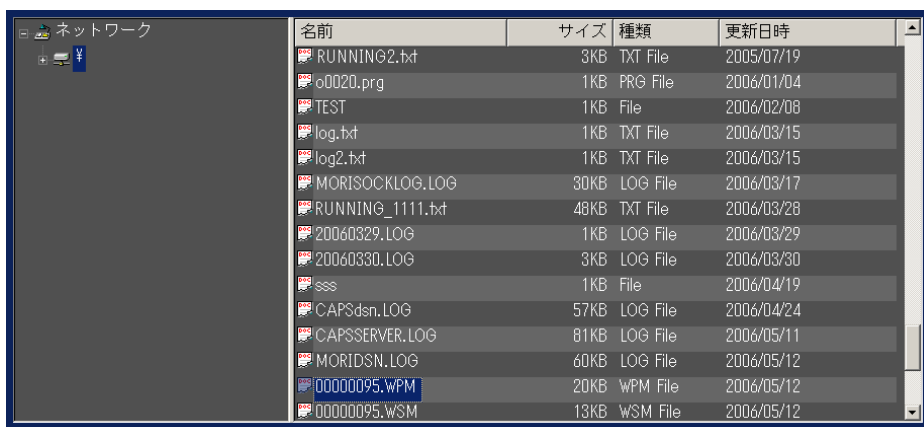


図 B-35



- d) 現在表示中の内容より前のファイル情報を取得したい場合は、一覧最上段の "<上へ>" を選択した状態で、カーソル移動キー 、またはページ切替えキー  を押します。



図 B-36

- e) 現在表示中のファイル 100 個が破棄され、図 B-37 のように前のファイル 100 個が表示されます。

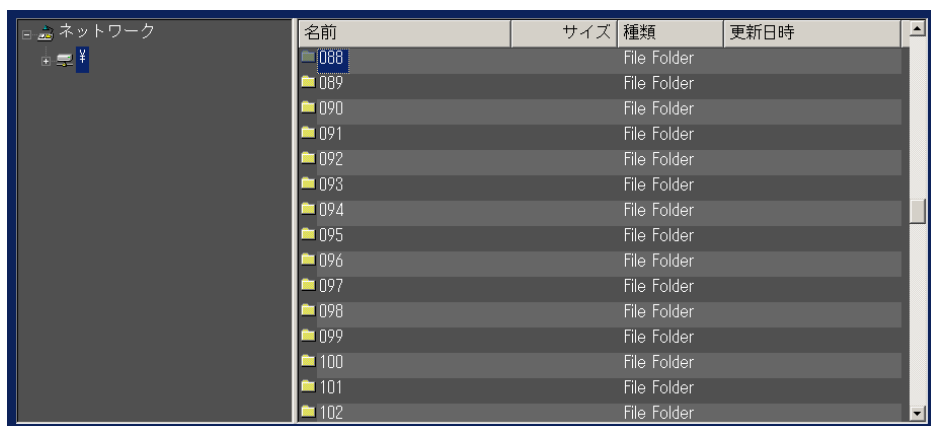


図 B-37

5 通信ログ

5-1 通信メッセージ

通信が行われると、MORI-SERVER (DSN) のウインドウに以下のようなメッセージが表示されます。

(IP アドレス)	通信が行われた場合に、通信を行ってきた MAPPS の IP アドレスが表示されます。
NORMAL END	通信、処理が正常に終了すると表示されます。
LOGIN ERROR	通信時において、MORI-SERVER (DSN) へのログインに失敗した場合に表示されます。MAPPS 側の "ユーザー ID"、"パスワード"、"ドメイン名" が正しく設定されているか、ご確認ください。
DIR(1) ERROR	ディレクトリ一覧要求でエラーが発生すると表示されます。
DIR(2) ERROR	ファイル一覧要求でエラーが発生すると表示されます。
SEARCH ERROR	ファイル検索でエラーが発生すると表示されます。
CHANGE DIRECTORY ERROR	ディレクトリ移動でエラーが発生すると表示されます。
MAKE DIRECTORY ERROR	ディレクトリ作成でエラーが発生すると表示されます。
COMMUNICATION ERROR	通信にエラーが発生すると表示されます。
READ(DOWN LOAD) ERROR	ファイルのリード（ダウンロード）時にエラーが発生すると表示されます。
PUNCH(UP LOAD) ERROR	ファイルのパンチ（アップロード）時にエラーが発生すると表示されます。

5-2 通信ログ形式

通信ログは以下の形式で出力されます。

＜ログファイルの形式＞

yyyy/mm/dd hh:mm:ss , <aaa.aaa.aaa.aaa> , [cccc] , mmmmmm , dddddd

1. yyyy/mm/dd

ログが出力された日付を 4 桁の西暦・月・日付の順で表示しています。

2. hh:mm:ss

ログが出力された時間を時間・分・秒の順で表示しています。

3. <aaa.aaa.aaa.aaa>

通信を行ってきた MAPPS の IP アドレスを表示しています。

4. [cccc]

関数コード（詳細は後述）を表示しています。

5. mmmmmm

メッセージコード（詳細は後述）を表示しています。

6. dddddd

メッセージに伴うデータが存在する場合は、そのデータを表示しています。

ログファイルは、テキストファイルとして出力されますので、エディタなどを用いて開いて見ることができます。



MORI-SERVER (DSN) の実行中にログファイルを開きますと、その間のログは出力されません。



ログは順次追加されるため、サイズが大きくなっていきます。サイズが大きくなった場合は、ファイル名を変更して保存したり、保存の必要がないのであればファイルを削除するなどの措置を適宜行ってください。

5-3 関数コード

ログで出力される関数コードの中で、主なものを以下に示します。

関数コード	内 容
DISP	通信メッセージの表示関数
IRDF	MORI-SERVER (DSN) から MAPPS へのファイルのダウンロード関数
IWTF	MAPPS から MORI-SERVER (DSN) へのファイルのアップロード関数
MKFD	フォルダ作成関数
DIRV	MAPPS でのファイル一覧表示関数
CGDR	ディレクトリ移動関数
FLCK	ファイル検索関数
SKTH	MAPPS からの通信要求を受け付ける関数
RCV5	通信関数
ACKS	通信関数
ACKR	通信関数
ARST	通信関数
LGIN	ログインおよびアクセス権確認関数
LGUH	ログインおよびアクセス権確認関数
ACCS	ログインおよびアクセス権確認関数
ACCK	ログインおよびアクセス権確認関数

5-4 メッセージコード

ログで出力されるメッセージコードの中で、主なものを以下に示します。

メッセージコード	内 容
COMDDR01	ディレクトリ一覧表示要求
COMDDR02	ファイル一覧表示要求
COMDFD05	ファイル検索要求
COMDMD08	フォルダ作成要求
COMDDL13	ファイルダウンロード要求
COMDUP14	ファイルアップロード要求
FILEDL00	ファイルダウンロード実行
FILEUP00	ファイルアップロード実行
MKDRSC00	フォルダ作成実行

5-5 通信ログの例

以下に簡単な通信ログの例とその意味を説明します。

- | | |
|-----|--|
| (1) | 2000/01/01 00:00:00 , <255.255.255.255> , [MKFD] , MKDRSC00 ,
C:¥NC¥FOLDER |
| (2) | 2000/01/01 00:01:00 , <255.255.255.255> , [IWTF] , FILEUP00 ,
C:¥NC¥FOLDER¥OFFSET.OFS |
| (3) | 2000/01/02 01:00:00 , <255.255.255.255> , [IRDF] , FILEDL00 ,
C:¥NC¥FOLDER¥OFFSET.OFS |

上記のようなログが存在した場合

(1) では 2000 年 1 月 1 日の 0 時 0 分 0 秒に IP アドレス 255.255.255.255 の MAPPS からの指令により、C:¥NC に FOLDER というフォルダを作成したことを意味します。

(2) では 2000 年 1 月 1 日の 0 時 1 分 0 秒に IP アドレス 255.255.255.255 の MAPPS からの指令により、C:¥NC¥FOLDER に OFFSET.OFS がアップロードされたことを意味します。

(3) では 2000 年 1 月 2 日の 1 時 0 分 0 秒に IP アドレス 255.255.255.255 の MAPPS からの指令により、C:¥NC¥FOLDER¥OFFSET.OFS をダウンロードしたことを意味します。

6 ネットワークドライブ

MAPPS II/III/IV では、MORI-DSN の代わりに共有フォルダがネットワークドライブに割り当てられ、NC プログラムの入出力が可能です。

ネットワークドライブを使用するには以下（6-1, 6-2）の設定が必要です。

6-1 PC 側設定

入出力に使用したいパソコンのフォルダを、共有フォルダとして設定します。

<手順>

- 1) フォルダ上で右クリックします。
- 2) "共有とセキュリティ" から、"共有" タブを開きます。
- 3) "このフォルダを共有する" ラジオボタンを選択します。



共有フォルダ名は半角英数字で指定してください。

6-2 MAPPS II/III/IV 側設定

下記の手順で、ネットワークドライブへの入出力を有効に設定します。


- 1) MAPPS 側操作パネルの機能キー （保守）を押します。

図 B-38 のように入出力画面が表示されます。



図 B-38

- 2) メニュー切替えキー【<】を押します。
ソフトキーが図 B-39 のように変化します。



図 B-39

- 3) ソフトキー【MAPPS パラメータ】を押します。
4) MAPPS パラメータ No. 1340 に "1" を入力し、ソフトキー【設定】を押します。



設定を変更したときは電源再投入が必要です。

図 B-40 のようにパラメータ設定が完了します。

MEM	***	***	***	***	65535 mm/min	00001	N00000
HEAD1						17:13:12	
MAPPSパラメータ							
						ON/OFF TYPE	28/51
No.	DATA	No.	DATA	No.	DATA	No.	DATA
1312	0	1328	0	1344	0	1360	0
1313	1	1329	0	1345	0	1361	0
1314	0	1330	0	1346	0	1362	0
1315	0	1331	0	1347	0	1363	0
1316	1	1332	0	1348	0	1364	0
1317	0	1333	0	1349	0	1365	0
1318	0	1334	0	1350	0	1366	0
1319	1	1335	0	1351	0	1367	0
1320	0	1336	0	1352	0	1368	0
1321	0	1337	0	1353	0	1369	0
1322	0	1338	0	1354	0	1370	0
1323	0	1339	0	1355	0	1371	0
1324	0	1340	1	1356	0	1372	0
1325	0	1341	0	1357	0	1373	0
1326	0	1342	0	1358	0	1374	0
1327	0	1343	0	1359	0	1375	0

データファイルの書き込みに成功しました。

>^

<	MAPPS パラメータ	通信設定	No.サーチ	設定
---	----------------	------	--------	----

図 B-40

5) ソフトキー【通信設定】を押します。

図 B-41 のようにネットワーク機能設定画面が表示されます。



図 B-41



MAPPS II/III/IV の設定により、一部の項目が選択できない場合があります。

6) データ入力キーで "4" を入力します。

7) 入力キー 入力 (入力) を押します。

図 B-42 のように MORI-DSN 機能設定画面が表示されます。

MEM	***	***	***	***	65535 mm/min	00001		N00000	
HEAD1						17:13:21			

MORI-DSN機能設定

通信ポート設定

ポート番号

8002

応答待ち時間(秒)

5

通信先設定

コンピュータ名/IPアドレス

192.168.2.20

通信先ディレクトリ

C:\CAPSDSN

ユーザ設定

ユーザID

VERO200

パスワード

>*	MORI DSN	SERVER 基本	SERVER 詳細	ネットワーク ドライバ			’_’入力	取得		戻る	
----	----------	-----------	-----------	----------------	--	--	-------	----	--	----	--

☒ B-42

8) ソフトキー【ネットワークドライブ】を押します。

図 B-43 のようにネットワークドライブ機能設定画面が表示されます。

図 B-43

9) 各項目の設定を行います。



詳細については、下記項目を参照してください。

B 章 6-2-1 "ネットワークドライブ機能" (207 ページ)

B 章 6-2-2 "コンピュータ名／IP アドレス" (207 ページ)

B 章 6-2-3 "共有フォルダ名" (207 ページ)

B 章 6-2-4 "ユーザ名" (208 ページ)

B 章 6-2-5 "パスワード" (208 ページ)

10) ソフトキー【設定】を押します。

6-2-1 ネットワークドライブ機能

ネットワークドライブへ入出力する場合には有効を選択してください。

6-2-2 コンピュータ名／IP アドレス

共有フォルダのあるパソコンのコンピュータ名、または IP アドレスを入力してください。

6-2-3 共有フォルダ名

共有フォルダの名前を入力してください。

6-2-4 ユーザ名

共有フォルダにアクセスするユーザ名を設定してください。

6-2-5 パスワード

共有フォルダにアクセスするユーザのパスワードを入力してください。

C 章

トラブルシューティング

この章では、MORI-SERVER, MORI-SERVER (DSN) で正常に通信することができない場合、お問い合わせいただく前にまず確認いただきたい事柄について説明します。

目次

C : トラブルシューティング

1	ネットワーク接続全般に関するトラブルシューティング.....	213
2	MORI-SERVER に関するトラブルシューティング	215
3	MORI-SERVER (DSN) に関するトラブルシューティング	216

1 ネットワーク接続全般に関するトラブルシューティング

MORI-SERVER および MORI-SERVER (DSN) を使用して正常に通信できない場合、以下の項目について確認してください。

<物理接続、TCP/IP 接続>

1. LAN ケーブルが正しく挿入されていることを確認してください。
 - ケーブルの種類（ストレート・クロス）は正しいですか？
 - ハブやルータがある場合、電源が投入されていますか？
 - FANUC のデータサーバ用 LAN ケーブルを挿入していませんか？
（FANUC のデータサーバとは別の LAN ケーブルが必要です。）
2. MAPPS 側の TCP/IP の設定が正しいことを確認してください。
 - [保守]－[通信設定]－[1] "ネットワーク基本設定"で表示される項目の設定は正しいですか？
 - IP アドレスの設定は正しいですか？
 - MAPPS に設定している IP アドレスは他の機器で使用されていませんか？
 - FANUC のデータサーバに使用している IP アドレスを設定していませんか？
 - 各機械の MAPPS ごとに固有の IP アドレスを設定していますか？
 - サブネットマスクの設定は正しいですか？
 - ルータを越えて通信する場合は、デフォルトゲートウェイの設定は正しいですか？
3. PC 側から正しく接続できていることを以下の手順で確認してください。
 - 1) PC 側で "スタートメニュー"－"ファイル名を指定して実行"で "CMD" と入力し、コマンドプロンプトを開きます。
 - 2) "ping xxx.xxx.xxx.xxx" (xxx.xxx.xxx.xxx は MAPPS の IP アドレス) と入力し、Enter キーを押します。
 - 3) メッセージを確認します。
 - 通信ができている場合（多少異なる場合があります）
 Pinging xxx.xxx.xxx.xxx with 32 bytes of data
 Reply from xxx.xxx.xxx.xxx: bytes = 32 time<10ms TTL=255
 - 通信ができていない場合（多少異なる場合があります）
 Pinging xxx.xxx.xxx.xxx with 32 bytes of data
 Request time out.

4. MAPPS 側から正しく接続できていることを以下の手順で確認してください。

- 1) "保守" - "通信設定" - "1" ネットワーク基本設定画面を表示します。
- 2) キーバッファに "xxx.xxx.xxx.xxx" (xxx.xxx.xxx.xxx は PC の IP アドレス) と入力し、ソフトキー **【PING】** (F6) を押します。
- 3) メッセージを確認します。
 - 通信ができている場合
"入力されたアドレスは存在します。" と表示されます。
 - 通信ができていない場合
"入力されたアドレスは存在しません。" と表示されます。



3. で通信ができているにも関わらず、4. で通信ができない場合は、PC 側で通信がブロックされていることが考えられます。PC で使用されているセキュリティソフトまたはファイアウォール機能経由で通信ができるように設定を変更する必要があります。

2 MORI-SERVER に関するトラブルシューティング

MORI-SERVER で正常に通信できない場合、1 " ネットワーク接続全般に関するトラブルシューティング " に加えて以下の項目について確認してください。

< MAPPS 側の設定 >

1. MAPPS 側の設定が正しいことを確認してください。
 - " 保守 " - " 通信設定 " - " 4 " ネットワーク入出力設定画面 - **【SERVER 基本】**(F2) で表示される項目の設定は正しいですか？
 - PC 側で設定したポート番号が設定されていますか？
 - MORI-SERVER (DSN) で使用するポート番号を設定していませんか？
(MORI-SERVER (DSN) とは異なるポート番号を指定する必要があります。)
 - " 応答待ち時間 " には適切な時間 (20 秒以上) が設定されていますか？
 - " 主機能 " は有効ですか？
 - 内容は正しく登録されていますか？
 - ポート番号変更後、MAPPS II/III/IV を再起動しましたか？

< PC 側の設定 >

1. PC 側ソフトウェアの設定が正しいことを確認してください。
 - MAPPS 側で設定したポート番号が設定されていますか？
 - タイムアウト時間には適切な時間 (20 秒以上) が設定されていますか？
 - 内容は正しくセーブされていますか？
 - ポート番号変更後、PC 側ソフトを再起動しましたか？
2. PC の設定が正しいことを確認してください。
 - PC の IP アドレスは MAPPS 側で認証されていますか？
 - " ユーザ認証機能 " が有効の場合、" ユーザ名 " と " パスワード " は正しいですか？
 - " 保守 " - " 通信設定 " - " 4 " ネットワーク入出力設定画面 - **【SERVER 詳細】**(F3) で許可されている操作ですか？

3 MORI-SERVER (DSN) に関するトラブルシューティング

MORI-SERVER (DSN) で正常に通信できない場合、1 " ネットワーク接続全般に関するトラブルシューティング " に加えて以下の項目について確認してください。

< MAPPS 側の設定 >

1. MAPPS 側の設定が正しいことを確認してください。

- "保守" - "通信設定" - "4" ネットワーク入出力設定画面で表示される項目の設定は正しいですか？
- PC 側で設定したポート番号が設定されていますか？
- MORI-SERVER (DSN) で使用するポート番号を設定していませんか？
(MORI-SERVER とは異なるポート番号を指定する必要があります。)
- "応答待ち時間" には適切な時間 (20 秒以上) が設定されていますか？



PC 側のタイムアウト時間も 20 秒以上に設定されていることを確認してください。

- "通信先 IP アドレス" に、通信先 PC の IP アドレスが正しく設定されていますか？
- "通信先ディレクトリ" には、通信先 PC のディレクトリがドライブ名も含めて正しく指定されていますか？ (例: C:\¥NC)
- 通信先ディレクトリに指定したディレクトリは PC 側に存在しますか？
- 通信先ディレクトリのパスは長すぎませんか？
- "ユーザ ID" に正しいユーザ ID ("VER0200") が設定されていますか？
- "パスワード" は空欄に設定されていますか？
- 内容は正しく登録されていますか？
- ポート番号変更後、MAPPS II/III/IV を再起動しましたか？

2. MAPPS 側の通信先が正しく " ネットワーク " に設定されていることを確認してください。

- "セッティング" - 【ネットワーク】(F3) - "64" 通信パラメータの "I/O 機器" の項目で、正しく " ネットワーク " が選択されていますか？
- 【設定】(F9) - 【実行】(F6) で正しく登録されていますか？
- "プログラム一覧" や "保守" - "入出力" の画面で画面左下の "入出力先" に正しく " ネットワーク " が表示されていますか？

< PC 側の設定 >

1. MORI-SERVER (DSN) が PC 側で正しく起動していますか？
 - 画面左下に "MORI-SERVER (DSN)" の小さなウインドウが表示されていますか？
 - MORI-SERVER (DSN) 起動後、画面左下のウインドウに "socket initialize OK" と表示されましたか？
2. PC 側ソフトウェアの設定が正しいことを確認してください。
 - MAPPS 側で設定したポート番号が設定されていますか？
 - タイムアウト時間は適切（20 秒以上）ですか？



MAPPS 側の応答待ち時間も 20 秒以上に設定されていることを確認してください。

- 内容は正しくセーブされていますか？
- ポート番号変更後、PC 側ソフトを再起動しましたか？
- セキュリティソフト、ファイアウォール機能などにより通信をブロックしていませんか？



セキュリティソフトおよびファイアウォールの設定変更方法については、1 "ネットワーク接続全般に関するトラブルシューティング" を参照してください。

数字

3次元干渉チェック実行時の制限	135
-----------------------	-----

F

File Overwrite	183
File Path Check	183

I

IP Address	185
IP Address Check	185
IP アドレス認証	131
IP アドレス認証機能設定	184

L

Log File	181
Log Level	181

M

MAPPS II/III/IV 側設定	203
MAPPS II/III/IV 側パラメータ設定	188
MAPPS II/III/IV 側メッセージ	146
MAPPS II/III/IV の設定	58
MAPPS 側パラメータ設定	186
MAPPS 側メッセージ	144
MAPPS セーフティ機能	136
MAPPS 入出力中	131
MAPPS の設定	49
MORI-DSN 機能設定	188
MORI-SERVER (DSN) に関するトラブルシューティング	216
MORI-SERVER (DSN) の起動	173
MORI-SERVER (DSN) の終了	176
MORI-SERVER (DSN) の初期設定	171
MORI-SERVER (DSN) の操作方法	173
MORI-SERVER (DSN) の通信の操作	175
MORI-SERVER (DSN) のバージョン情報の確認	177
MORI-SERVER 側メッセージ	137
MORI-SERVER 機能基本設定画面	65

M

MORI-SERVER 機能詳細設定画面	70
MORI-SERVER 通信中	131
MORI-SERVER に関するトラブルシューティング	215
MORI-SERVER のセットアップ	18
MORI-SERVER パラメータ画面（MAPPS II/III/IV の設定）	63
MORI-SERVER パラメータ画面（MAPPS の設定）	50
MORI-SERVER パラメータの設定	54
MORI-SERVER ユーティリティの起動	27
MSC-500/700 の設定	73

N

NC プログラム一括出力機能（機能別制限機能）	133
NC プログラム一括出力機能（通信操作）	88
NC プログラム一括入力機能（機能別制限機能）	133
NC プログラム一括入力機能（通信操作）	90
NC プログラム個別出力機能（機能別制限機能）	132
NC プログラム個別出力機能（通信操作）	80
NC プログラム個別入力機能（機能別制限機能）	132
NC プログラム個別入力機能（通信操作）	83
NC プログラム削除機能（機能別制限機能）	132
NC プログラム削除機能（通信操作）	86
NC プログラムデータサイズ表示単位設定	34
NC プログラム入出力設定	47
NC プログラムリスト取得機能（機能別制限機能）	132
NC プログラムリスト取得機能（通信操作）	78

P

PC 側設定	203
Port	179

S

SEICOS Σ の設定	73
---------------------	----

T

TCP/IP パラメータの設定（MAPPS II/III/IV の設定）	58
TCP/IP パラメータの設定（MAPPS の設定）	49
Time Out	179

い

インストール（MORI-SERVER のセットアップ）	19
インストール（セットアップ）	17

う

写し出し画面表示中	131
-----------------	-----

え

エラーメッセージ（MORI-SERVER）	140
エラーメッセージ（MORI-SERVER 側メッセージ）	139
エラーメッセージの表示形式	142
エラーメッセージ表示	140

お

応答待ち時間	190
--------------	-----

か

カード DNC/ESPRIT フォルダ作成機能	111
カード DNC/ESPRIT 領域通信先フォルダ移動機能（通信操作）	109
カード DNC/ESPRIT 領域通信先フォルダ移動機能（通信のインタロック）	134
カード DNC/ESPRIT 領域ファイル入力機能（通信操作）	115
カード DNC/ESPRIT 領域ファイル入力機能（通信のインタロック）	135
カード DNC/ESPRIT 領域ファイル・フォルダ削除機能（通信操作）	117
カード DNC/ESPRIT 領域ファイル・フォルダ削除機能（通信のインタロック）	135
カード DNC/ESPRIT 領域ファイル・フォルダ出力機能（通信操作）	113
カード DNC/ESPRIT 領域ファイル・フォルダ出力機能（通信のインタロック）	135
カード DNC/ESPRIT 領域フォルダ作成機能	134
カード DNC/ESPRIT 領域リスト取得機能（通信操作）	107
カード DNC/ESPRIT 領域リスト取得機能（通信のインタロック）	134
各種設定	27
関数コード	201

き

キー入力ロック機能	136
機械側設定	49
機械との接続	161
機械の新規登録	36
機能別制限機能	132
共通項目	131
共有フォルダ名	208

け

言語設定	33
------------	----

こ

工具ファイル出力機能	102
工具ファイル入力機能	104
工作機械の設定例	166
コンピュータ名／IP アドレス	207

さ

サーバディレクトリ	186
-----------------	-----

し

主機能 OFF	131
出荷時の設定	161
初期フォルダ設定	35

せ

接続機械設定	36
接続方法	162
セットアップ	171
セットアップ（MORI-SERVER）	17

た

対話データ出力機能	134
対話データ入力機能	134
対話プログラム削除機能（機能別制限機能）	134
対話プログラム削除機能（通信操作）	100
対話プログラム出力機能（機能別制限機能）	133
対話プログラム出力機能（通信操作）	95
対話プログラム入力機能（機能別制限機能）	133
対話プログラム入力機能（通信操作）	97
対話プログラムリスト取得機能（機能別制限機能）	133
対話プログラムリスト取得機能（通信操作）	93

つ

通信機能	75
通信先 IP アドレス	190
通信先選択	75
通信先ディレクトリ	191
通信先フォルダの設定	192
通信終了メッセージ	139
通信操作	77
通信のインタロック	131
通信パラメータ設定（MORI-SERVER (DSN) の操作方法）	178
通信パラメータ設定（通信モジュール初期設定）	28
通信メッセージ（MORI-SERVER 側メッセージ）	138
通信メッセージ（通信ログ）	199
通信モジュール初期設定	27
通信ログ	199
通信ログ形式	200
通信ログの例	202

て

データ形式の設定	32
データサーバ（M730/M750）の設定	74
データサーバ（16i）、データサーバ（30i）の設定	73
データサーバ通信先フォルダ移動機能	121
データサーバファイル入力機能	127
データサーバファイル・フォルダ削除機能	129
データサーバファイル・フォルダ出力機能	125
データサーバファイルリスト取得機能	119

て

データサーバフォルダ作成機能	123
デフォルト拡張子機能	46
デフォルトファイル名の設定	44

と

動作環境（MORI-SERVER）	17
登録情報の削除	41
登録情報の並替え	42
登録情報の変更	39
ドメイン名	187

ね

ネットワーク構成例	164
ネットワーク接続全般に関するトラブルシューティング	213
ネットワークドライブ	203
ネットワークドライブ機能	207
ネットワークの接続	164
ネットワークの設定	165

は

バージョン情報	24
排他制御機能	131
パスワード	208
パスワード（MAPPS II/III/IV 側パラメータ設定）	191
パスワード（MAPPS 側パラメータ設定）	187
パソコン 1 台、工作機械 2 台を接続する	164
パソコンの設定例	165
ハブを使用しない場合	162
ハブを使用する場合	163

ふ

ファイアウォールの設定	22
ファイル入出力設定	182
ファイル名自動命名機能	43
フォルダツリー表示の設定	195

ほ

ポート番号（MAPPS II/III/IV 側パラメータ設定）	190
ポート番号（MAPPS 側パラメータ設定）	186

め

メイン画面の構成	25
メッセージ画面	146
メッセージコード	201
メッセージ送信機能（機能別制限機能）	132
メッセージ送信機能（通信操作）	77
メッセージ内容	148
メッセージのクリア	160
メッセージの優先順位	147
メッセージ表示機能	137
メッセージボックスの各表示部	145

ゆ

ユーザー ID（MAPPS II/III/IV 側パラメータ設定）	191
ユーザー ID（MAPPS 側パラメータ設定）	187
ユーザーアカウント制御の設定変更	18
ユーザ認証	131
ユーザ名	208
優先順位 "最高" のメッセージの更新	157

ろ

ログ出力設定	30
ログ設定	180

マニュアルの名称	MORI-SERVER 取扱説明書
マニュアルの版数	IM-MORISERVER-G0JP

お名前		会社名	
部署名		電話番号	
住所			

[illegible]

森精機製作所記入欄		
記事	受付 No.	受付担当印

株式会社 森精機製作所

名古屋本社

愛知県名古屋市中村区名駅 2 丁目 35-16 (〒 450-0002)

TEL.(052) 587-1811 FAX.(052) 587-1818

東京支社

東京都港区港南 2 丁目 15-1 品川インターシティ A 棟 18 階 (〒 108-6018)

TEL.(03) 5460-3570 FAX.(03) 5460-9610

奈良第一工場

奈良県大和郡山市井戸野町 362 (〒 639-1104)

TEL.(0743) 53-1121 FAX.(0743) 53-1051

奈良第二工場

奈良県大和郡山市北郡山町 106 (〒 639-1160)

TEL.(0743) 53-1125 FAX.(0743) 55-0489

伊賀事業所

三重県伊賀市御代 201 (〒 519-1414)

TEL.(0595) 45-4151 FAX.(0595) 45-5417

千葉事業所

千葉県船橋市館身町 488-19 (〒 274-0052)

TEL.(047) 410-8800 FAX.(047) 410-8834

株式会社 森精機セールスアンドサービス

国内 TC 33ヶ所

海外現地法人

<NORTH AMERICA / SOUTH AMERICA>

DMG / Mori Seiki USA (MORI SEIKI U.S.A., INC.)

MORI SEIKI CANADA, LTD.

DMG / MORI SEIKI Mexico (DMG Mori Seiki Mexico, S.A. de C.V.)

MORI SEIKI BRASIL LTDA.

MORI SEIKI Argentina S.A.

<EUROPE>

MORI SEIKI Europe AG

MORI SEIKI GmbH

MORI SEIKI (U.K.) LTD.

MORI SEIKI FRANCE S.A.S.

MORI SEIKI ITALIANA S.R.L.

MORI SEIKI ESPAÑA S.A.

MORI SEIKI Moscow LLC

DMG / MORI SEIKI Turkey (DMG MORI SEIKI İSTANBUL MAKİNE TİCARET VE SERVİS LİMİTED ŞİRKETİ)

<ASIA / OCEANIA>

MORI SEIKI Singapore Pte Ltd (Asia & Oceania Administration Department)

DMG / MORI SEIKI Singapore (DMG MORI SEIKI SOUTH EAST ASIA PTE. LTD)

DMG / MORI SEIKI Malaysia (DMG MORI SEIKI (Malaysia) Sdn. Bhd.)

DMG / MORI SEIKI Vietnam (DMG MORI SEIKI (Vietnam) Co. Ltd.)

DMG / MORI SEIKI Thailand (MORI SEIKI Manufacturing (Thailand) CO., LTD.)

DMG / MORI SEIKI Taiwan (DMG MORI SEIKI (Taiwan) Co. Ltd.)

MORI SEIKI HONG KONG LIMITED

MORI SEIKI (SHANGHAI) CO., LTD.

DMG / MORI SEIKI Korea (DMG MORI SEIKI Korea Co., Ltd.)

DMG / MORI SEIKI Indonesia (PT. MORI SEIKI Indonesia)

DMG / MORI SEIKI India (DMG Mori Seiki India Machines and Services Pvt Ltd)

DMG / MORI SEIKI Australia (DMG / MORI SEIKI Australia PTY LTD.)

サービスに関するお問合せは・・・



0120-124-280 (通話無料)



0077-78-0222 (通話無料)

※お手数ですが、お問合せの際には以下の項目をあらかじめご確認ください。

(例) 会社名 : ABC 製作所 ご担当者様 : XXXXXX

機種 : NLX2500/700 機番 : NL252XXXXXX

ご注意

IP 電話、海外からなど、ご利用いただけないお客様は下記の番号におかけください。

お名前・ご連絡先をお伺い後、弊社よりお電話さしあげます。

東部サービスセンタ (千葉事業所内)

TEL: **047-410-8825** (通話料お客様ご負担)

FAX: **047-410-8837**

E-Mail: **service-chiba@moriseiki.co.jp**

西部サービスセンタ (伊賀事業所内)

TEL: **0595-45-6065** (通話料お客様ご負担)

FAX: **0595-45-4156**

E-Mail: **service-ctr@moriseiki.co.jp**

本製品は、日本政府の外国為替および外国貿易法に基づく規制貨物に該当します。
したがって、本製品を輸出する場合には、同法に基づく許可が必要となる場合があります。